

Canon

 **imageFORMULA**
DR-P215

ユーザーマニュアル (機能詳細編)



- ご使用前に必ず本書をお読みください。
- 将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

■ 国際エネルギースタープログラムについて



当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

■ 電波障害自主規制について

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書にしたがって正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

■ JIS C 61000-3-2 適合品

本装置は高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品に適合しています。

■ ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは禁止されています。
- 本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期して作成しましたが、運用した結果の影響につきましては、前項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

■ 複製についてのご注意

- 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券およびパスポート、または公共団体や民間団体発行の免許証、許可書、公文書、私文書などの複製は違法となり、処罰の対象となります。
- 書籍、絵画、版画、地図、図面などの著作物の複製は、自己の使用以外の目的でお使いになることは禁じられていますのでご注意ください。

■ 商標および登録商標について

- Canon、Canon ロゴは、キヤノン株式会社の商標です。
- imageFORMULA は、キヤノン電子株式会社の商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Vista、PowerPoint および SharePoint は、米国マイクロソフト社の米国および他の国における登録商標または商標です。
- Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。
- Macintosh および Mac OS は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- ISIS は、EMC Corporation. の米国における商標です。
- Google および Google ドキュメントは Google Inc. の商標です。
- ファイル管理革命 Lite は、© パナソニックソリューションテクノロジー株式会社の登録商標、または商標です。
- その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。なお、本文中には™、® マークは明記していません。

■ 免責事項

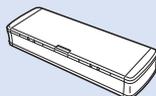
本製品を用いて読み取る原稿、または読み取った画像イメージの保管や管理についてはお客様の責任で行ってください。

また、読み取った原稿を破棄する場合は、必ず、読み取り画像イメージをしっかりと精査し、欠落のないことを確認した上でお客様の責任において行ってください。

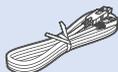
なお、当社が本製品に対して行う保証は、いかなる場合においても本製品の代金としてお客様が支払った金額を超えることはありません。予め、ご了承ください。

STEP 1 付属品を確認する

不足品や損傷品がある場合は、お買い求めの販売店にご連絡ください。



スキャナー本体



USB ケーブル
USB 3.0 Type A/
USB 2.0 Micro B
(長さ：1.8 m)



給電用 USB ケーブル



ユーザーマニュアル
(基本操作編)



保証書



セットアップディスク
(DVD-ROM)

- 付属品は予告なく変更されることがあります。
- 梱包箱および梱包材は本機の保管や輸送の際に必要となりますので、捨てないで保管してください。

USB ケーブルについて

同梱の USB ケーブルは、本製品専用です。本製品以外の機器に使用しないでください。

また、本製品とコンピューターとの接続に、同梱の USB ケーブル以外のケーブルを使用すると、正常に動作しないことがあります。必ず同梱の USB ケーブルを使用してください。

セットアップディスクの内容

同梱されているセットアップディスクから、スキャナーを使用するために必要となる次のソフトウェアをインストールします。

- CaptureOnTouch
本製品専用のスキャニングユーティリティです。
- スキャナードライバー
本製品のスキャナードライバーです。

バンドルソフトウェアについて

本製品に付属のセットアップディスクには以下のソフトウェアが含まれています。

- やさしく名刺ファイリングエントリー 3 (Windows のみ)
メディアドライブ株式会社製 日本語 OCR 機能付き名刺管理ソフトウェア
- やさしく名刺ファイリングエントリーをご使用の際は、付属の「もっとスキャナーを使いこなそう (やさしく名刺ファイリングエントリー アップグレード案内)」をよくお読みください。
 - 本製品に関しては、メディアドライブ株式会社にお問い合わせください。
- やさしく家計簿エントリー (Windows のみ)
メディアドライブ株式会社製家計簿ソフトウェア
- 本製品に関しては、メディアドライブ株式会社にお問い合わせください。
- ファイル管理革命 Lite (Windows のみ)
パナソニック ソリューションテクノロジー株式会社製文書ファイリングソフトウェア
- 本製品に関しては、パナソニック ソリューションテクノロジー株式会社にお問い合わせください。

● Evernote

Evernote社製マルチプラットフォーム対応文書ファイリングソフトウェア

- 本製品は、インストール時に必要となるファイルをインターネット経由でダウンロードする必要があります。詳細は [6 ページ \(Windows\)](#) または [9 ページ \(Mac OS X\)](#) を参照してください。
- 本製品についての詳細は以下の Web ページを参照してください。
<http://www.evernote.com/about/intl/jp/>

! 重要

バンドルソフトウェアでスキャンするときは、本機のスキャナードライバーを開いてスキャン条件を設定してください。スキャナードライバーの開き方については、各バンドルソフトウェアに付属のマニュアルを参照してください。

クラウドサービスを利用するソフトウェアについて

本製品のバンドルソフトウェアの一部は、その機能の一部またはすべてを利用するために、クラウドサービスのアカウントの取得が必要となります。

ソフトウェア	利用するクラウドサービス
CaptureOnTouch 用 Google ドキュメントプラグイン	Google ドキュメント
CaptureOnTouch 用 Evernote プラグイン (Windows のみ)	Evernote
Evernote	Evernote

アカウントの取得には、利用規約への同意が求められます。詳しくは、各クラウドサービスの提供会社のホームページなどを参照してください。

なお、上記のソフトウェアは、アカウントがなくてもインストールのみは可能です。

STEP 2

ソフトウェアをインストールする

動作環境

本製品を快適にお使いいただくためには、次のシステム要件を推奨します。

コンピューター

CPU：	Intel Core 2 Duo 1.66GHz 以上
メモリー：	1GB 以上
ハードディスク：	すべてのソフトウェアをインストールするために 3GB 以上の空き容量
USB インタフェース：	Hi-Speed USB 2.0（電源のみ USB 3.0 に対応）
モニター：	解像度 1024 × 768（XGA）以上
光学ドライブ：	DVD の読み取りが可能なドライブ

オペレーティングシステム

- Microsoft Windows XP Service Pack 3 以上
- Microsoft Windows XP x64 Edition Service Pack 2 以上
- Microsoft Windows Vista Service Pack 2 以上(32 ビット版 /64 ビット版)
- Microsoft Windows 7 Service Pack 1 以上(32 ビット版 /64 ビット版)
- Mac OS X 10.5.8、10.6.8、10.7

その他

- 上記のシステム環境で正常に動作する ISIS 互換アプリケーションソフトウェア（Windows のみ）または TWAIN 互換アプリケーションソフトウェア
- (Windows のみ) .NET Framework 3.5 以降

❗ 重要

- お使いのコンピューターのシステム要件が不明な場合には、コンピューターをお買い求めになった販売店またはコンピューターメーカーのサポート窓口にお問い合わせください。
- Windows でお使いの場合は、マイクロソフト社から提供されている最新の USB2.0 ドライバーをお使いください。詳細についてはお買い求めの販売店にお問い合わせください。

- USB インタフェースは、コンピューターに標準装備された USB ポートを使用してください。ただし、コンピューターに標準装備されたすべての USB インタフェースにおいて、動作を保証するものではありません。詳細についてはお買い求めの販売店にお問い合わせください。
- コンピューターに標準装備された USB インタフェースが USB Full-Speed (USB1.1 相当) の場合、スキャン速度が低下します。
- USB ケーブルは、同梱品をお使いください。
- CPU、メモリー、インタフェースカードなど、コンピューターの推奨仕様を満たさない場合は、スキャン速度が大幅に低下したり、転送速度に時間を要する場合があります。
- コンピューターの推奨仕様を満たしている場合でも、読み取りの設定によっては、スキャン速度が低下する場合があります。
- 同梱されているスキャナードライバーは、すべての ISIS 互換アプリケーションソフトウェア（Windows のみ）または TWAIN 互換アプリケーションソフトウェアで動作するとは限りません。詳細についてはアプリケーションソフトウェアの販売元にお問い合わせください。

64 ビット版オペレーティングシステムで使用する場合の注意事項

- 本製品のスキャナードライバーでのスキャンが可能なのは 32 ビット版アプリケーションに限られます。
- 32 ビット版アプリケーションでも、すべての ISIS/TWAIN 互換アプリケーションでの動作を保証するものではありません。
- 使用するコンピューターの仕様によっては、スキャン速度が遅くなることがあります。

Mac OS X でご使用の場合のご注意

PowerPC を搭載した Macintosh コンピューターでは、Mac OS X の Classic 環境で本製品のスキャナードライバーを使用することはできません。また、Classic 環境が動作していると正常に動作しませんので、Classic 環境が起動していない状態で使用してください。

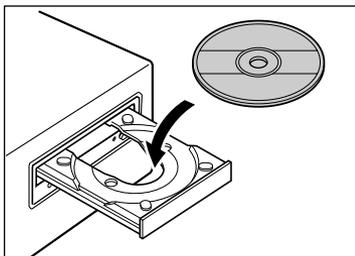
Windows でのインストール

重要

- ソフトウェアのインストールは、本機とコンピューターを接続する前に行ってください。
- Administrator 権限を持つアカウントでログオンしてください。
- ほかのアプリケーションをすべて終了させてからソフトウェアをインストールしてください。

1 ソフトウェアセットアップディスクをコンピューターのディスクドライブにセットします。

自動的にセットアップメニューが起動します（起動しないときは、ディスク内の setup.exe を実行してください）。



Windows 7/Vista をお使いの場合

[ユーザーアカウント制御] 画面が表示されたら、[はい] または [許可] をクリックしてください。



2 [おまかせインストール] をクリックします。



バンドルソフトウェアのインストールについて
バンドルソフトウェアをインストールする場合は、[選んでインストール] を選択することで、バンドルソフトウェアを選択してインストールできます。

ヒント

- Evernote を選択した場合、インストール中に Web ブラウザが起動し、ソフトウェアダウンロード用の Web ページが表示されます。Web ページの指示に従ってダウンロードとインストールをしてください。なお、Evernote のインストールには、インターネットに接続できる環境が必要です。
- アンインストールしたソフトウェアを再インストールするときは、「選んでインストール」をクリックし、アンインストールしたソフトウェアを指定してください。

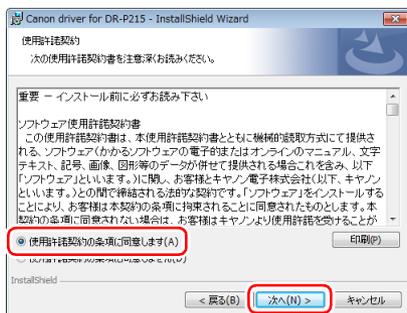
3 [インストール] をクリックします。



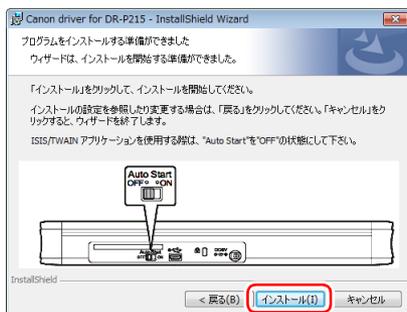
4 [次へ] をクリックします。



5 「使用許諾契約」を読み、同意いただける場合は「使用許諾契約の条項に同意します」をクリックしてから「次へ」をクリックします。



6 [インストール] をクリックします。



7 ドライバーのインストールが完了したら、「完了」をクリックします。



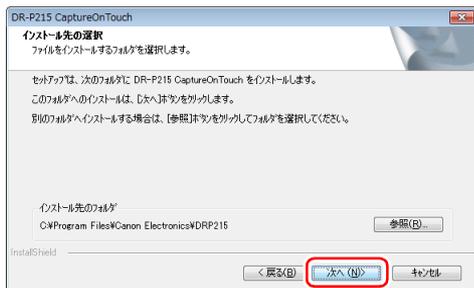
8 [次へ] をクリックします。



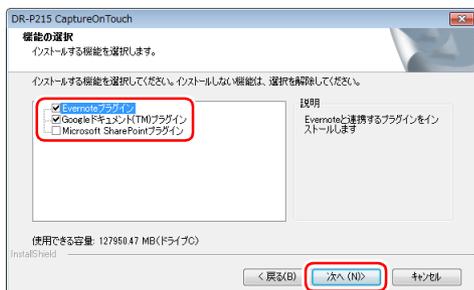
9 「使用許諾契約」を読み、同意いただける場合は「はい」をクリックします。



10 [次へ] をクリックします。



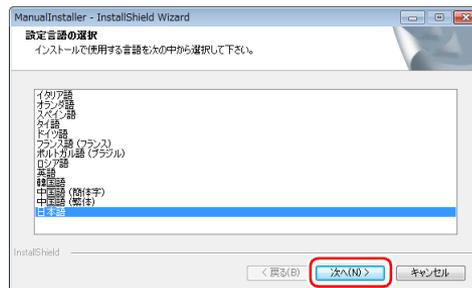
11 Evernote、Microsoft SharePoint および Google ドキュメント用のプラグインをインストールするかどうかを指定してから [次へ] をクリックします。



12 CaptureOnTouch のインストールが完了したら [完了] をクリックします。



13 使用する言語を選択してから [次へ] をクリックします。



14 [次へ] をクリックします。



15 ユーザーマニュアルのインストールが完了したら [完了] をクリックします。



16 [終了] をクリックしてソフトウェアのインストールを終了します。

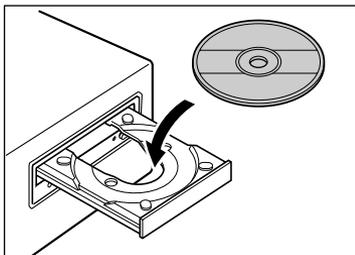


Mac OS X でのインストール

重要

- ソフトウェアのインストールは、本機とコンピューターを接続する前に行ってください。
- ほかのアプリケーションをすべて終了させてからソフトウェアをインストールしてください。

1 ソフトウェアセットアップディスクをコンピューターのディスクドライブにセットします。



2 [DR-P215 Installer] をクリックします。



バンドルソフトウェアのインストールについて
バンドルソフトウェアをインストールする場合は、[DR-P215 Installer] を選択する代わりにソフトウェアが収録されたフォルダーを開くことで、バンドルソフトウェアを選択してインストールできます。

ヒント

Evernote を選択した場合、インストール中に Web ブラウザが起動し、ソフトウェアダウンロード用の Web ページが表示されます。Web ページの指示に従ってダウンロードとインストールをしてください。
なお、Evernote のインストールには、インターネットに接続できる環境が必要です。

3 [続ける] をクリックします。



4 [続ける] をクリックします。



5 「使用許諾契約」を読み、同意いただける場合は [続ける] をクリックします。



6 [同意する] をクリックします。



7 [インストール] をクリックします。



8 管理者権限を持つユーザー名とパスワードを入力してから、[OK] をクリックします。



9 インストールが完了したら、[閉じる] をクリックします。

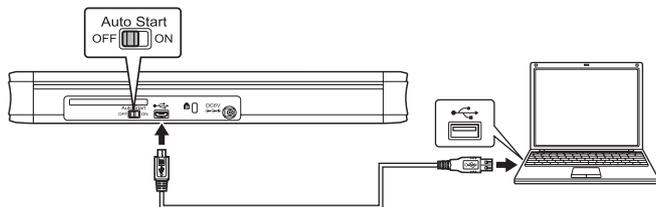


STEP 3

コンピューターに接続する

コンピューターとの接続

背面の Auto Start スイッチを「OFF」の位置にしてから、同梱の USB ケーブルでスキャナーをコンピューターに接続します。



重要

- スキャン中など、スキャナーとコンピューターの間でデータを転送しているときに、USB ケーブルを抜かないように注意してください。
- スキャナーとの接続に使用するコンピューターの USB コネクタには、500 mA の電源が供給されている必要があります。
- ソフトウェアをインストールする前にスキャナーをコンピューターに接続しないでください。

ヒント

USB 3.0 に対応した USB ポートに接続したときは、900mA のバスパワー駆動となり、高速にスキャンできます。この場合は、給電用ケーブルを併用しても、スキャン速度は同じです。

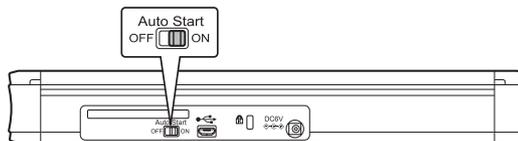
なお、本製品の USB 3.0 対応は 電源供給のみです。USB の転送速度は USB 2.0 相当となります。

USB ハブの使用について

本機は、バスパワータイプの USB ハブを介してコンピューターに接続して使用することはできません。セルフパワータイプの USB ハブは使用できますが、動作を保証するものではありません。

Auto Start スイッチについて

スキャナーの背面には、スキャナーをストレージデバイスとして動作させるかどうかを切り替えるための Auto Start スイッチがあります。



Auto Start スイッチの位置によって、スキャナーは次のように動作します。

スイッチの位置	スキャナーの動作
ON	本機がストレージデバイスとしてコンピューターに認識されます。スキャナーに内蔵されているソフトウェア CaptureOnTouch Lite を起動して、スキャナードライバーをインストールしていないコンピューターでもスキャンができます。(スキャナー本体にスキャン画像などのデータを保存することはできません。)
OFF	本機がスキャナーデバイスとしてコンピューターに認識されます。スキャナードライバーがインストールされているコンピューターに接続して、同梱の CaptureOnTouch などのアプリケーションを使用してスキャンできます。

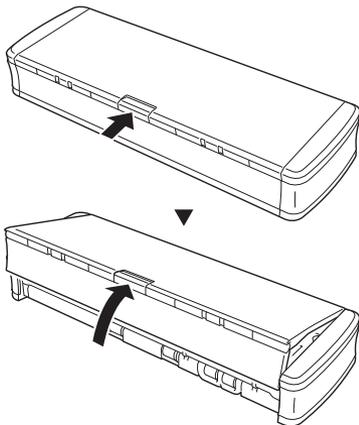
重要

- Auto Start スイッチの切り替えは、コンピューターに接続する前に行ってください。コンピューターに接続した後で Auto Start スイッチを切り替えると正常に動作しないことがあります。
- Auto Start スイッチを「ON」にして使用する場合、スキャナーをコンピューターに接続する前にコンピューターを起動しておく必要があります。起動していないコンピューターにスキャナーを接続し、スキャナーの給紙トレイを開いて電源を入れた状態では、コンピューターが起動できないことがあります。

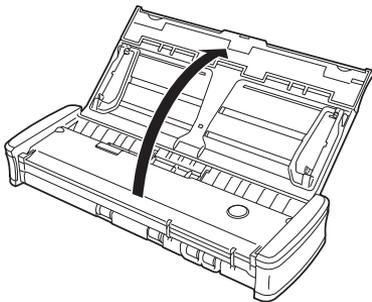
STEP 4

電源を入れる

- 1 給紙トレイ解除レバーを押しながら、給紙トレイを少し持ち上げます。

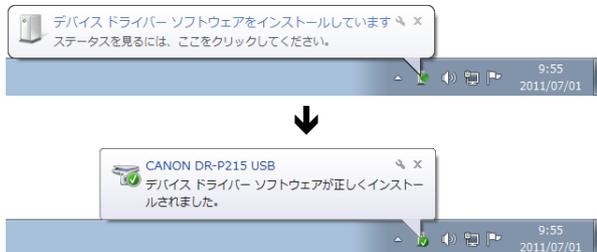


- 2 給紙トレイの手前の部分（前カバー）を開いてから、給紙トレイを開きます。
スキャナーの電源がオンになり、スタートボタンが点灯します。



ヒント

Windows の場合、初めて本機の電源を入れたときにタスクバーに次のようにバルーンが表示されます。しばらく待つと自動的にスキャナーの認識が終了し、本機が使用できるようになります。



スキャナーがコンピューターに正常に接続されているときは、タスクバー（メニューバー）の  (CaptureOnTouch) アイコンが次のように表示されます。

Windows のタスクバー



Mac OS X のメニューバー



タスクバーのアイコンの表示が  () になっているときは、スキャナーが正常にコンピューターに接続されていません。スキャナーの電源スイッチと USB ケーブルの状態を確認してください。

これでセットアップが完了しました。

はじめに

このたびはキャノンドキュメントスキャナーimageFORMULA DR-P215をお買い求めいただきありがとうございます。

本機の機能を十分にご理解いただき、より効果的にご活用いただくために、本機をご使用になる前に本書および以下のマニュアルをよくお読みになり、本機の機能をよく理解してからお使いください。また、お読みになったあとも大切に保管してください。

マニュアルの構成

本製品には、下記のマニュアルが用意されています。

● ユーザーマニュアル（基本操作編）

本製品に内蔵されている CaptureOnTouch Lite を使用した操作方法を説明したマニュアルです。スキャナードライバーなどの同梱ソフトウェアをインストールせずに本製品を使い始めるときにお読みください。

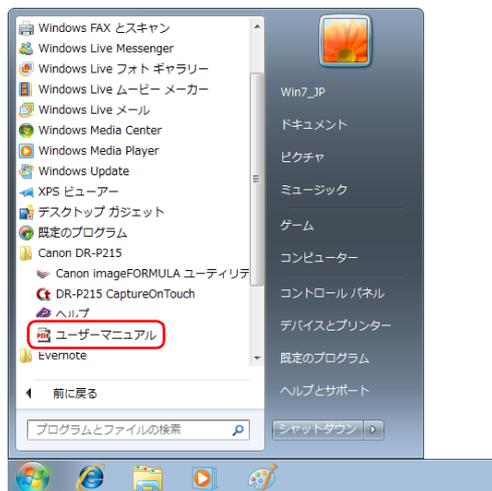
● ユーザーマニュアル（機能詳細編）（本書）

本製品の操作方法全般を説明したマニュアルです。PDF 形式の電子マニュアルとしてセットアップディスクに収録されています。



ヒント

Windows でご使用の場合、セットアップディスクからのソフトウェアのインストール後に、ユーザーマニュアル（機能詳細編）がスタートメニューの以下の場所に登録されます。



マニュアル内の表記について

本製品のマニュアルで使用している記号・表示について説明します。マニュアルをお読みになる前に、ひととおり目を通して、その意味を理解しておいてください。

(→ P. xx)

参照ページを表します。カッコ内の数字は、書かれていることについての詳しい説明が記載されているページ数です。



警告

取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。



注意

取り扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れや物的損害が発生する恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。



重要

操作上必ず守っていただきたい重要事項や禁止事項が書かれています。機械の故障や損傷を防ぐために、必ずお読みください。



ヒント

操作の参考となることや補足説明が書かれています。必ずお読みください。

目次

セットアップガイド	3	スキャナードライバーの設定 (Windows)	49
はじめに	13	スキャナードライバーの構成と機能	49
マニュアル内の表記について	13	基本的なスキャン条件の設定	50
お使いになる前に	16	スキャンパネル	57
安全にお使いいただくために	16	Mac OS X でスキャンする	58
設置する場所について	16	CaptureOnTouch Lite でスキャンする (Mac OS X)	58
AC アダプター (別売り) について	16	スキャンの手順	58
本機の移動について	16	スキャナー設定	61
日常の取り扱いについて	16	環境設定	65
廃棄する場合について	17	CaptureOnTouch Lite を終了する	65
本製品を修理のために送付するときは	17	CaptureOnTouch でスキャンする (Mac OS X)	66
本機の特長	18	CaptureOnTouch とは	66
各部の名称と機能	19	CaptureOnTouch の起動と終了	66
電源について	21	おまかせスキャン	67
電源を入れる	21	ジョブ選択スキャン	69
電源を切る	22	スタートボタンによるスキャン	72
補助電源を使用する	23	スキャナー設定	72
出力方法の設定	75		
環境設定	76		
本機の使いかた	24	スキャナードライバーの設定 (Mac OS X)	78
原稿について	24	スキャナードライバーの構成	78
原稿のセットのしかた	25	基本的なスキャン条件の設定	79
カードをセットする	26	スキャンパネル	85
長尺モードの設定	27	メンテナンス	86
Windows でスキャンする	29	日常のお手入れ	86
CaptureOnTouch Lite でスキャンする (Windows)	29	本体の清掃	86
スキャンの手順	29	本体内部の清掃	86
スキャナー設定	32	読み取りガラスとローラーの清掃	86
環境設定	36	消耗品の交換	87
CaptureOnTouch Lite を終了する	36	トラブルシューティング	92
CaptureOnTouch でスキャンする (Windows)	37	トラブル Q & A	92
CaptureOnTouch とは	37	ソフトウェアの操作で困ったときは	94
CaptureOnTouch の起動と終了	37	役立つヒント集	95
おまかせスキャン	38	紙づまりの処理	97
ジョブ選択スキャン	40	ソフトウェアをアンインストールする	99
スタートボタンによるスキャン	43	Windows でのアンインストール	99
スキャナー設定	43	Mac OS X でのアンインストール	99
出力方法の設定	46		
環境設定	47		

付録	100
仕様.....	100
交換部品.....	101
外形寸法図.....	101
保証とアフターサービス.....	102
修理受付窓口.....	103
サービス&サポートのご案内.....	104
索引.....	105

お使いになる前に

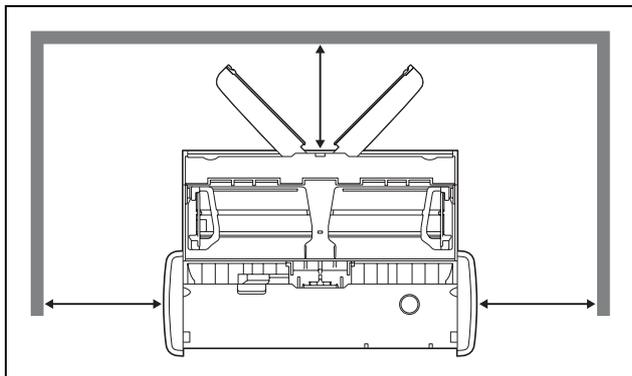
安全にお使いいただくために

本機を安全にお使いいただくため、以下の項目についての注意事項を必ずお読みください。

設置する場所について

本機の性能は、設置されている環境によって影響を受けることがあります。設置する場所が、次の環境条件に合っていることを確認してください。

- 本機の周りには操作、保守、換気のためのスペースを十分確保してください。



- 本機前方に読み取った原稿を排紙するためのスペースを十分確保してください。
- 直射日光が当たる場所は避けてください。やむをえない場合は、厚いカーテンなどで日光をさえぎってください。
- ほこりの多い場所は避けてください。ほこりは本体内部に悪影響を及ぼすことがあります。
- 水道の蛇口、湯沸器、加湿器など高温、多湿になる場所の近くや、アンモニアガス、シンナーなどが発生する場所は避けてください。
- 不安定な場所や、振動しやすい場所は避けてください。
- 温度が急激に変化する場所は避けてください。本体内部で結露が発生すると、品質低下の原因になります。以下の環境下でお使いください。
室温 10℃～32.5℃
湿度 25% (RH)～80% (RH)
- スピーカーやテレビ、ラジオなど磁気が発生する機器の近くは避けてください。

AC アダプター (別売り) について

- 指定された AC アダプター (別売り) 以外は使用しないでください。また、本製品用の AC アダプター (別売り) を他の製品に使用しないでください。
- USB ケーブル 1 本による USB 2.0 接続の場合で、高速に動作させたい場合は AC アダプター (別売り) をご購入ください。
- 電源について不明な点があるときは、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

本機の移動について

- 本機を移動する場合は、本機を落とさないように必ず両手でしっかり持ってください。
- 本機を移動する場合は、USB ケーブルや AC アダプター (別売り) を、必ず外しておいてください。ケーブル類を付けたまま持ち運ぶと、無理な力がかかってプラグやコネクタが損傷することがあります。

日常の取り扱いについて

⚠ 警告

本製品をお使いになるときは、次の警告をお守りください。これらは火災や感電の原因になります。

- アルコール、シンナーなどの引火性溶剤の近くには設置しないでください。
- USB ケーブルおよび給電用 USB ケーブルを傷つけたり、破損したり、加工しないでください。また、重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げないでください。
- 濡れた手で USB ケーブルおよび給電用 USB ケーブルを抜き差ししないでください。
- USB ケーブルおよび給電用 USB ケーブルを結んだり、束ねたりしないでください。電源プラグは奥まで確実に差し込んでください。
- 付属の USB ケーブルおよび給電用 USB ケーブル以外は使用しないでください。
- 本機を分解したり、改造しないでください。
- 本機の近くでは可燃性のスプレーを使用しないでください。
- 清掃の際は電源を切り、USB ケーブルおよび給電用 USB ケーブルを抜いてください。

- 本機の清掃には、水を含ませて固くしぼった布を使用してください。アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。
- 異常音、発煙、発熱、異臭があったり、電源を入れても機械が動かないなどの異常が発生した場合は、直ちに電源を切り、USB ケーブルおよび給電用 USB ケーブルを抜いてください。そして、お買い求めの販売店または担当サービスにご連絡ください。
- 本機を落としたり、ぶつけたりして、強いショックを与えないでください。万一、本機が破損した場合は、直ちに給紙トレイを閉じて電源を切り、USB ケーブルおよび給電用 USB ケーブルを抜いてください。そして、お買い求めの販売店または担当サービスにご連絡ください。
- 本機を移動させる場合は、必ず給紙トレイを閉じて電源を切り、USB ケーブルおよび給電用 USB ケーブルを抜いてください。

注意

- ぐらついた台の上や傾いたところなどの不安定な場所や、振動の多い場所には設置しないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因になることがあります。
- 本機の上には、クリップ、ステープルの針、ネックレスなどの金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入ると火災や感電の原因になることがあります。万一、これらが本機の中に入ってしまった場合は、直ちに給紙トレイを閉じて電源を切り、USB ケーブルおよび給電用 USB ケーブルを抜いてください。そしてお買い求めの販売店または担当サービスにご連絡ください。
- 湿気やほこりの多い場所には設置しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 本機の上には物を載せないでください。置いたものが倒れたり、落下して、けがの原因になることがあります。
- USB ケーブルおよび給電用 USB ケーブルを抜くときは、必ずコネクタを持って抜いてください。USB ケーブルを引っ張ると、芯線の露出、断線などで、USB ケーブルが傷つき、火災や感電の原因になることがあります。
- いつでも USB ケーブルおよび給電用 USB ケーブルが抜けるように、USB ケーブルおよび給電用 USB ケーブルの周りには物を置かないでください。非常時に USB ケーブルおよび給電用 USB ケーブルが抜けなくなります。
- 本機の内部に、水や引火性溶剤（アルコール、シンナー、ベンジンなど）をこぼさないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 長時間ご使用にならないときは、安全のため、必ず USB ケーブルおよび給電用 USB ケーブルを抜いてください。

- 本機を操作するときは、ゆったりとした服装を避け、装飾品など動作中の本機に引っ掛かりそうなものを身につけないでください。本機に巻き込まれてけがの原因になることがあります。特にネクタイや長い髪などにご注意ください。万一、巻き込まれた場合は、直ちに電源を切って機械を停止してください。
- 原稿をセットするときや、詰まった紙を取り除くときは、慎重に扱ってください。紙の端で手を切るなど、思わぬけがをすることがあります。

廃棄する場合について

本機を廃棄するときは、必ず法律およびその地域の条例に従って廃棄するか、お買い求めの販売店にご相談ください。

本製品を修理のために送付するときは

本製品の修理を依頼するときは、指定された送付先に本製品をお送りいただく必要があります。本製品の送付には、製品が入っていた梱包箱をご利用ください。また、梱包箱に入れるときに、本製品を梱包材でしっかりと固定していただくようお願いいたします。

本機の特長

本製品には以下の特長があります。

- **コンパクトサイズ**
給排紙トレイを閉じた状態で幅 285 mm × 高さ 40 mm × 奥行き 95 mm のコンパクトサイズです。
- **バスパワー駆動**
給電のみ USB 3.0 に対応しているため、USB ケーブル 1 本によるバスパワー駆動でモノクロ（グレースケール）15 枚／分、24 ビットカラー 10 枚／分の速度でスキャンできます（どちらも A4 片面、200dpi でスキャンした場合）。
USB 2.0 インターフェース使用時でも、給電用 USB ケーブルまたは AC アダプター（別売り）の併用で高速にスキャンできます。
- **Auto Start 機能**
背面の Auto Start スイッチを「ON」にすると、スキャナーに内蔵されているソフトウェア「CaptureOnTouch Lite」を起動できます。ドライバーがインストールされていない環境でも、コンピューターをスキャナーに接続するだけでスキャンが可能です。
- **自動電源オン／オフ**
給紙トレイの開閉に連動して自動的に電源がオンまたはオフになります。
- **フィーダー搭載**
標準的な厚さの原稿を 20 枚までセットし、連続または一枚ずつ給紙できます。
- **カードスロット搭載**
プラスチック製カードをスキャンするための専用スロットを搭載しています。
- **CaptureOnTouch 同梱**
同梱のソフトウェア CaptureOnTouch をインストールすることで、通常のスキャンだけでなく、ジョブの登録による一連の手続きのスキャンまで、多彩なスキャン方法でスキャンできます。
- **カラー／グレースケール対応**
原稿を 24 ビットカラーや 256 階調グレースケールでスキャンできます。
- **両面スキャン**
片面または両面スキャンに対応しています。白紙のページのスキャン画像の保存をスキップする「白紙スキップ機能」を使用することで、原稿が片面か両面かを気にせずにスキャンできます。

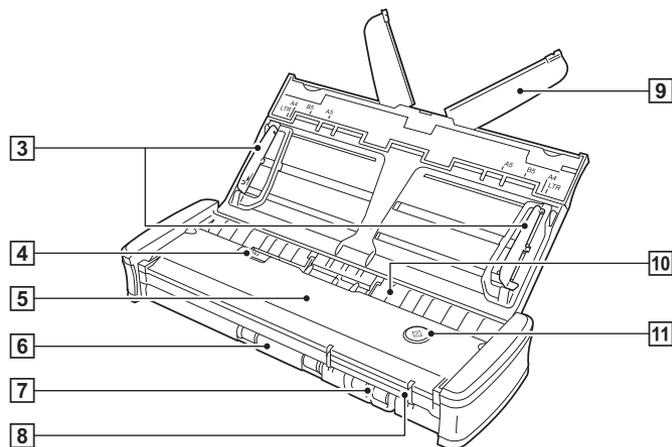
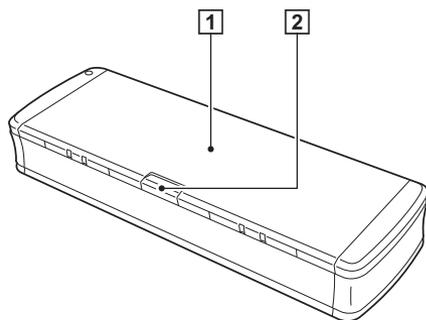
- **カラー原稿自動検知**
読み取った原稿がカラーかグレーか、または白黒かを自動判別して画像を保存します。
- **フルオートモード**
CaptureOnTouch Lite、CaptureOnTouch およびスキャナードライバーに、スキャン条件を自動的に決定する「フルオートモード」が用意されています。カラーモードや用紙サイズなどのスキャン条件が原稿に合わせて自動的に設定されます。
- **解像度の自動検知**
CaptureOnTouch Lite、CaptureOnTouch およびスキャナードライバーの設定により、原稿の内容から解像度を自動的に決定することができます。
- **原稿サイズ自動検知**
スキャンした原稿の用紙サイズを自動的に検知できます。定形外のサイズの原稿でも周囲の余白を省いてスキャンできます。
- **斜行補正**
原稿が斜めに給紙された場合でも、スキャン画像をまっすぐに補正できます。
- **文字強調モード**
背景が均一で、文字・背景がともに薄い原稿を、文字が読みやすくなるようにスキャンする「アドバンスドテキストエンハンスメント II」を備えています。
* 原稿によっては有効に機能しないことがあります。
- **ドロップアウトカラー**
原稿の特定の色だけを読み取らないようにできます。
- **プレスキャン**
原稿の最初のページだけをスキャンし、そのスキャン画像を確認して明るさとコントラストを調整してから残りの原稿をスキャンできます。
- **おまかせスキャン**
スキャナーのスタートボタンを押すと、自動的に CaptureOnTouch Lite または CaptureOnTouch が起動し、給紙トレイの原稿を「おまかせスキャン」でスキャンします。
- **フィーダーの原稿の自動検知**
原稿を給紙トレイにセットすると、原稿を検知して自動的にスキャンを開始する自動スタート機能を備えています。

！ 重要

本製品のバンドルソフトウェアによっては、上記の機能が使用できないことがあります。

各部の名称と機能

前面



① 給紙トレイ

原稿を給紙するためのトレイです。原稿をスキャンするときに開きます。

② 給紙トレイ解除レバー

給紙トレイを開くときに、本体に固定された給紙トレイをこのレバーを押して解除します。

③ 原稿ガイド

原稿がまっすぐに給紙されるようにするためのガイドです（左右に1つずつあります）。原稿をセットするときに立てて、スキャンする原稿の両端に合わせます。

④ フィーダーカバー解除レバー

お手入れ時に、このレバーを引いてフィーダーカバーを開きます。

⑤ フィーダーカバー

お手入れ時に開きます。

⑥ 排紙口

スキャンが終わった原稿が排紙されます。

⑦ カードスロット

プラスチック製カードを挿入します。

⑧ カードガイド

カードスロットに挿入されたカードがまっすぐに給紙されるようにするためのガイドです。

⑨ 給紙補助プレート

長い原稿をセットする場合に、このプレートを開いて原稿を支えます。

⑩ 給紙口

スキャンする原稿を挿入します。

11 スタートボタン

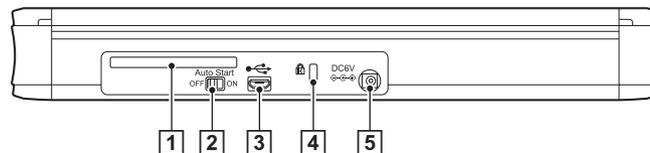
給紙トレイにセットされた原稿のスキャンを開始するときに押します。
本機の電源が入っているときに点灯し、次のように本機の状態を示します。

スタートボタンの状態	意味
点灯	スキャナーの電源が入っています。
点滅	スキャナーが次のいずれかの状態です。 <ul style="list-style-type: none">紙が詰まっている重送を検知してスキャンを停止している上部ユニットを開けているその他、スキャナーのエラーが発生している

重要

USB ケーブルを接続して給紙トレイを開くと、スタートボタンがゆっくり点滅することがあります。点滅が終了して点灯に変わってからスキャナーを使用してください。

背面



1 カード折り返しスロット

給紙中のプラスチック製カードを一時的に排出します。

2 Auto Start スイッチ

スキャナーの動作モードを切り替えます。

3 USB コネクター

同梱されている (または Hi-Speed USB 2.0 に対応した) USB ケーブルを接続します。

4 ケンジントンスロット

キーチェーンなどを接続して盗難を防止します。

5 電源コネクター

付属の給電用USBケーブル、または別売りのACアダプターを接続します。

ヒント

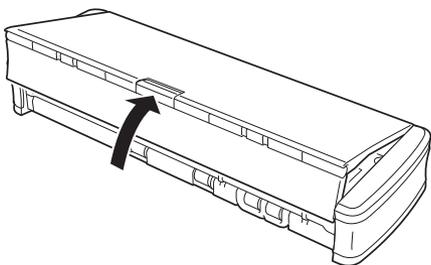
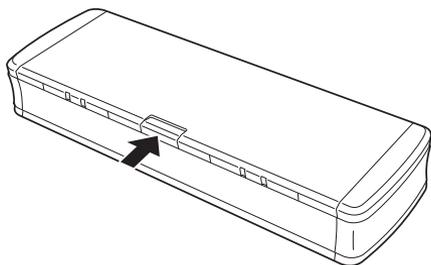
本機には電源スイッチはありません。詳細は「[電源について](#)」(→P.21)を参照してください。

電源について

本機は、給紙トレイの開閉に応じて電源が入るようになっていました。電源を入れたり切るときは、次のように操作します。

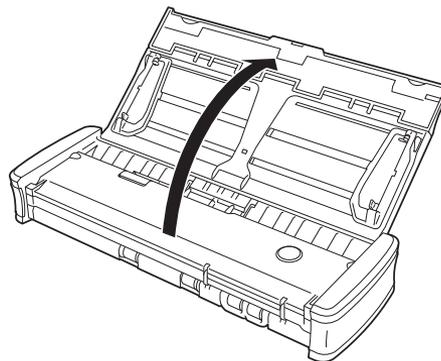
電源を入れる

- 1 給紙トレイ解除レバーを押しながら、給紙トレイを少し持ち上げます。



- 2 給紙トレイの手前の部分（前カバー）を開いてから、給紙トレイを開きます。

スキャナーの電源がオンになり、スタートボタンが点灯します。

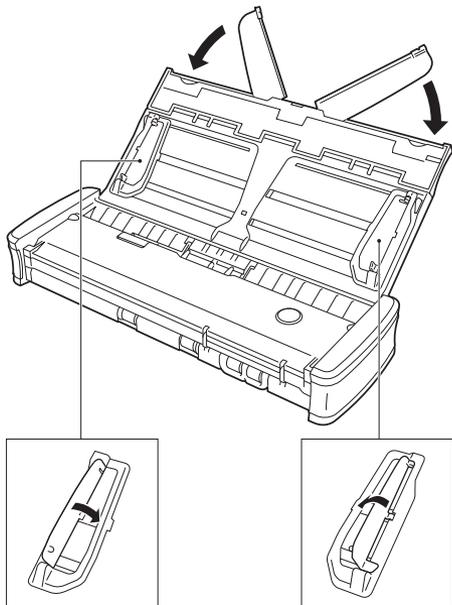


重要

USB ケーブルを接続して給紙トレイを開くと、スタートボタンがゆっくり点滅することがあります。点滅が終了して点灯に変わってからスキャナーを使用してください。

電源を切る

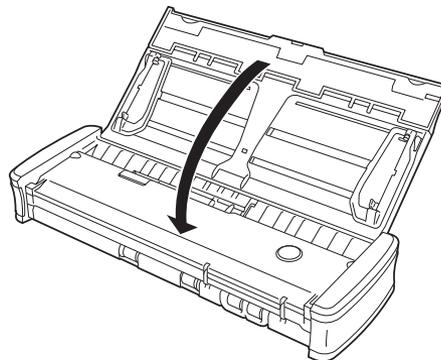
- 1 給紙補助プレートと原稿ガイドを立てているときは、給紙補助プレートを収納し、原稿ガイドを倒します。



! 重要

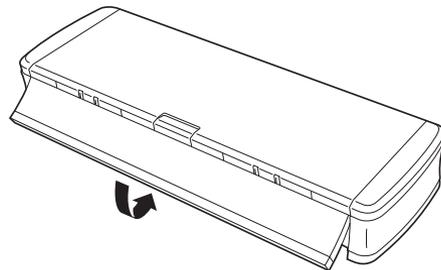
原稿ガイドを開いたまま給紙トレイを閉じないでください。本体に傷が付いたり、故障の原因となります。

- 2 給紙トレイを閉じます。



スキャナーの電源がオフになります。

- 3 給紙トレイの手前の部分(前カバー)を押して給紙トレイを閉じます。



! 重要

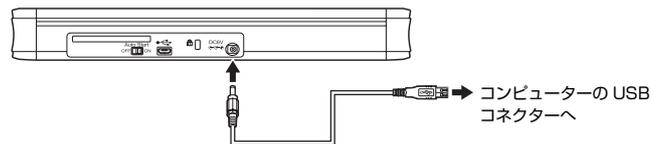
- スキャナーを使用しないときは、スキャナーの給紙トレイを閉じるか、USBケーブルを抜いてください。
- 運搬時は前カバーを開けないでください。給紙トレイが開き落下の原因となります。

補助電源を使用する

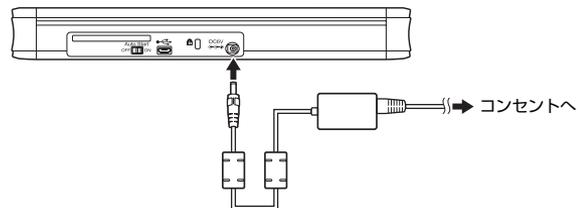
本機はバスパワー駆動により 1 本の USB ケーブルでのスキャンができますが、同梱の給電用 USB ケーブルまたは AC アダプター（別売り）を使用することにより、より高速にスキャンできます。

給電用 USB ケーブルまたは AC アダプター（別売り）は、背面の電源コネクタに接続して使用します。

給電用 USB ケーブル



AC アダプター（別売り）



ヒント

USB 3.0 に対応した USB ポートに接続したときは、900mA のバスパワー駆動となり、高速にスキャンできます。この場合は、給電用ケーブルを併用しても、スキャン速度は同じです。

なお、本製品の USB 3.0 対応は 電源供給のみです。USB の転送速度は USB 2.0 相当となります。

本機の使いかた

原稿について

本機は、名刺などの大きさから A4 サイズまでの原稿を読み取ることができます。読み取ることができる原稿の大きさは以下のとおりです。

原稿の種類	幅	長さ	紙厚 (坪量)	紙厚 (厚さ)
普通紙	50.8 ~ 216 mm (2 ~ 8.5")	70 ~ 356 mm (2.756 ~ 14") ¹⁾	52 ~ 128 g/m ²	0.06 ~ 0.15 mm (0.0024 ~ 0.0059")
ポストカード	88.9 ~ 108 mm (3.5 ~ 4.25")	127 ~ 152.4 mm (5 ~ 6")	128 ~ 225 g/m ²	0.15 ~ 0.3 mm (0.0059 ~ 0.0118")
名刺	49 ~ 55 mm (1.93 ~ 2.17")	85 ~ 91 mm (3.35 ~ 3.58")	128 ~ 225 g/m ²	0.15 ~ 0.3 mm (0.0059 ~ 0.0118")
カード ^{2) 3)}	86 mm (3.39")	54 mm (2.13")	—	0.76 mm (0.03") 以下 ⁴⁾

1) 長尺モード時は最大 1000 mm (39.4")

3) プラスチック製のもの

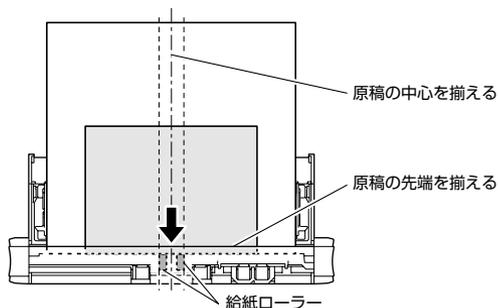
2) カードスロット使用

4) エンボス付きのカードは厚さ 1.4 mm (0.055") まで

重要

読み取る原稿には一定の基準があります。次の項目をよくお読みください。

- 複数枚のサイズが異なる原稿を一度に読み取るときは、原稿が給紙ローラーの全幅にかかるように、原稿の先端と中心を揃えてセットしてください。



- 356mm (14") を超える原稿は、1 枚給紙を推奨します。
- インクが乾いていない原稿は、ローラーや読み取りガラスを汚し、画像にすじが入る原因になったり、他の原稿を汚す原因になります。必ず乾かしてから読み取りを行ってください。

- 鉛筆などで書かれた原稿は、ローラーや読み取りガラスを汚し、画像にすじが入る原因になったり、他の原稿を汚す原因になります。このような原稿を読み取ったあとは、スキャナーの内部を清掃してください。
- 薄い紙の両面原稿を読み取る場合、読み取ったときに裏写りすることがあります。あらかじめアプリケーションソフトウェアで読み取る明るさを調整してから実行してください。
- 薄い紙は、1 枚給紙を推奨します。
- 次のような原稿を読み取ろうとすると、紙づまりや故障の原因になりますのでご注意ください。このような原稿を読み込むときは、複写機でコピーしてから読み取ってください。



しわや折り目が入っている。



カール (巻き付け) がある。



破れている。



クリップやステイプルの針が付いている。



カーボン紙。



表面がコーティングされている。



半透明の薄紙など極端に薄い。



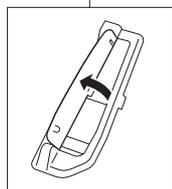
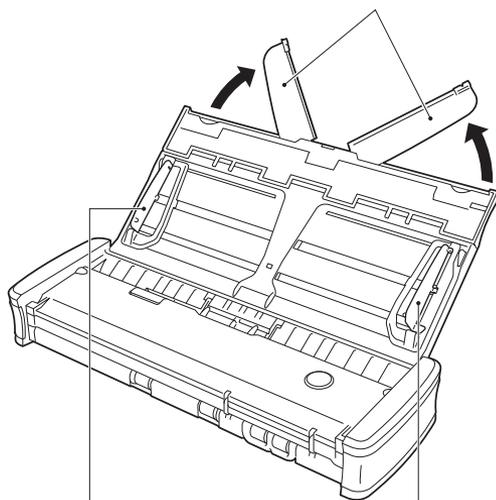
紙粉が出やすい紙。

原稿のセットのしかた

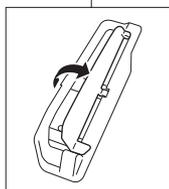
1 給紙トレイを開いてスキャナーの電源を入れます。(→P.21)

2 原稿ガイドと、給紙補助プレートを立てます。

給紙補助プレート



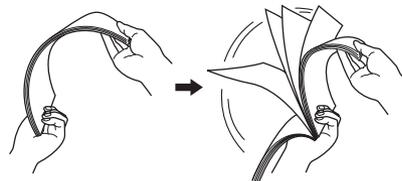
原稿ガイド (左)



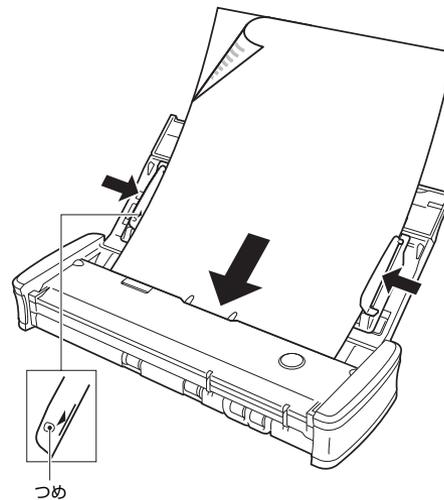
原稿ガイド (右)

3 原稿をセットします。

- 原稿をよくさばいてからセットしてください。

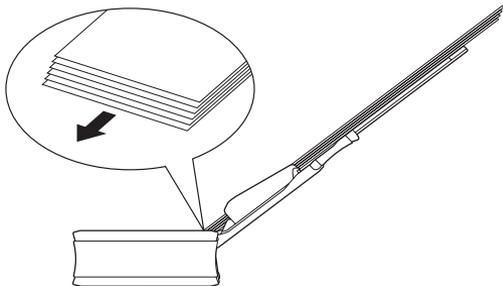


- 原稿の裏面を手前にし、上端から給紙口に挿入してください。
- 原稿ガイドを、セットした原稿の両端に合わせてください。
- 原稿を、原稿ガイドのつめの下に押し込んでください。
- 一度にセットできる原稿の枚数は、一般的な普通紙で20枚までです。原稿ガイドの積載制限マーク(▼)を超えないようにしてください。

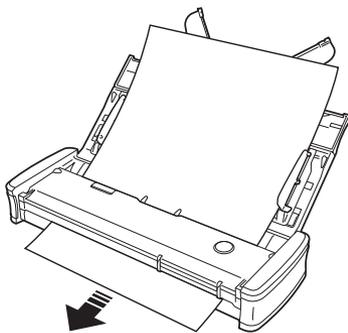


! 注意

- 複数枚の原稿をセットするときは、先端を少し斜めにずらしてください。



- 原稿が反っているときは、まっすぐに直してからセットしてください。
- スキャンされた原稿が前から排出されます。スキャナーの手前に物を置かないようにしてください。



- 重送が起る場合は、一度にセットする原稿の枚数を減らしてスキャンし直してください。
- 紙の質によっては、給紙時に異音が発生することがありますが、故障ではありません。

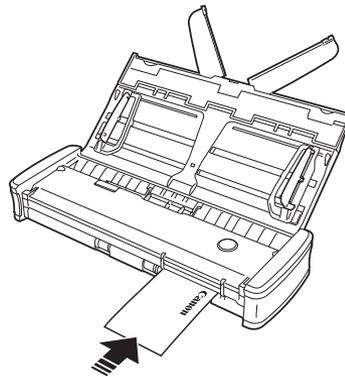
カードをセットする

プラスチック製のカードをスキャンするときは、カードスロットを使用します。次の手順で1枚ずつスキャンします。

1 給紙トレイを開きます。(→ P.25)

2 カードを縦向きにし、表面を上に向けてカードスロットにまっすぐに挿入します。

カードの先端をカードスロットに当てると、ローラーが自動的に回転します。カードの先端のみを掴んだらローラーが停止しますので、カードから手を離し、アプリケーションでスキャンを開始してください。



アプリケーションでスキャンを開始すると、カードが給紙されます。カード全体が給紙されたところで、ローラーが反対方向に回転し、カードのスキャンが開始します。スキャンが終わったカードは手前に排紙されます。

! 注意

- 給紙トレイに原稿がセットされているときは、カードスロットは使用できません。カードスロットにカードを挿入するときは、給紙トレイから原稿を取り除いてください。
- スキャン中にカードがスキャナーの背面のカード折り返しスロットから出てきます。カード折り返しスロットの前にものを置かないでください。
- エンボス付きのカードは、エンボスの状態によっては適切な画像が得られないことがあります。

長尺モードの設定

本機でスキャンすることができる原稿の長さは、標準で 356mm (14") までですが、長尺モードに設定すると最大 1,000mm (39.4") までの原稿をスキャンできます。

重要

長尺モードに設定し、スキャナードライバーの設定画面で [用紙サイズ] の設定を自動検知にすると、1,000mm までの長さの原稿を検知してスキャンできます。長尺モードに設定したときは、以下の項目に注意してください。

- 長尺原稿をスキャンするときは、給紙補助プレートを閉じてください。
- 長尺原稿をスキャンするときに原稿が傾いてセットされると、本機の給紙部の両端に当たり、原稿が破損することがあります。原稿の傾きには十分注意してください。
- 長尺原稿をスキャンすると、紙づまりの検知が遅れて原稿が破損することがあります。紙づまりには十分注意してください。
- 長尺原稿をスキャンするときは、必ず 1 枚ずつスキャンしてください。
- 長尺モードでサイズの大きな原稿をスキャンすると、スキャンに時間がかかることがあります。また、メモリー不足によってエラーが発生し、スキャンできなくなることがあります。

Windows での設定方法

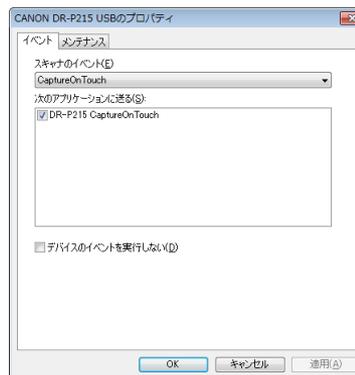
1 Windows を起動し、管理者権限を持つユーザーとしてログオンします。

2 スタートボタンをクリックし、[すべてのプログラム]、[Canon DR-P215]、[Canon imageFORMULA ユーティリティ] の順にクリックします。

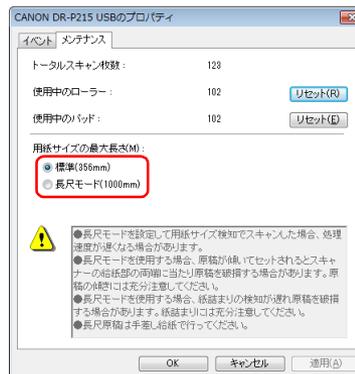
imageFORMULA ユーティリティが起動します。



3 [CANON DR-P215 USB] をクリックし、[プロパティ] をクリックします。



4 [メンテナンス] タブをクリックし、長尺モードを指定します。
[長尺モード (1000mm)] を選択してください。



5 [OK] をクリックします。

Mac OS X での設定方法

- 1 CaptureOnTouch を起動します。
- 2 [おまかせスキャン] をクリックします。
- 3 [フルオートモードでスキャンする] の [OFF] をクリックします。
- 4 [スキャナーの設定] ボタンをクリックします。
- 5 [詳細設定ダイアログボックスを使う] の [ON] をクリックします。
- 6  をクリックします。
スキャナードライバーの設定画面が開きます。
- 7  (情報ボタン) をクリックします。
[スキャナーの情報] ダイアログボックスが開きます。



- 8 [メンテナンス] をクリックします。
[メンテナンス] ダイアログボックスが開きます。



- 9 [長尺(1000mm)] を選択します。
- 10  をクリックしてダイアログボックスを閉じます。

Windows でスキャンする

CaptureOnTouch Lite でスキャンする (Windows)

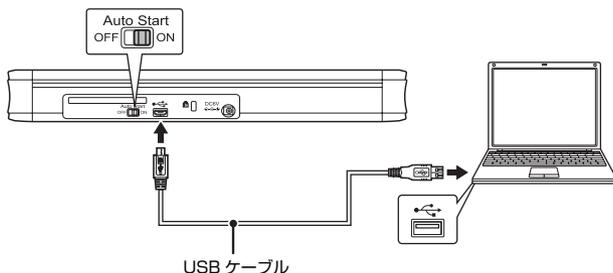
CaptureOnTouch Lite は、スキャナーに内蔵されている簡易スキャンングアプリケーションです。スキャナードライバーがインストールされていないコンピュータでも動作します。



画面の指示に従って、簡単な操作で原稿をスキャンし、任意のファイル形式でスキャン画像を保存できます。

スキャンの手順

- 1 スキャナーの背面の Auto Start スイッチを「ON」の位置にしてから、スキャナーをコンピュータに接続します。



必要に応じて、給電用 USB ケーブルまたは別売りの AC アダプターを接続してください。

- 2 給紙トレイを開いてスキャナーの電源を入れ、原稿をセットします。
詳細は「[原稿のセットのしかた](#)」(→ P.25) を参照してください。
給紙トレイを開くと、スキャナーのスタートボタンが点灯し、[自動再生] 画面が表示されます。

重要

Windows XP をお使いの場合、Auto Start スイッチを「ON」の位置にセットしてスキャナーをコンピュータに接続すると、スキャナーの電源を入れたときにコンピュータの再起動を求めるメッセージが表示されることがあります。[いいえ] をクリックしてそのまま使用を続けても問題ありません。

- 3 [フォルダーを開いてファイルを表示] をクリックします。



[ONTOUCLITE] フォルダが開きます。



4 [ONTOUCHL.exe] をダブルクリックします。

CaptureOnTouch Lite が起動し、メイン画面が表示されます。

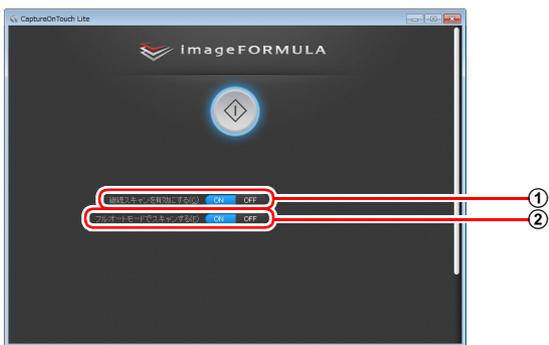
重要

CaptureOnTouch Lite のメイン画面が表示されるまでは、給紙トレイを閉じないでください。

ヒント

- お使いの環境によっては [自動再生] 画面が表示されないことがあります。Windows エクスプローラーなどで「ONTOUCHLITE」と表示されているドライブを開き、ONTOUCHL.exe を直接ダブルクリックして起動してください。
なお、OS によってはドライブ名「ONTOUCHLITE」が表示されないことがあります。ONTOUCHL.exe が存在するドライブを開いて直接起動してください。
- OS によっては、[自動再生] 画面に [CaptureOnTouch Lite] が表示されることがあります。この場合は [CaptureOnTouch Lite] をダブルクリックして CaptureOnTouch Lite を起動できます。

5 スキャン方法を設定します。



- ① 連続スキャンを有効にするかどうかを指定します。スキャン画像をプレビューするときや、大量の原稿を分けてスキャンするときは、[ON] を選択して連続スキャンを有効にします。
- ② フルオートモードで原稿をスキャンするかどうかを指定します。任意のスキャン条件を指定するときは、[OFF] を選択してスキャナー設定をします。(→ P.32)

重要

コンピュータのメモリーを大量に使用する条件でスキャンを行った場合、メモリー不足によりスキャンができなくなる場合があります。スキャン中にメモリー不足などのメッセージが表示されたときは、アプリケーションを終了させ、スキャン条件を変更してからスキャンをやり直してください。

6 スタートボタンをクリックします。

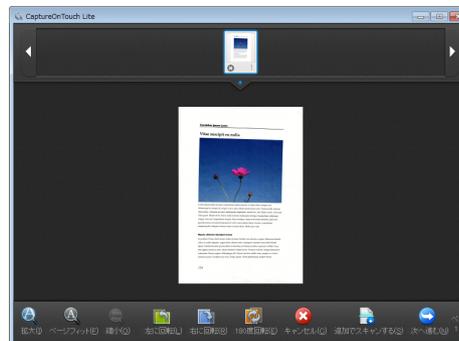


原稿のスキャンが開始します。

すべての原稿のスキャンが終わると、出力設定画面が表示されます。

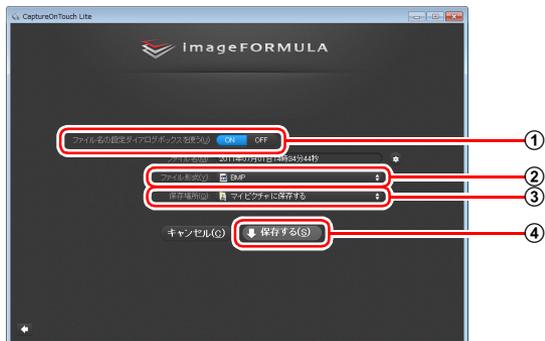
ヒント

[連続スキャンを有効にする] を [ON] にしてスキャンしたときは、原稿のスキャンが終わったときに連続スキャン画面 (→ P.34) が表示されます。



次の原稿をセットしてから [追加でスキャンする] をクリックすると、原稿のスキャンが開始します。
原稿をすべてスキャンし終わったら、[次へ進む] をクリックしてください。

7 出力に関する設定をしてから、スキャン画像を出力します。



- ① スキャン画像のファイル名を指定します。[ファイル名の設定ダイアログボックスを使う] を [OFF] にしたときは、ファイル名の欄に直接ファイル名を入力します。[ファイル名の設定ダイアログボックスを使う] を [ON] にしてから  をクリックすると、ファイル名の付けかたを指定できます。



- ② ファイル形式を選択します。BMP 形式以外のファイル形式を選択したときは、 をクリックして詳細設定ができます。

PDF



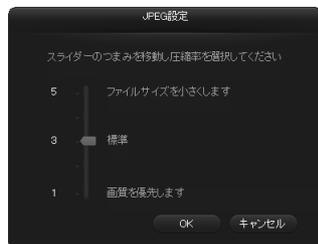
[マルチ PDF 設定] で、スキャン画像をマルチページ（全ページを 1 つのファイルにする）とシングルページ（指定したページ数ごとに 1 つのファイルにする）のどちらで保存するかを指定します。また、[圧縮モード] で、PDF ファイルの圧縮モード（[標準] または [高圧縮]）を指定します。 をクリックし、表示されるダイアログボックスで圧縮率を指定できます。

TIFF



[マルチ TIFF 設定] で、スキャン画像をマルチページ（全ページを 1 つのファイルにする）とシングルページ（指定したページ数ごとに 1 つのファイルにする）のどちらで保存するかを指定します。

JPEG



JPEG 画像の圧縮率を指定できます。

PPTX



スキャン画像に OCR 情報を付加するかどうかを指定できます。

- ③ スキャン画像の保存場所を指定します。
- ④ スキャン画像を出力します。

出力が終わると、完了画面が表示されます。これでおまかせスキャンは完了です。



ヒント

- [トップ画面に戻る] をクリックすると、おまかせスキャンのメイン画面に戻ります。
- [保存先のフォルダーを開く] をクリックすると、保存したスキャン画像が保存されたフォルダーが開きます。

スキャナー設定

デフォルトでは、CaptureOnTouch Lite はフルオートモードでのスキャンが有効になっているため、原稿に合ったスキャン条件でスキャンが行われます。スキャンのモードや原稿のサイズなどを指定したい場合に、スキャナー設定で任意のスキャン条件を設定できます。

スキャナー設定をするときは、トップ画面の [フルオートモードでスキャンする] の [OFF] をクリックしてから [スキャナーの設定] をクリックします。



基本項目の設定

スキャナー設定には、[スキャナーの設定] で設定する基本項目と、詳細設定ダイアログボックスで設定する設定項目があり、基本項目以外の設定は詳細設定ダイアログボックスの設定が適用されます。

その他の設定については、ドライバーの設定ダイアログボックスの設定が適用されます。

カラーモード

原稿をスキャンするモードを、次の中から選択します。

- | | |
|----------|------------------------------|
| 自動で検知する | 原稿の内容からカラーモードを自動判別してスキャンします。 |
| 24ビットカラー | 原稿をカラーでスキャンします。 |
| グレースケール | 原稿をグレースケールでスキャンします。 |
| 白黒 | 原稿を白黒二値でスキャンします。 |

用紙サイズ

原稿の用紙サイズを指定します。

[原稿のサイズに合わせる] を指定したときは、スキャンした原稿の用紙サイズを検知し、検知したサイズで画像を保存します。

解像度

スキャンの解像度を指定します。

[自動で検知する] を指定したときは、スキャンした原稿の内容から自動的に解像度が検出されます。

読み取り面

原稿を片面のみスキャンするか、両面をスキャンするかを指定します。

[白紙をスキップする] を指定したときは、原稿中に白紙があった場合にそのページを飛ばしてスキャンします。

画像の傾きを自動で補正する

原稿が斜めにスキャンされたときに、スキャンした画像の傾きを検知してまっすぐに補正します。

文字の向きに合わせて画像を回転する

読み取った画像の中にある文字の向きを認識し、文字の向きが正常になるように画像の向きを回転します。

詳細設定ダイアログボックスを使う

[ON] を選択してから  をクリックすると、基本項目以外の詳細なスキャナー設定ができます。このあとの「詳細設定」を参照してください。

ヒント

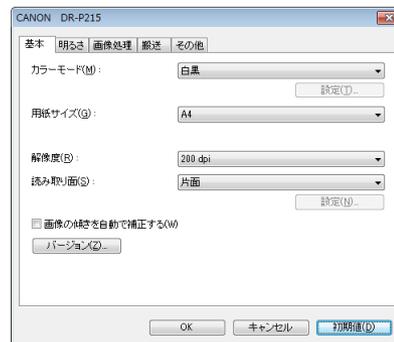
ドライバーの設定ダイアログボックスには、[スキャナーの設定] の基本項目と同じ設定項目があり、それぞれの設定内容は独立して保持されます。スキャン時にどちらの設定が適用されるかは、[詳細設定ダイアログボックスを使う] チェックボックスの設定によって次のように異なります。

[詳細設定ダイアログボックスを使う] の設定	基本項目	基本項目以外
OFF	[スキャナーの設定] の設定	スキャナードライバーの詳細設定ダイアログボックスの設定
ON	スキャナードライバーの詳細設定ダイアログボックスの設定	

詳細設定

詳細設定ダイアログボックスでは、スキャン条件の詳細設定や、スキャナーの動作に関する設定ができます。

[基本] タブ



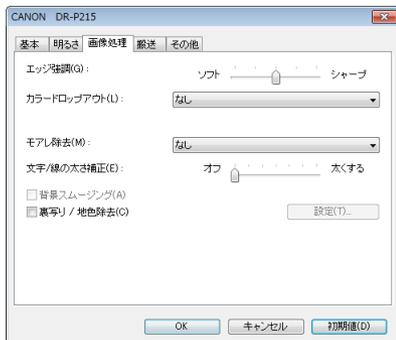
基本的なスキャン条件を設定します。

[明るさ] タブ



スキャン画像の明るさやコントラストを設定します。

【画像処理】 タブ



スキャンした画像の処理に関する設定を行います。

【搬送】 タブ



原稿の給紙方法を設定します。

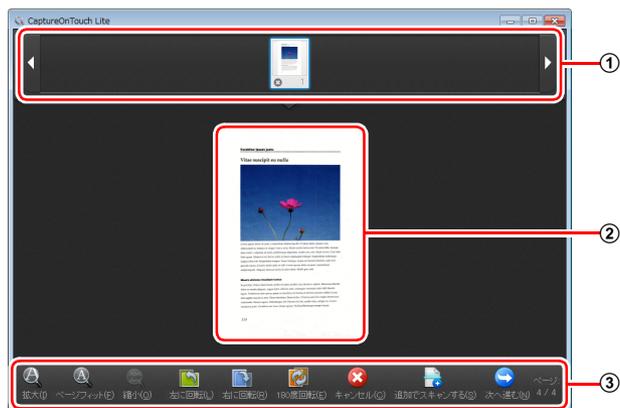
【その他】 タブ



特殊なスキャン方法や画像処理に関する設定を行います。

継続スキャン画面の操作

スタート画面で【継続スキャンを有効にする】を【ON】にしてスキャンした場合は、スキャナーにセットされた原稿がすべて給紙されたときに継続スキャン画面が表示されます。スキャン画像を確認したり、続きの操作を指定できます。



① サムネイル表示領域

スキャンされた原稿のサムネイル画像が表示されます。次の操作ができます。

サムネイル画像をクリックすると、そのスキャン画像のプレビューがプレビュー領域に表示されます。

サムネイル画像をドラッグすると、ページの入れ替えができます。

サムネイル画像上の  をクリックして、そのページのスキャン画像を削除できます。

② プレビュー領域

スキャンされた原稿のプレビュー画像が表示されます。

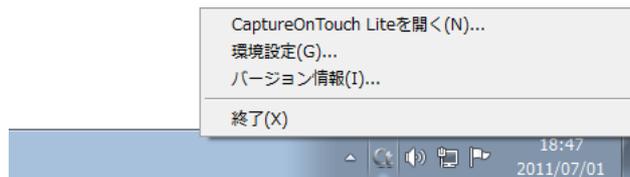
③ プレビュー操作部

プレビュー画像を下記のボタンで操作したり、スキャン操作をキャンセルまたは継続します。

ツール (名称)	説明
 (拡大)	プレビュー画像を拡大します。
 (ページフィット)	プレビュー画像を、現在のウィンドウの大きさに合わせて拡大または縮小します。
 (縮小)	プレビュー画像を縮小します。
 (左に回転)	画像を左に 90 度回転します。
 (右に回転)	画像を右に 90 度回転します。
 (180 度回転)	画像を 180 度回転します。
 (キャンセル)	画像のスキャン操作をキャンセルし、トップ画面に戻ります。
 (追加でスキャンする)	続きの原稿のスキャンを開始します。
 (次へ進む)	スキャン操作の次のステップに進みます。
 (ページ番号 / 総ページ数)	現在のページと総ページ数が表示されます。

タスクバーのアイコンについて

CaptureOnTouch Lite は、起動後にタスクバーに常駐します。このとき、タスクバーの通知領域に  アイコンが表示されます。



アイコンをクリックし、表示されるメニューで次の操作ができます。

【CaptureOnTouch Lite を開く】

CaptureOnTouch Lite のウィンドウを閉じた後で、このメニューをクリックして再度開くことができます。

【環境設定】

【環境設定】ダイアログボックスを表示します。詳細は「[環境設定](#)」(→ P.36)を参照してください。

【バージョン情報】

CaptureOnTouch Lite のバージョン情報を確認できます。

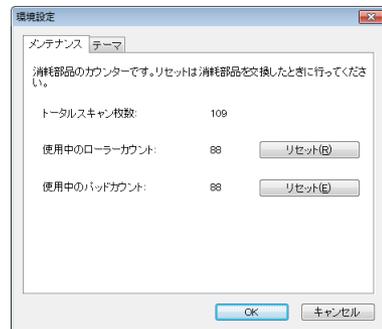
【終了】

CaptureOnTouch Lite を終了します。常駐も解除され、タスクバーの  アイコンが消えます。

環境設定

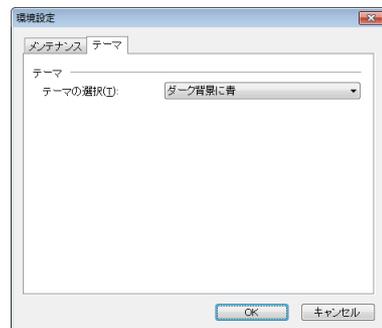
[環境設定] ダイアログボックスでは、CaptureOnTouch Lite の動作に関する設定や、スキャナーのメンテナンスができます。

[メンテナンス] タブ



スキャナーの総スキャン枚数と、ローラーと分離パッドのカウンターを確認できます。ローラーと分離パッドの交換後に、ここでカウンターをリセットできます。

[テーマ] タブ



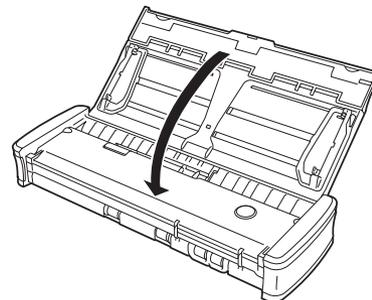
CaptureOnTouch Lite のウィンドウの配色を変更できます。

CaptureOnTouch Lite を終了する

CaptureOnTouch Lite を終了するときは、次の手順で操作します。

1 タスクバーの  アイコンをクリックし、表示されるメニューの [終了] をクリックします。
CaptureOnTouch Lite が閉じます。

2 給紙トレイを閉じます。



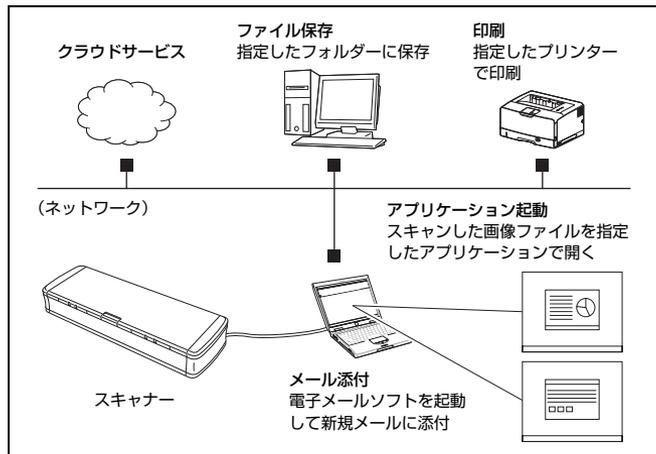
スキャナーの電源がオフになります。

3 USB ケーブルをスキャナーとコンピューターから抜きます。

CaptureOnTouch でスキャンする (Windows)

CaptureOnTouch とは

CaptureOnTouch は、画面の指示に従って簡単な操作で原稿をスキャンできるスキャニングアプリケーションです。



CaptureOnTouchには、目的や用途に応じた使い分けが可能な複数のスキャン方法が用意されています。

おまかせスキャン

原稿をスキャンしてから出力方法を選択します。画面の指示に従って手軽に原稿をスキャンできます。

ジョブ選択スキャン

スキャン条件から出力方法までをジョブに登録し、目的に合ったジョブを選択することで原稿をスキャンします。決まった手順でスキャンを繰り返す場合に便利です。

スタートボタンでスキャン

スキャナーのスタートボタンにはあらかじめ「おまかせスキャン」が割り当てられており、原稿をセットしてスタートボタンを押すとスキャンが開始されます。任意のジョブをスタートボタンに割り当てすることもできます。

画像ファイルの保存形式について

出力方法を「印刷する」にした場合を除き、スキャン画像のファイル形式は下記のいずれかを指定できます。

- PDF 形式
- TIFF 形式
- JPEG 形式
- BMP 形式
- PPTX 形式 (Microsoft PowerPoint 2007 以降のファイル形式)

CaptureOnTouch の起動と終了

デフォルトでは、コンピューターを起動したときに CaptureOnTouch がシステムに常駐します。



タスクバーの  (CaptureOnTouch アイコン) をダブルクリックすると、CaptureOnTouch が起動し、メインウィンドウが表示されます。

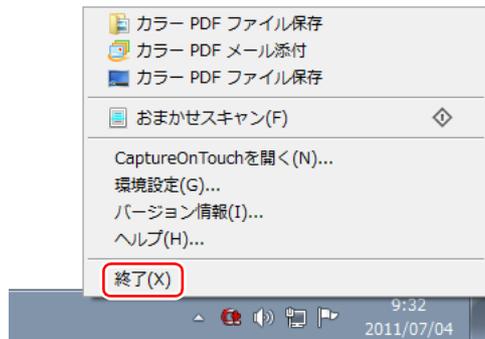
ヒント

- スタートメニューからも起動できます。[スタート] - [すべてのプログラム] - [Canon DR-P2115] - [DR-P2115 CaptureOnTouch] の順にクリックしてください。
- Evernote がインストールされているコンピューターで CaptureOnTouch を初めて起動したときは、スキャン画像を Evernote に送るためのジョブの登録を確認するメッセージが表示されます。[[はい] ボタンをクリックすると、Evernote 用のジョブが2つ CaptureOnTouch に登録されます。
- [環境設定] ダイアログボックスの「基本設定」タブで [CaptureOnTouch を常駐する] をオンにしていると、スキャナーのスタートボタンを押してからスキャンが開始するまでの時間が短くなります。詳細は「[環境設定](#)」(→ P.47) を参照してください。

終了するには

CaptureOnTouchのメインウィンドウを閉じるには、ウィンドウ上部の  をクリックします。この場合、メインウィンドウは閉じますが、システムへの常駐は保持されます。

CaptureOnTouchの常駐を終了するには、タスクバーの  (CaptureOnTouchアイコン) をクリックし、メニューの【終了】をクリックします。



システムへの常駐が終了し、タスクバーのアイコンがなくなります。

再起動するには

システムへの常駐の終了後に CaptureOnTouch を使用するときには、次のいずれかの手順で再起動してください。CaptureOnTouch が起動してシステムに再度常駐します。

- [スタート] – [すべてのプログラム] – [Canon DR-P215] – [DR-P215 CaptureOnTouch] の順にクリックする
- スキャナーのスタートボタンを押す (この場合は CaptureOnTouch のメイン画面が開き、スタートボタンに割り当てられたスキャン方法でスキャンが開始します)

おまかせスキャン

操作の流れ



1 原稿をスキャナーにセットします。

2 【おまかせスキャン】 をクリックします。



「おまかせスキャン」のトップ画面が表示されます。

3 トップ画面でスキャン方法を設定します。



- ① 継続スキャンを有効にするかどうかを指定します。スキャン画像をプレビューするときや、大量の原稿を分けてスキャンするときは、[ON]を選択して継続スキャンを有効にします。
- ② フルオートモードで原稿をスキャンするかどうかを指定します。任意のスキャン条件を指定するときは、[OFF]を選択してスキャナー設定をします。(→ P.43)

4 スタートボタンをクリックします。



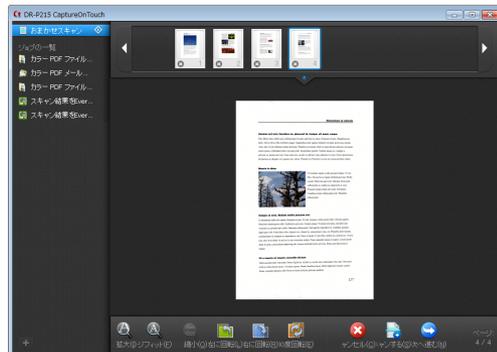
原稿がスキャンされます。スキャン中は、スキャンが終わったページ数と、スキャナー設定の内容が表示されます。
スキャンが終わると、出力設定画面が表示されます。

! 重要

コンピューターのメモリーを大量に消費する条件でスキャンを行った場合、メモリー不足によりスキャンができなくなる場合があります。スキャン中にメモリー不足などのメッセージが表示されたときは、アプリケーションを終了させ、スキャン条件を変更してからスキャンをやり直してください。

💡 ヒント

[継続スキャンを有効にする]を[ON]にしてスキャンしたときは、原稿のスキャンが終わったときに継続スキャン画面(→ P.45)が表示されます。



次の原稿をセットしてから[追加でスキャンする]をクリックすると、原稿のスキャンが始まります。

原稿をすべてスキャンし終わったら、[次へ進む]をクリックしてください。

5 出力に関する設定をしてから、スキャン画像を出力します。



- ① 出力に関する設定をします。(→ P.46)

- ② このボタンをクリックしてスキャン画像を出力します。ボタン名は出力方法ごとに異なります。たとえば、出力方法が「フォルダーに保存する」のときは「保存する」になります。

出力が終わると、完了画面が表示されます。これでおまかせスキャンは完了です。

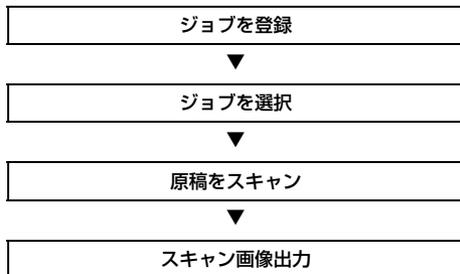


💡 ヒント

- 「トップ画面に戻る」をクリックすると、おまかせスキャンのメイン画面に戻ります。
- 「メールに添付する」および「印刷する」以外の出力方法を指定したときは、「保存先のフォルダーを開く」をクリックすることで、画像ファイルが保存されたフォルダーを開くことができます。

ジョブ選択スキャン

操作の流れ



ジョブの登録と編集

CaptureOnTouch には、ジョブ選択スキャンで使用するジョブを 10 個まで登録できます。

- 1 **+** ボタンをクリックします。



- 2 ジョブの名前を入力し、Enter キーを押します。



3 ジョブの出力方法を指定します。(→ P.46)



💡 ヒント

[ボタンの割り当て] で [スタートボタン] を選択すると、ジョブをスタートボタンに割り当てることができます。(→ P.43)

4 [出力の設定] をクリックし、出力設定をします。

出力設定の項目は、指定した出力方法によって異なります。設定項目の詳細は CaptureOnTouch のヘルプを参照してください。



ジョブを選択してスキャンする

1 原稿をスキャナーにセットします。(→ P.25)

ジョブ選択スキャンのトップ画面が表示されます。

2 ジョブをクリックします。



💡 ヒント

- [スキャン後出力確認をする] を [ON] にすると、スキャン後に出力設定の内容を確認できます。
- [連続スキャンを有効にする] を [ON] にすると、原稿がなくなったときにスキャンを続けることができます。

3 スタートボタンをクリックします。



原稿がスキャンされます。スキャン中は、スキャンが終わったページ数と、スキャナー設定の内容が表示されます。

原稿のすべてのページがスキャンされると、登録されているジョブの設定内容に従って出力され、完了画面が表示されます。



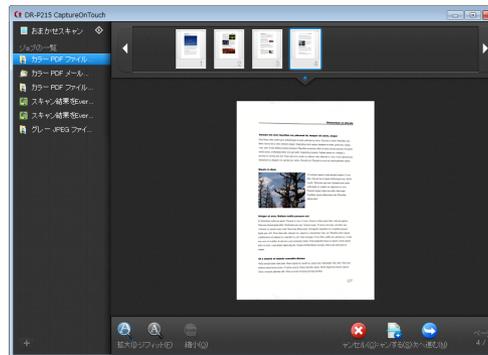
重要

コンピューターのメモリーを大量に消費する条件でスキャンを行った場合、メモリー不足によりスキャンができなくなる場合があります。スキャン中にメモリー不足などのメッセージが表示されたときは、アプリケーションを終了させ、スキャン条件を変更してからスキャンをやり直してください。

ヒント

- [トップ画面に戻る] をクリックすると、ジョブ選択スキャンのトップ画面に戻ります。
- [メールに添付する] および [印刷する] 以外の出力方法を指定したときは、[保存先のフォルダーを開く] をクリックすることで、画像ファイルが保存されたフォルダーを開くことができます。

【継続スキャンを有効にする】を【ON】にしてスキャンした場合原稿がなくなったときに継続スキャン画面 (→ P.45) が表示されます。他の原稿を続けてスキャンするときは、原稿をスキャナーにセットしてから【追加でスキャンする】をクリックします。原稿をすべてスキャンし終わったときは、【次へ進む】をクリックしてください。

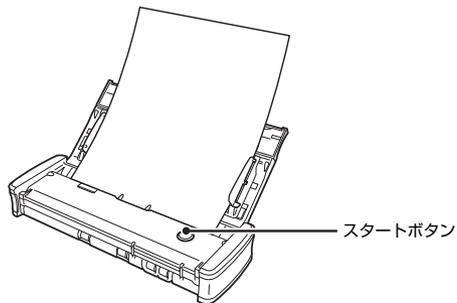


【スキャン後出力確認をする】を【ON】にした場合スキャンした画像を出力する前に、出力確認画面が表示されます。必要に応じて出力方法の設定を変更してから出力ボタンをクリックします。出力ボタンの名前は選択した出力方法ごとに異なります。



スタートボタンによるスキャン

デフォルトでは、スタートボタンにあらかじめ「おまかせスキャン」が割り当てられています。



原稿をセットしてスタートボタンを押すと、CaptureOnTouch が起動し、スキャンが開始されます。

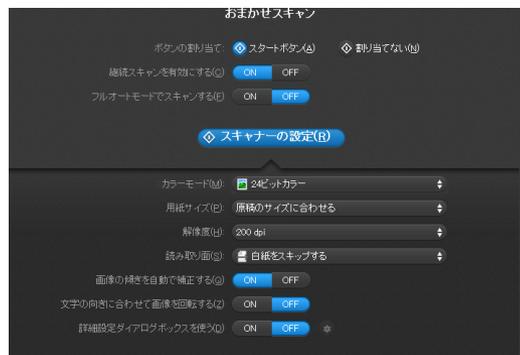
ヒント

スタートボタンに任意のジョブを割り当てた場合、ジョブの設定内容に従って原稿がスキャンされ、スキャン画像が出力されます。出力処理の終了後 5 秒経過すると、自動的に CaptureOnTouch のメインウィンドウが閉じます。

スキャナー設定

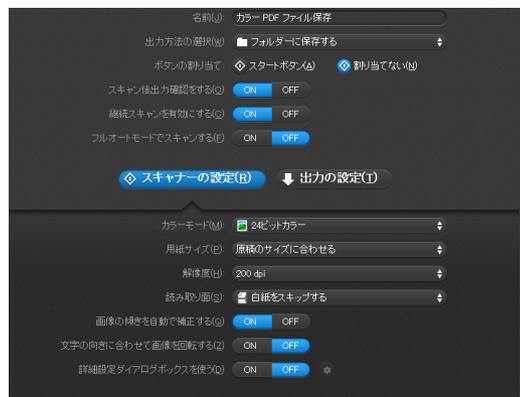
デフォルトでは、CaptureOnTouch はフルオートモードでのスキャンが有効になっているため、原稿に合ったスキャン条件でスキャンが行われます。スキャンのモードや原稿のサイズなどを指定したい場合に、スキャナー設定で任意のスキャン条件を設定できます。スキャナー設定の項目は、「おまかせスキャン」と「ジョブ選択スキャン」とで共通です。

「おまかせスキャン」の場合



「おまかせスキャン」ではスキャン開始前にスキャナー設定をします。

「ジョブ選択スキャン」の場合



「ジョブ選択スキャン」では、ジョブごとにスキャナー設定をします。

基本項目の設定

スキャナー設定には、[スキャナーの設定] で設定する基本項目と、詳細設定ダイアログボックスで設定する設定項目があり、基本項目以外の設定は詳細設定ダイアログボックスの設定が適用されます。

その他の設定については、ドライバーの設定ダイアログボックスの設定が適用されます。

カラーモード

原稿をスキャンするモードを、次の中から選択します。

自動で検知する 原稿の内容からカラーモードを自動判別してスキャンします。

24ビットカラー 原稿をカラーでスキャンします。

グレースケール 原稿をグレースケールでスキャンします。

白黒 原稿を白黒二値でスキャンします。

用紙サイズ

原稿の用紙サイズを指定します。

[原稿のサイズに合わせる] を指定したときは、スキャンした原稿の用紙サイズを検知し、検知したサイズで画像を保存します。

解像度

スキャンの解像度を指定します。

[自動で検知する] を指定したときは、スキャンした原稿の内容から自動的に解像度が検出されます。

読み取り面

原稿を片面のみスキャンするか、両面をスキャンするかを指定します。

[白紙をスキップする] を指定したときは、原稿中に白紙があった場合にそのページを飛ばしてスキャンします。

画像の傾きを自動で補正する

原稿が斜めにスキャンされたときに、スキャンした画像の傾きを検知してまっすぐに補正します。

文字の向きに合わせて画像を回転する

読み取った画像の中にある文字の向きを認識し、文字の向きが正常になるように画像の向きを回転します。

詳細設定ダイアログボックスを使う

基本項目以外の詳細なスキャナー設定は、詳細設定ダイアログボックス（スキャナードライバー）で行います。スキャナードライバーを開くには、[ON] を選択してから、 ボタンをクリックします。



設定項目の詳細は、ドライバーの設定ダイアログボックスのヘルプを参照してください。

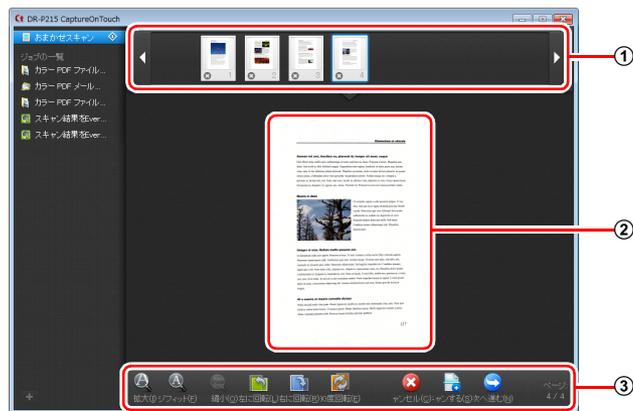
ヒント

ドライバーの設定ダイアログボックスには、[スキャナーの設定] の基本項目と同じ設定項目があり、それぞれの設定内容は独立して保持されます。スキャン時にどちらの設定が適用されるかは、[詳細設定ダイアログボックスを使う] チェックボックスの設定によって次のように異なります。

[詳細設定ダイアログボックスを使う] の設定	基本項目	基本項目以外
OFF	[スキャナーの設定] の設定	スキャナードライバーの詳細設定ダイアログボックスの設定
ON	スキャナードライバーの詳細設定ダイアログボックスの設定	

継続スキャン画面の操作

スタート画面で【継続スキャンを有効にする】を【ON】にしてスキャンした場合は、スキャナーにセットされた原稿がすべて給紙されたときに継続スキャン画面が表示されます。スキャン画像を確認したり、続きの操作を指定できます。



① サムネイル表示領域

スキャンされた原稿のサムネイル画像が表示されます。次の操作ができます。

サムネイル画像をクリックすると、そのスキャン画像のプレビューがプレビュー領域に表示されます。

サムネイル画像をドラッグすると、ページの入替えができます（おまかせスキャンのみ）。

サムネイル画像上の  をクリックして、そのページのスキャン画像を削除できます（おまかせスキャンのみ）。

② プレビュー領域

スキャンされた原稿のプレビュー画像が表示されます。

③ プレビュー操作部

プレビュー画像を下記のボタンで操作したり、スキャン操作をキャンセルまたは継続します。

ツール (名称)	説明
 (拡大)	プレビュー画像を拡大します。
 (ページフィット)	プレビュー画像を、現在のウィンドウの大きさに合わせて拡大または縮小します。
 (縮小)	プレビュー画像を縮小します。
 (左に回転)	画像を左に 90 度回転します。 (おまかせスキャンのみ)
 (右に回転)	画像を右に 90 度回転します。 (おまかせスキャンのみ)
 (180 度回転)	画像を 180 度回転します。 (おまかせスキャンのみ)
 (キャンセル)	画像のスキャン操作をキャンセルし、トップ画面に戻ります。
 (追加でスキャンする)	続きの原稿のスキャンを開始します。
 (次へ進む)	スキャン操作の次のステップに進みます。
 (ページ番号 / 総ページ数)	現在のページと総ページ数が表示されます。

出力方法の設定

CaptureOnTouchには、スキャン画像を処理するためのさまざまな出力方法が用意されています。

出力方法の指定は、「おまかせスキャン」と「ジョブ選択スキャン」とで共通です。

「おまかせスキャン」の場合

「おまかせスキャン」では、スキャン後に表示される出力方法選択画面で出力方法を選択してから、それぞれの出力方法を指定します。

「ジョブ選択スキャン」の場合

「ジョブ選択スキャン」では、ジョブごとに出力方法を指定します。

出力方法によって、出力に関する設定項目が異なります。

フォルダーに保存する



スキャンした画像を、指定したフォルダーに保存します。この出力方法を指定したときは、保存する画像ファイルの設定をします。

メールに添付する



スキャンした画像を、電子メールソフトウェアの新規作成メールに添付します。この出力方法を指定したときは、メールに添付する画像ファイルの設定をします。

この機能を使用するには、Windows メール、Outlook Express（どちらも OS 標準のアプリケーション）など、MAPI (Messaging Application Programming Interface) に対応した電子メールアプリケーションを、オペレーティングシステムの既定のプログラムとして指定しておく必要があります。

印刷する



スキャンした画像を、指定したプリンターで印刷します。この出力方法を指定したときは、印刷するプリンターを指定します。

他のアプリへ送る



スキャンした画像ファイルを指定したフォルダーに保存し、指定したアプリケーションで開きます。この出力方法を指定したときは、[起動アプリケーション]のボタンをクリックして、画像ファイルを開くことができるアプリケーションの実行ファイルを指定します。また、保存する画像ファイルの設定もします。

その他の出力方法

CaptureOnTouchのインストール時にいっしょにインストールしたプラグインに応じて、次の出力方法を選択できます。いずれの出力方法を選択しても、保存する画像ファイルの設定をします。

• Google ドキュメントに保存する

スキャンした画像を Google ドキュメントに保存します。この出力方法を使用するときは、[詳細設定]のボタンをクリックして設定画面を開き、アカウント情報の入力と送信先を設定します。設定の詳細はヘルプを参照してください（設定画面の[ヘルプ]ボタンをクリックして参照できます）。

• Evernote に保存する

スキャンした画像を Evernote に保存します。

• Microsoft SharePoint に保存する

Microsoft SharePointが導入されている環境下で、スキャン画像をMicrosoft SharePoint サイトに保存できます。この出力方法を使用するときは、[詳細設定]のボタンをクリックして詳細設定画面を開き、Microsoft SharePoint サイトの URL やアカウント情報、保存先のファイルなどを設定します。設定の詳細はヘルプを参照してください（設定画面の[ヘルプ]ボタンをクリックして参照できます）。

❗ 重要

[Google ドキュメントに保存する] および [Evernote に保存する] を利用するには、各クラウドサービスのアカウントの取得が必要です。(→ P.4)

環境設定

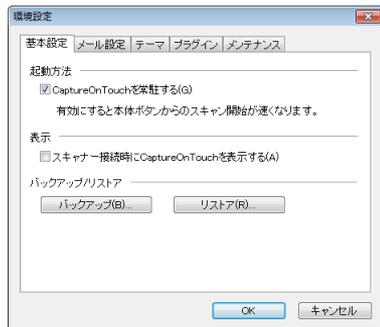
CaptureOnTouch の環境設定を行うには、[環境設定] ダイアログボックスを開きます。

タスクバーの  (CaptureOnTouch アイコン) をクリックし、メニューの [環境設定] をクリックします。

以降では、[環境設定] ダイアログボックスに表示される各タブの設定項目について説明します。

【基本設定】タブ

[基本設定] タブでは以下の設定を行います。



起動方法の設定

デフォルトでは、コンピューターの起動時に CaptureOnTouch がシステムに常駐します。[CaptureOnTouch を常駐する] チェックボックスをオフにすると、システムへの常駐を無効にできます。

スキャナー接続時の表示設定

[スキャナー接続時に CaptureOnTouch を表示する] チェックボックスをオンにすると、スキャナーをコンピューターに接続したときに自動的に CaptureOnTouch のメイン画面が開きます。この設定は、CaptureOnTouch が起動している（またはシステムに常駐している）場合のみ有効です。

バックアップ / リストア

[バックアップ] ボタンと [リストア] ボタンで、CaptureOnTouch の設定ファイル（設定内容や登録ジョブなど）をバックアップしたり、バックアップしたデータから設定を復元できます。

❗ 重要

出力方法を [Microsoft SharePoint に送る] に設定したジョブを登録している場合、Microsoft SharePoint に関する設定項目はバックアップされませんので、注意してください。

【バックアップ】ボタン

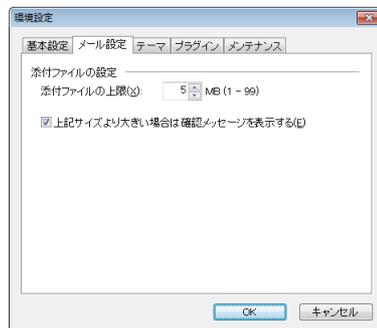
CaptureOnTouch の設定をバックアップファイル (*.cot) にバックアップします。CaptureOnTouch を使用する前にバックアップを行うことにより、CaptureOnTouch の初期状態を保持できます。

【リストア】ボタン

バックアップしたファイルから設定を復元します。複数台のコンピューターを使用している場合に、1 台のコンピューターで行った環境設定をバックアップし、他のコンピューターにリストアすることで同じ設定にできます。

【メール設定】タブ

[メール設定] タブでは、メールに添付する画像ファイルの上限を設定します。



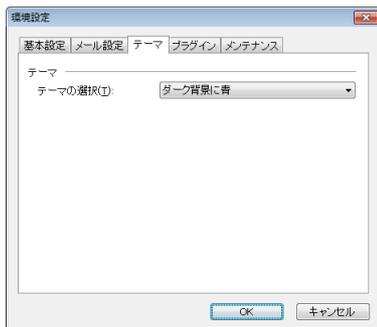
添付ファイルの上限

[上記サイズより大きい場合は確認メッセージを表示する] チェックボックスをオンにすると、添付ファイルが上限サイズを超えたときに確認メッセージが表示されます。

- 「おまかせスキャン」の場合は、スキャンした画像のファイルサイズがここで設定したファイルサイズより大きかった場合に確認メッセージが表示されません。
- 「ジョブ選択スキャン」の場合は、スキャン中に設定したファイルサイズを超えたときに確認メッセージが表示されます。

【テーマ】 タブ

【テーマ】 タブでは CaptureOnTouch のメイン画面の外観を指定できます。

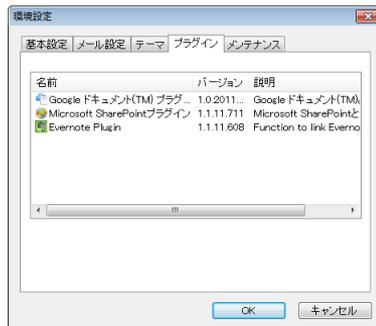


テーマの指定

【テーマの選択】 で、CaptureOnTouch のメイン画面の外観の種類を指定します。

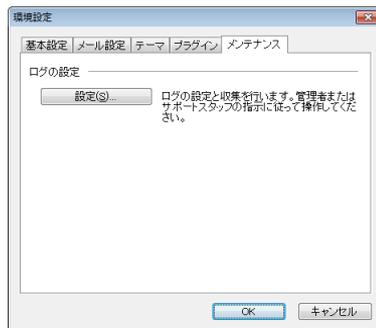
【プラグイン】 タブ

【プラグイン】 タブでは、CaptureOnTouch に追加されているプラグインを確認できます。



【メンテナンス】 タブ

【メンテナンス】 タブでは、CaptureOnTouch のメンテナンスのためのログファイルを出力します。



スキャナードライバーの設定 (Windows)

ISIS 互換または TWAIN 互換アプリケーション (CaptureOnTouch など) で原稿をスキャンするときは、スキャナードライバーを開いてスキャン条件などを設定します。

ここでは、スキャナードライバーの構成と機能について説明します。

スキャナードライバーの構成と機能

スキャナードライバーは次の 5 つのタブで構成されています。



ヒント

設定画面についての詳細は、スキャナードライバーのヘルプを参照してください。ドライバーの [ヘルプ] ボタンをクリックすると、そのタブやダイアログボックスに関するヘルプが表示されます。

[基本] タブ



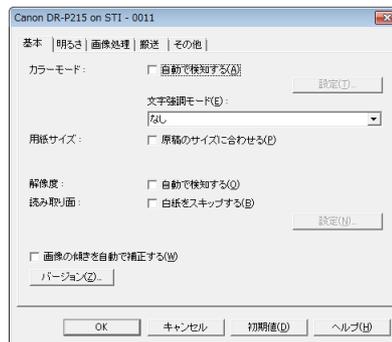
モードや用紙サイズ、解像度、読み取り面などの基本的なスキャン条件を設定します。

[領域] ボタンをクリックして、スキャンする領域を指定することもできます。



ヒント

ISIS 互換アプリケーションによっては、スキャン条件をアプリケーション独自の画面で設定することがあります。このようなアプリケーションでスキャナードライバーを開いた場合、[基本] タブにはスキャン条件以外のスキャナードライバーが提供する機能に関する設定項目が表示されます。



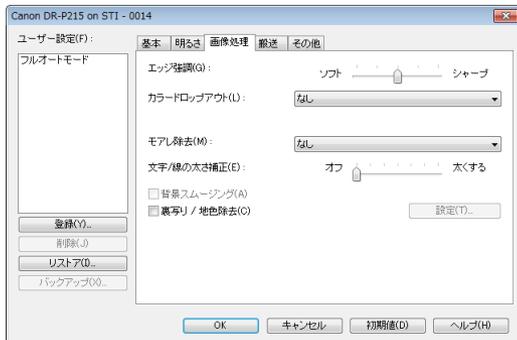
[明るさ] タブ



スキャン画像の明るさとコントラストを調整します。

[ガンマ] をクリックして、スキャン画像のガンマ補正値を設定することもできます。

【画像処理】 タブ



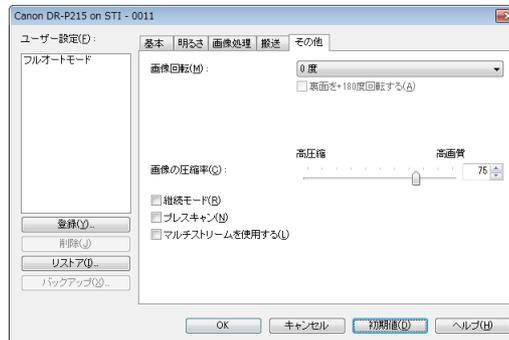
スキャン画像の処理方法を設定します。

【搬送】 タブ



原稿の給紙に関するスキャナーの動作を指定します。

【その他】 タブ



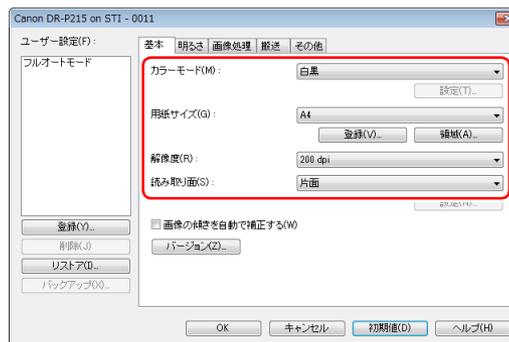
特殊なスキャン方法や画像処理に関する設定をします。

基本的なスキャン条件の設定

読み取りの設定を行う際に最低必要となる基本設定の項目の概略について説明します。

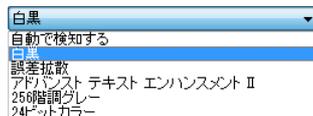
読み取りの基本条件の確認

原稿をスキャンするときは、基本設定ダイアログボックスで「カラーモード」、「用紙サイズ」、「解像度」、「読み取り面」の基本条件を必ず確認してください。



カラーモード

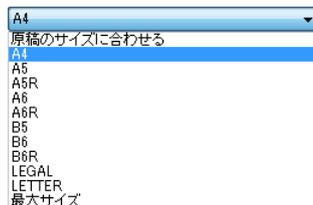
スキャンするモードを選択します。



- ・ [アドバンスドテキストエンハンスメント II] は、文字の周りや地色の背景を除去または処理し、文字を強調させて読みやすくします。必要に応じて [明るさ] タブでコントラストを調整することで、スキャンした画像の文字が読みやすくなるように調整できます。
- ・ [自動で検知する] は原稿の内容からカラー、グレーまたは白黒のいずれかを検知します。[設定] をクリックすると、検知方法に関する詳細な設定ができます。詳細はヘルプを参照してください。

用紙サイズ

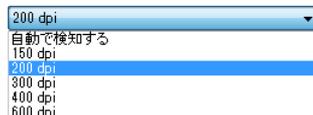
スキャンする原稿に合わせて用紙サイズを選択します。



[原稿のサイズに合わせる] を選択すると、原稿の端を検知して原稿のサイズに合わせた画像が保存されます。

解像度

スキャンする解像度を選択します。



- ・ 解像度を高くすると画像がきれいになりますが、ファイルサイズが大きくなり、スキャン速度も遅くなります。
- ・ [自動で検知する] を選択すると、原稿に印刷されている内容から自動的に解像度が検知されます。

読み取り面

原稿をスキャンする面を選択します。

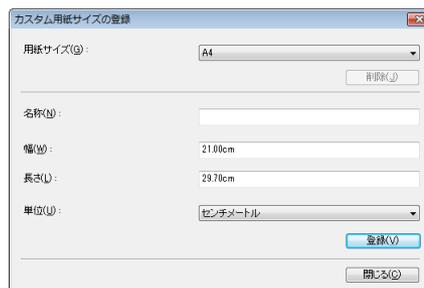


読み取り面を [白紙をスキップする] にすると、白紙の面の画像を削除して保存されます。

用紙サイズに登録されていない原稿の読み取り

用紙サイズに登録されていない原稿は、以下の設定を行うことにより読み取ることができるようになります。

用紙サイズに登録されていない非定形サイズの原稿は、[基本] タブの [登録] ボタンから開く [カスタム用紙サイズの登録] ダイアログボックスで、用紙サイズに登録されていない非定形サイズの用紙をカスタム用紙サイズとして名前を付けて登録することができます。

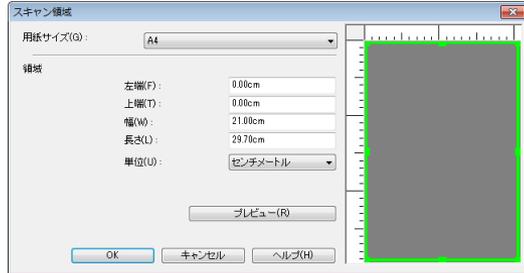


スキャン領域の指定

原稿の一部の領域を指定するときは以下の設定を行います。

領域指定

原稿の一部の領域を指定してスキャンするときは、[基本] タブの [領域] ボタンから開くスキャン領域ダイアログボックスで領域を指定します。



目的に合わせたスキャナー設定

スキャンする目的に合わせてスキャン条件を設定します。

両面原稿の中にある白紙ページの画像を削除したい

[基本] タブにある読み取り面の設定を [白紙をスキップする] にしてスキャンすると、原稿内にある白紙のページの画像が削除されます。

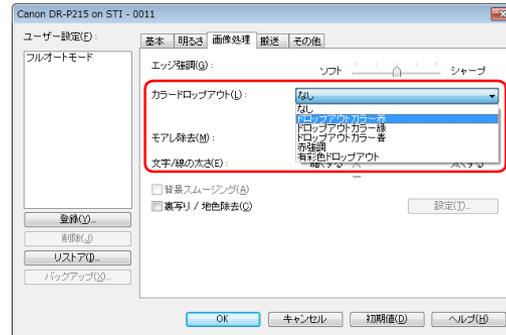


[白紙をスキップする] を選択すると [設定] ボタンが有効になり、白紙と判断するレベルを調整できます。



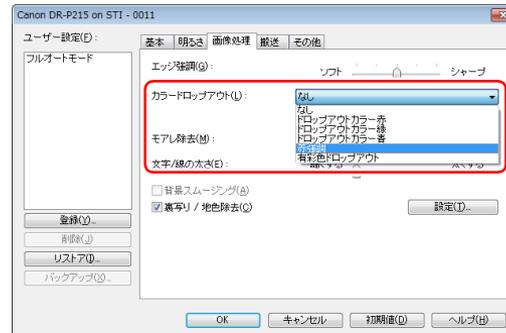
色の付いた罫線や文字をスキャンしないようにしたい

[画像処理] タブにあるカラードロップアウトの設定でドロップアウトさせる色 (赤、青、緑、有彩色) を指定すると、指定した色がスキャンされません。



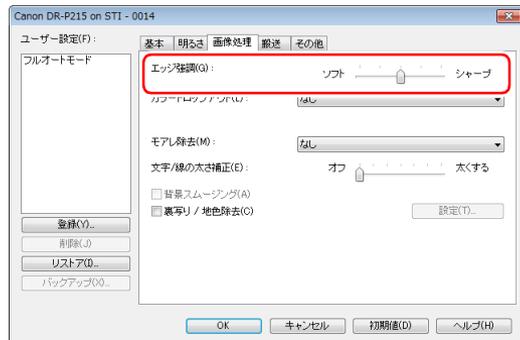
赤を強調させたい

[画像処理] タブの [カラードロップアウト] で [赤強調] を指定すると、原稿上の赤い色の部分が強調されます。



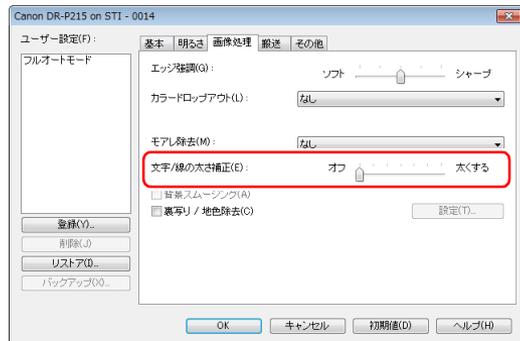
画像の輪郭をはっきりさせたい

【画像処理】タブでエッジ強調の設定を調整します。



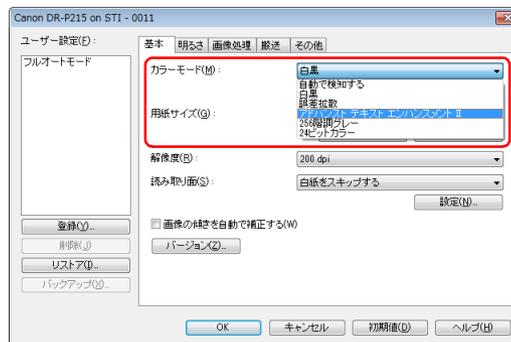
スキャン画像の線や文字を太くしたい

【画像処理】タブの「文字 / 線の太さ補正」にあるスライダーをドラッグして、スキャン画像の線や文字を太くすることができます。



背景などで文字が読みづらい原稿をスキャンしたときに文字をはっきりさせたい

【基本】タブにあるカラーモードの設定で「アドバンスドテキストエンハンスメント II」を選択します。文字の背景を除去または処理して、文字を強調して読みやすくします。



「アドバンスドテキストエンハンスメント II」は、背景色が均一で、文字や背景が薄い原稿の読み取りに適しています。背景が模様など均でない原稿は、背景が完全に除去されず文字が読みにくくなることがあります。必要に応じて【明るさ】タブでコントラストを調整することで、スキャン画像の文字を読みやすくできます。

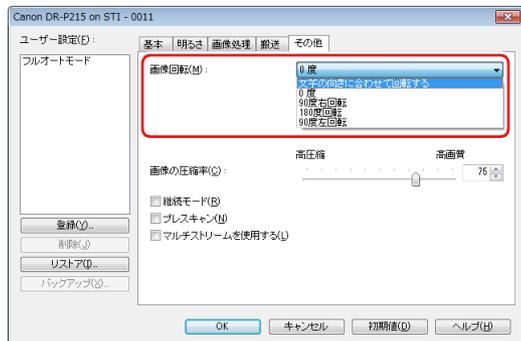
原稿が複数枚重なって給紙されるのを検知したい

【搬送】タブの「再送検知」の「長さで検知」チェックボックスをオンにします。



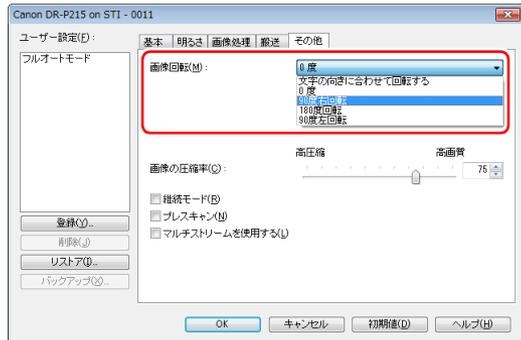
文字の向きが異なる原稿が混在しているときに画像の向きを文字に合わせてそろえたい

[その他] タブにある [画像回転] で [文字の向きに合わせて回転する] を選択します。原稿内の文字の向きを検知して文字の向きが正しくなるように、スキャン画像が 90 度単位で回転されます。



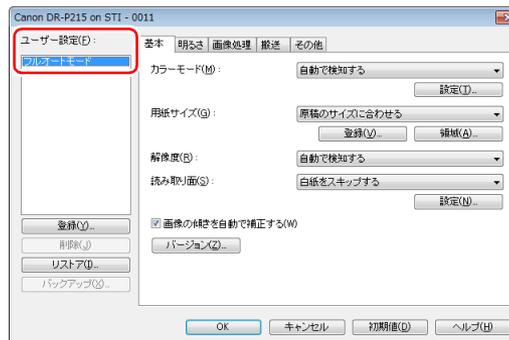
横向きにセットした原稿の画像が正しくなるように回転させたい

[その他] タブにある [画像回転] で回転させる角度を指定します。



スキャン条件を自動的に設定してスキャンしたい

[ユーザー設定] の [フルオートモード] を選択すると、原稿に合わせたスキャン条件でスキャンされます。



ヒント

フルオートモードを選択したときは、[カラーモード] と [用紙サイズ]、[解像度] がすべて自動検知になります。また、[読み取り面] の設定が [白紙をスキップする] になり、[画像回転] が [文字の向きに合わせて回転する] になります。

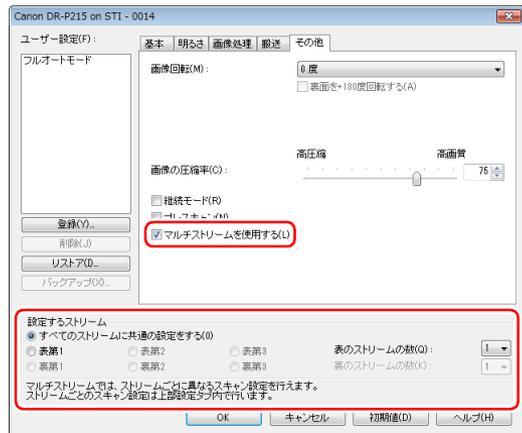
マルチストリーム設定でスキャンしたい

1 回のスキャン操作で複数の異なるスキャン画像を出力したり、表面と裏面ごとにスキャン条件が異なるスキャン画像を出力できます (マルチストリーム設定)。

重要

- マルチストリーム設定は Windows でのみ使用できます。
- アプリケーションによっては、この設定項目は表示されません。

マルチストリーム設定を使用してスキャンするときは、[その他] タブの [マルチストリームを使用する] チェックボックスをオンにし、マルチストリームに関する設定項目を表示させ、次の順に設定します。



- ① 原稿の表面と裏面ごとに異なるスキャン条件を指定するときは、あらかじめ [基本] タブの [読み取り面] で [白紙をスキップする] または [両面] を選択します。
- ② [表のストリームの数] で、適用するスキャン条件の数を指定します。3 つまで指定できます。
- ③ [表第 1] を選択し、他のタブを開いてスキャン条件を設定します。[表のストリームの数] で指定した数に応じて、残りの [表第 2]、[表第 3] も同様に設定します。
- ④ 裏面のスキャン条件を指定するときは、手順 ②～③と同様に設定します。この場合、[裏のストリームの数] を指定してから、[裏第 1] ～ [裏第 3] のそれぞれに対してスキャン条件を設定します。

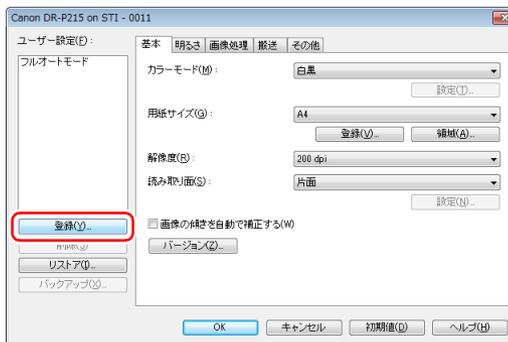
ヒント

マルチストリーム設定での設定が可能なスキャン条件は次のとおりです。

タブ	設定が可能な項目
[基本] タブ	[カラーモード] および [解像度] (どちらも [自動で検知する] を除く)
[明るさ] タブ	[明るさ] および [コントラスト]
[画像処理] タブ	[エッジ強調]、[カラードロップアウト] および [文字 / 線の太さ補正]
[搬送] タブ	なし (すべて無効)
[その他] タブ	なし ([マルチストリームを使用する] のみ有効)

スキャナードライバーの設定を保存したい

設定が終わったときに、[ユーザー設定] の [登録] ボタンをクリックして設定内容を保存できます。



保存した設定内容は、一覧に登録されます。[削除] ボタンで一覧から削除したり、[リストア] または [バックアップ] ボタンで設定内容をファイルに保存したり読み込むことができます。

ヒント

あらかじめ登録されている [フルオートモード] は、[ユーザー設定] から削除できません。

カラーモードの設定による機能制限

【基本】 タブの【カラーモード】 の設定に応じて、次のようにドライバーの各タブの設定項目の一部が無効になります。

【明るさ】 タブ

設定値	コントラスト
自動で検知する	○
白黒	○
誤差拡散	○
アドバンスドテキストエンハンスメントII	○
256 階調グレー	○
24 ビットカラー	○

(○：設定可 ×：設定不可)

【その他】 タブ

設定値	プレスキャン
自動で検知する	×
白黒	○
誤差拡散	○
アドバンスドテキストエンハンスメントII	○
256 階調グレー	○
24 ビットカラー	○

(○：設定可 ×：設定不可)

【画像処理】 タブ

設定値	エッジ強調	カラードロップアウト	背景スムージング	裏写り/地色除去	文字/線の太さ補正
自動で検知する	○	×	○	○* ¹	○* ²
白黒	○	○	×	○	○
誤差拡散	○	○	×	○	○
アドバンスドテキストエンハンスメントII	×	○	×	×	○
256 階調グレー	○	○	○	○	×
24 ビットカラー	○	×	○	○	×

(○：設定可 ×：設定不可)

*¹【カラー白黒検知設定】 ダイアログボックスの設定が下記の条件のすべてに合致する場合は設定不可

- 【検知モード】 が【カラーまたはグレー】以外
- 【白黒と判定された場合】 タブの【白黒の場合のモード】 が【アドバンスドテキストエンハンスメントII】

*²【カラー白黒検知設定】 ダイアログボックスの【検知モード】 が【カラーまたはグレー】の場合は設定不可

スキャンパネル

スキャンパネルは、複数の原稿を続けてスキャンするときに、原稿の給紙やスキャンの停止などの制御をするためのソフトウェアです。

スキャンパネルは、スキャナードライバーの設定ダイアログボックスで、[給紙オプション] の設定を [パネルで給紙] にしたときに操作します。この場合、スキャンの動作をしていないときに、スキャンパネルが表示され、スキャナーが待機状態になります。



次の原稿をセットしてから、スキャンパネルのスタートボタンをクリックすると、セットされた原稿のスキャンが開始します。

スキャンパネルの [ストップ] ボタンをクリックすると、スキャンを途中で停止できます。

Mac OS X でスキャンする

CaptureOnTouch Lite でスキャンする (Mac OS X)

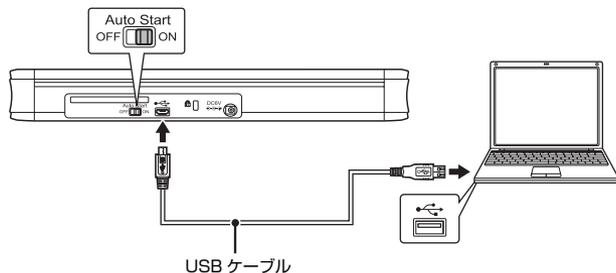
CaptureOnTouch Lite は、スキャナーに内蔵されている簡易スキャンングアプリケーションです。スキャナードライバーがインストールされていないコンピュータでも動作します。



画面の指示に従って、簡単な操作で原稿をスキャンし、任意のファイル形式でスキャン画像を保存できます。

スキャンの手順

- 1 スキャナーの背面の Auto Start スイッチを「ON」の位置にしてから、スキャナーをコンピュータに接続します。



必要に応じて、給電用 USB ケーブルまたは別売りの AC アダプターを接続してください。

- 2 給紙トレイを開いてスキャナーの電源を入れ、原稿をセットします。
詳細は「[原稿のセットのしかた](#)」(→ P.25) を参照してください。
給紙トレイを開くと、スキャナーの電源ボタンが点灯し、[ONTOUCHLITE] フォルダと [CaptureOnTouch Lite for Mac] フォルダがデスクトップに表示されます。

ヒント

CaptureOnTouch Lite を動作させるには、[CaptureOnTouch Lite for Mac] と [ONTOUCHLITE] の両方のフォルダがマウントされている必要があります。

- 3 [CaptureOnTouch Lite Launcher] アイコンをダブルクリックします。



CaptureOnTouch Lite が起動し、メイン画面が表示されます。

重要

CaptureOnTouch Lite のメイン画面が表示されるまでは、給紙トレイを閉じないでください。

4 スキャン方法を設定します。



- ① 継続スキャンを有効にするかどうかを指定します。スキャン画像をプレビューするときや、大量の原稿を分けてスキャンするときは、[ON] を選択して継続スキャンを有効にします。
- ② フルオートモードで原稿をスキャンするかどうかを指定します。任意のスキャン条件を指定するときは、[OFF] を選択してスキャナー設定をします。(→ P.61)

! 重要

コンピューターのメモリーを大量に使用する条件でスキャンを行った場合、メモリー不足によりスキャンができなくなる場合があります。スキャン中にメモリー不足などのメッセージが表示されたときは、アプリケーションを終了させ、スキャン条件を変更してからスキャンをやり直してください。

5 スタートボタンをクリックします。

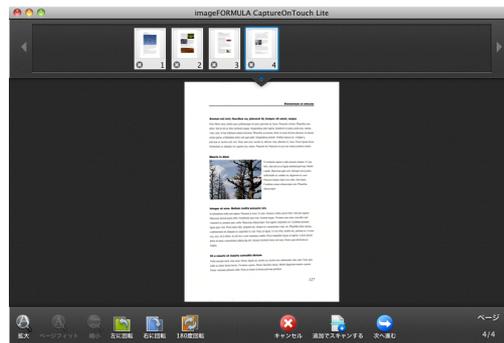


原稿のスキャンが開始します。

すべての原稿のスキャンが終わると、出力設定画面が表示されます。

💡 ヒント

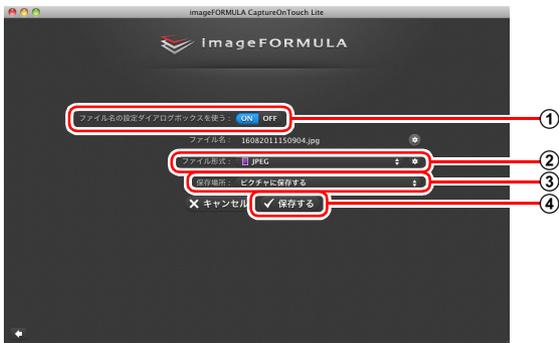
[継続スキャンを有効にする] を [ON] にしてスキャンしたときは、原稿のスキャンが終わったときに継続スキャン画面 (→ P.63) が表示されます。



次の原稿をセットしてから [追加でスキャンする] をクリックすると、原稿のスキャンが開始します。

原稿をすべてスキャンし終わったら、[次へ進む] をクリックしてください。

6 出力に関する設定をしてから、スキャン画像を出力します。



- ① スキャン画像のファイル名を指定します。[ファイル名の設定ダイアログボックスを使う]を [OFF] にしたときは、ファイル名の欄に直接ファイル名を入力します。[ファイル名の設定ダイアログボックスを使う]を [ON] にしてから  をクリックすると、ファイル名の付けかたを指定できます。



- ② ファイル形式を選択します。  をクリックして詳細設定ができます。
PDF



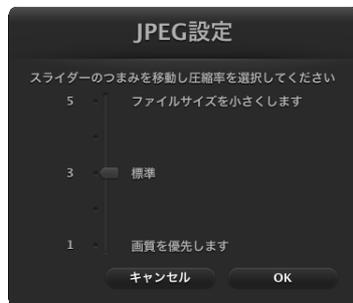
[マルチ PDF 設定] で、スキャン画像をマルチページ（全ページを 1 つのファイルにする）とシングルページ（指定したページ数ごとに 1 つのファイルにする）のどちらかで保存するかを指定します。また、[圧縮モード] で、PDF ファイルの圧縮モード（[標準] または [高圧縮]）を指定します。  をクリックし、表示されるダイアログボックスで圧縮率を指定できます。

TIFF



[マルチ TIFF 設定] で、スキャン画像をマルチページ（全ページを 1 つのファイルにする）とシングルページ（指定したページ数ごとに 1 つのファイルにする）のどちらかで保存するかを指定します。

JPEG



JPEG 画像の圧縮率を指定できます。

- ③ スキャン画像の保存場所を指定します。
- ④ スキャン画像を出力します。

出力が終わると、完了画面が表示されます。これでおまかせスキャンは完了です。



ヒント

- [トップ画面に戻る] をクリックすると、おまかせスキャンのメイン画面に戻ります。
- [保存先のフォルダーを開く] をクリックすると、保存したスキャン画像が保存されたフォルダーが開きます。

スキャナー設定

デフォルトでは、CaptureOnTouch はフルオートモードでのスキャンが有効になっているため、原稿に合ったスキャン条件でスキャンが行われます。スキャンのモードや原稿のサイズなどを指定したい場合に、スキャナー設定で任意のスキャン条件を設定できます。スキャナー設定をするときは、トップ画面の [フルオートモードでスキャンする] の [OFF] をクリックしてから [スキャナーの設定] をクリックします。



基本項目の設定

スキャナー設定には、[スキャナーの設定] で設定する基本項目と、詳細設定ダイアログボックスで設定する設定項目があり、基本項目以外の設定は詳細設定ダイアログボックスの設定が適用されます。その他の設定については、ドライバーの設定ダイアログボックスの設定が適用されます。

カラーモード

原稿をスキャンするモードを、次の中から選択します。

自動で検知する	原稿の内容からカラーモードを自動判別してスキャンします。
24ビットカラー	原稿をカラーでスキャンします。
グレースケール	原稿をグレースケールでスキャンします。
白黒	原稿を白黒二値でスキャンします。

用紙サイズ

原稿の用紙サイズを指定します。

[原稿のサイズに合わせる] を指定したときは、スキャンした原稿の用紙サイズを検知し、検知したサイズで画像を保存します。

解像度

スキャンの解像度を指定します。

[自動で検知する] を指定したときは、スキャンした原稿の内容から自動的に解像度が検出されます。

読み取り面

原稿を片面のみスキャンするか、両面をスキャンするかを指定します。
[白紙をスキップする]を指定したときは、原稿中に白紙があった場合にそのページを飛ばしてスキャンします。

画像の傾きを自動で補正する

原稿が斜めにスキャンされたときに、スキャンした画像の傾きを検知してまっすぐに補正します。

文字の向きに合わせて画像を回転する

読み取った画像の中にある文字の向きを認識し、文字の向きが正常になるように画像の向きを回転します。

詳細設定ダイアログボックスを使う

[ON]を選択してから  をクリックすると、基本項目以外の詳細なスキャナー設定ができます。このあとの「詳細設定」を参照してください。

ヒント

ドライバーの設定ダイアログボックスには、[スキャナーの設定]の基本項目と同じ設定項目があり、それぞれの設定内容は独立して保持されます。スキャン時にどちらの設定が適用されるかは、[詳細設定ダイアログボックスを使う]チェックボックスの設定によって次のように異なります。

[詳細設定ダイアログボックスを使う]の設定	基本項目	基本項目以外
OFF	[スキャナーの設定]の設定	スキャナードライバーの詳細設定ダイアログボックスの設定
ON	スキャナードライバーの詳細設定ダイアログボックスの設定	

詳細設定

詳細設定ダイアログボックスでは、詳細なスキャナー設定ができます。



ヒント

設定項目は、スキャナードライバーの設定画面の詳細モードと同じです。
(→ P.78)

スキャナーの情報の表示とメンテナンス

CaptureOnTouch Lite から開いた詳細設定ダイアログボックスで、スキャナーの情報を表示したり、スキャナーのメンテナンスをすることができます。

- 詳細設定ダイアログボックスの ⓘ をクリックすると、[スキャナーの情報] 画面が表示されます。スキャナーのドライバーおよびファームウェアのバージョンや総スキャン枚数、給紙ローラーおよび分離パッドのカウント値を確認できます。

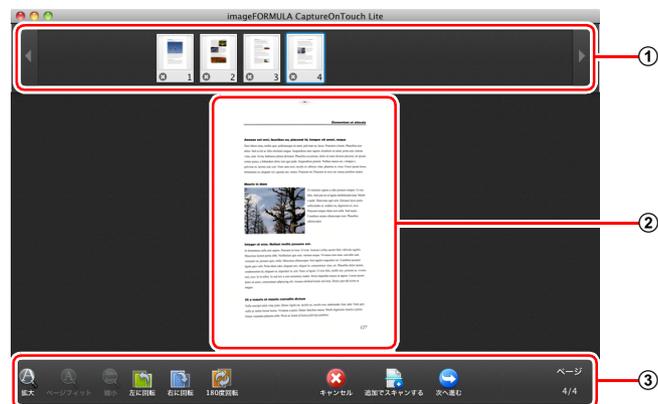


- [スキャナーの情報] 画面の [メンテナンス] をクリックすると、[メンテナンス] 画面が表示されます。給紙ローラーおよび分離パッドのカウント値をリセットしたり、長尺モードを切り替えることができます。



継続スキャン画面の操作

スタート画面で [継続スキャンを有効にする] を [ON] にしてスキャンした場合は、スキャナーにセットされた原稿がすべて給紙されたときに継続スキャン画面が表示されます。スキャン画像を確認したり、続きの操作を指定できます。



① サムネイル表示領域

スキャンされた原稿のサムネイル画像が表示されます。次の操作ができます。

サムネイル画像をクリックすると、そのスキャン画像のプレビューがプレビュー領域に表示されます。

サムネイル画像をドラッグすると、ページの入れ替えができます。

サムネイル画像上の ✖ をクリックして、そのページのスキャン画像を削除できます。

② プレビュー領域

スキャンされた原稿のプレビュー画像が表示されます。

③ プレビュー操作部

プレビュー画像を下記のボタンで操作したり、スキャン操作をキャンセルまたは継続します。

ツール (名称)	説明
 (拡大)	プレビュー画像を拡大します。
 (ページフィット)	プレビュー画像を、現在のウィンドウの大きさに合わせて拡大または縮小します。
 (縮小)	プレビュー画像を縮小します。
 (左に回転)	画像を左に 90 度回転します。
 (右に回転)	画像を右に 90 度回転します。
 (180度回転)	画像を 180 度回転します。
 (キャンセル)	画像のスキャン操作をキャンセルし、トップ画面に戻ります。
 (追加でスキャンする)	続きの原稿のスキャンを開始します。
 (次へ進む)	スキャン操作の次のステップに進みます。
 (ページ番号 / 総ページ数)	現在のページと総ページ数が表示されます。

メニューバーのアイコンについて

CaptureOnTouch Lite は、起動後にタスクバーに常駐します。このとき、メニューに  アイコンが表示されます。



アイコンをクリックし、表示されるメニューで次の操作ができます。

【終了】

CaptureOnTouch Lite を終了します。常駐も解除され、メニューバーの  アイコンが消えます。

【バージョン情報】

CaptureOnTouch Lite のバージョン情報を確認できます。

【CaptureOnTouch を起動する】

CaptureOnTouch Lite のウィンドウを閉じた後で、このメニューをクリックして再度開くことができます。

環境設定

[環境設定] ダイアログボックスを開いて、CaptureOnTouch Lite の動作に関する設定ができます。

- 1 CaptureOnTouch Lite を起動します。
CaptureOnTouch Lite を起動していないときは、[CaptureOnTouch Lite for Mac] フォルダの [CaptureOnTouch Lite Launcher] をダブルクリックします。
CaptureOnTouch Lite の起動後にメインウィンドウを閉じているときは、メニューバーから起動してください。

- 2 [CaptureOnTouch Lite] メニューの [環境設定] をクリックします。
[環境設定] ダイアログボックスが開きます。



この画面では次の設定ができます。

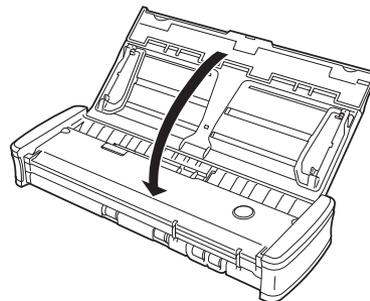
[テーマ]

[テーマの選択] で CaptureOnTouch Lite のメイン画面の外観を変更できます。

CaptureOnTouch Lite を終了する

CaptureOnTouch Lite を終了するときは、次の手順で操作します。

- 1 タスクバーの  アイコンをクリックし、表示されるメニューの [終了] をクリックします。
CaptureOnTouch Lite が閉じます。
- 2 [ONTOUCHLITE] フォルダと [CaptureOnTouch Lite for Mac] フォルダを [ごみ箱] にドラッグ & ドロップします。
- 3 給紙トレイを閉じます。



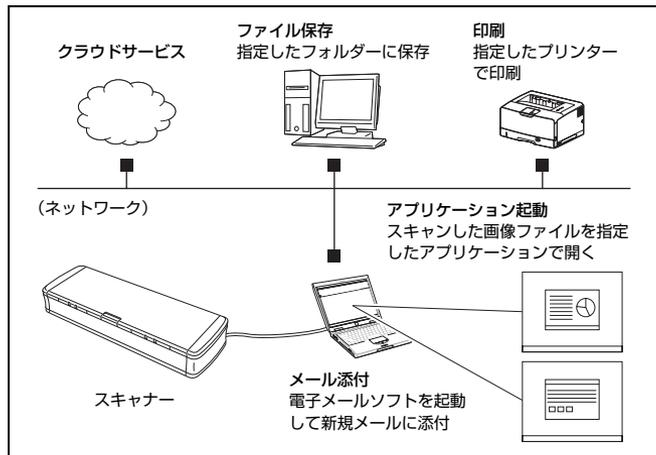
スキャナーの電源がオフになります。

- 4 USB ケーブルをスキャナーとコンピューターから抜きます。

CaptureOnTouch でスキャンする (Mac OS X)

CaptureOnTouch とは

CaptureOnTouch は、画面の指示に従って簡単な操作で原稿をスキャンできるスキャニングアプリケーションです。



CaptureOnTouch には、目的や用途に応じた使い分けが可能な複数のスキャン方法が用意されています。

おまかせスキャン

原稿をスキャンしてから出力方法を選択します。画面の指示に従って手軽に原稿をスキャンできます。

ジョブ選択スキャン

スキャン条件から出力方法までをジョブに登録し、目的に合ったジョブを選択することで原稿をスキャンします。決まった手順でスキャンを繰り返す場合に便利です。

スタートボタンでスキャン

スキャナーのスタートボタンにはあらかじめ「おまかせスキャン」が割り当てられており、原稿をセットしてスタートボタンを押すとスキャンが開始されます。任意のジョブをスタートボタンに割り当てることもできます。

画像ファイルの保存形式について

出力方法を「印刷する」にした場合を除き、スキャン画像のファイル形式は下記のいずれかを指定できます。

- PDF 形式
- TIFF 形式
- JPEG 形式

CaptureOnTouch の起動と終了

デフォルトでは、コンピューターを起動したときに CaptureOnTouch がシステムに常駐します。



メニューバーの  (CaptureOnTouch アイコン) をクリックし、表示されるメニューの [CaptureOnTouch を起動する] をクリックすると、CaptureOnTouch が起動し、メインウィンドウが表示されます。

ヒント

- Evernote がインストールされているコンピューターで CaptureOnTouch を初めて起動したときは、スキャン画像を Evernote に送るためのジョブの登録を確認するメッセージが表示されます。[OK] ボタンをクリックすると、Evernote 用のジョブが 2 つ CaptureOnTouch に登録されます。
- [環境設定] ダイアログボックスの [基本設定] タブで [CaptureOnTouch を常駐する] をオンにしていると、スキャナーのスタートボタンを押してからスキャンが開始するまでの時間が短くなります。詳細は「[環境設定](#)」(→ P.76) を参照してください。

終了するには

CaptureOnTouch のメインウィンドウを閉じるには、ウィンドウ上部の  をクリックします。この場合、メインウィンドウは閉じますが、システムへの常駐は保持されます。

CaptureOnTouch の常駐を終了するには、メニューバーの  (CaptureOnTouch アイコン) をクリックし、メニューの [終了] をクリックします。



再起動するには

システムへの常駐の終了後に CaptureOnTouch を使用するときには、次のいずれかの手順で再起動してください。CaptureOnTouch が起動してシステムに再度常駐します。

- Finder で [アプリケーション] - [Canon DR-P215] フォルダを開き、[CaptureOnTouch DR-P215] をダブルクリックする
- スキャナーのスタートボタンを押す (この場合は CaptureOnTouch のメイン画面が開き、スタートボタンに割り当てられたスキャン方法でスキャンが開始します)

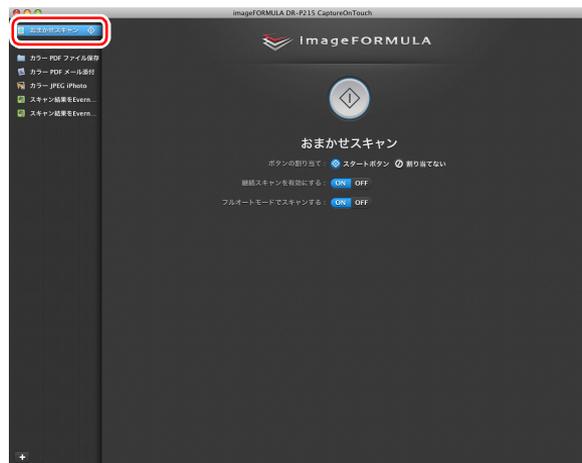
おまかせスキャン

操作の流れ



1 原稿をスキャナーにセットします。

2 [おまかせスキャン] をクリックします。



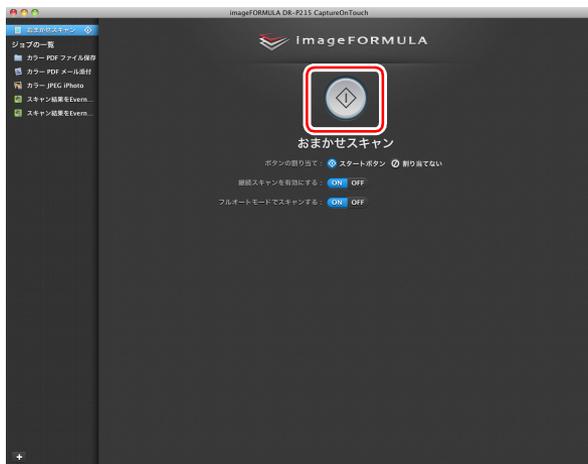
「おまかせスキャン」のトップ画面が表示されます。

3 トップ画面でスキャン方法を設定します。



- ① 継続スキャンを有効にするかどうかを指定します。スキャン画像をプレビューするときや、大量の原稿を分けてスキャンするときは、[ON]を選択して継続スキャンを有効にします。
- ② フルオートモードで原稿をスキャンするかどうかを指定します。任意のスキャン条件を指定するときは、[OFF]を選択してスキャナー設定をします。(→ P.72)

4 スタートボタンをクリックします。



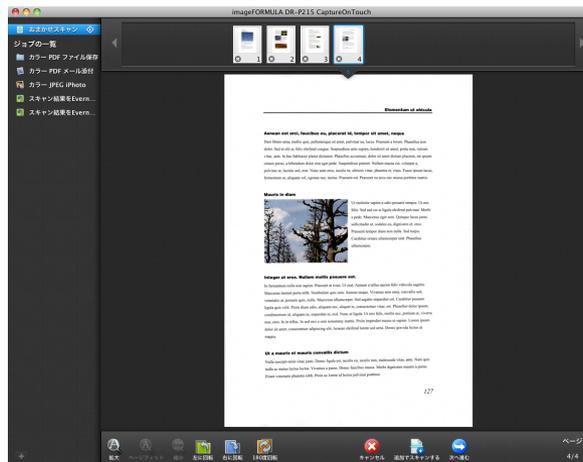
原稿がスキャンされます。スキャン中は、スキャンが終わったページ数と、スキャナー設定の内容が表示されます。スキャンが終わると、出力設定画面が表示されます。

重要

コンピューターのメモリーを大量に消費する条件でスキャンを行った場合、メモリー不足によりスキャンができなくなる場合があります。スキャン中にメモリー不足などのメッセージが表示されたときは、アプリケーションを終了させ、スキャン条件を変更してからスキャンをやり直してください。

ヒント

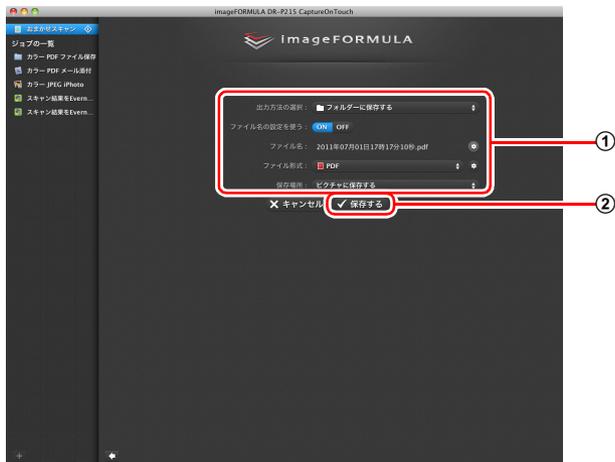
[継続スキャンを有効にする] を [ON] にしてスキャンしたときは、原稿のスキャンが終わったときに継続スキャン画面 (→ P.74) が表示されます。



次の原稿をセットしてから [追加でスキャンする] をクリックすると、原稿のスキャンが開始します。

原稿をすべてスキャンし終わったら、[次へ進む] をクリックしてください。

5 出力に関する設定をしてから、スキャン画像を出力します。



- ① 出力に関する設定をします。(→ P.75)
- ② このボタンをクリックしてスキャン画像を出力します。ボタン名は出力方法ごとに異なります。たとえば、出力方法が「フォルダーに保存する」のときは「保存する」になります。

出力が終わると、完了画面が表示されます。これでおまかせスキャンは完了です。

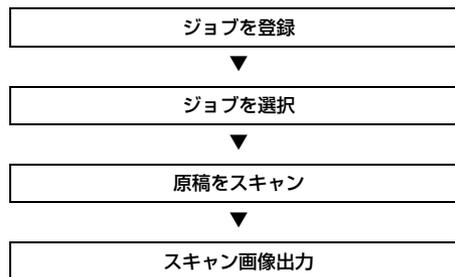


ヒント

- ・ [トップ画面に戻る] をクリックすると、おまかせスキャンのメイン画面に戻ります。
- ・ [メールに添付する] および [印刷する] 以外の出力方法を指定したときは、[保存先のフォルダーを開く] をクリックすることで、画像ファイルが保存されたフォルダーを開くことができます。

ジョブ選択スキャン

操作の流れ

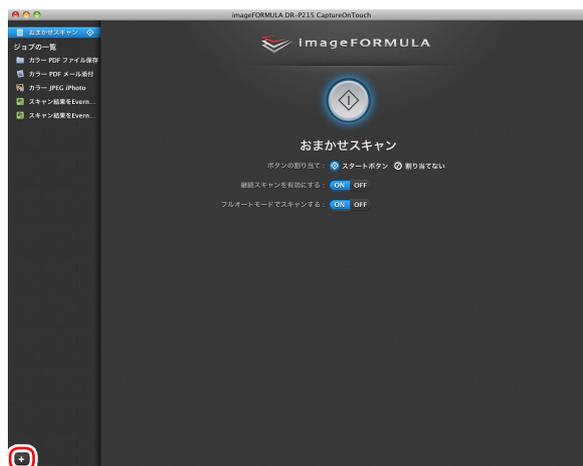


ジョブの登録と編集

CaptureOnTouchには、ジョブ選択スキャンで使用するジョブを10個まで登録できます。

1

- ➕ ボタンをクリックします。



2 ジョブの名前を入力し、Enter キーを押します。



3 ジョブの出力方法を指定します。(→ P.75)



ヒント

[ボタンの割り当て] で [スタートボタン] を選択すると、ジョブをスタートボタンに割り当てることができます。(→ P.72)

4 [出力の設定] をクリックし、出力設定をします。

出力設定の項目は、指定した出力方法によって異なります。設定項目の詳細は CaptureOnTouch のヘルプを参照してください。



ジョブを選択してスキャンする

1 原稿をスキャナーにセットします。(→ P.25)

ジョブ選択スキャンのトップ画面が表示されます。

2 ジョブをクリックします。



💡 ヒント

- [スキャン後出力確認をする] を [ON] にすると、スキャン後に出力設定の内容を確認できます。
- [継続スキャンを有効にする] を [ON] にすると、原稿がなくなったときにスキャンを続けることができます。

3 スタートボタンをクリックします。



原稿がスキャンされます。スキャン中は、スキャンが終わったページ数と、スキャナー設定の内容が表示されます。

原稿のすべてのページがスキャンされると、登録されているジョブの設定内容に従って出力され、完了画面が表示されます。



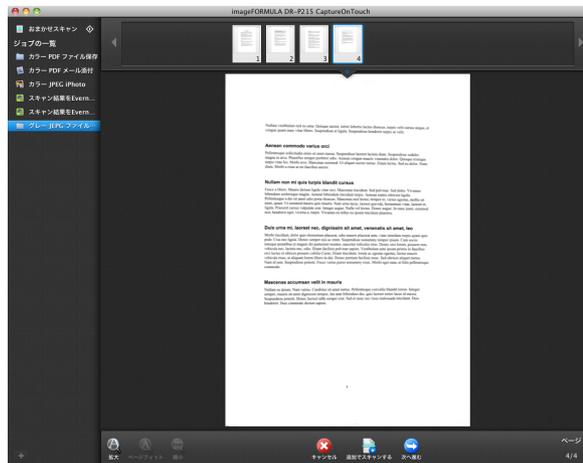
❗ 重要

コンピューターのメモリーを大量に消費する条件でスキャンを行った場合、メモリー不足によりスキャンができなくなる場合があります。スキャン中にメモリー不足などのメッセージが表示されたときは、アプリケーションを終了させ、スキャン条件を変更してからスキャンをやり直してください。

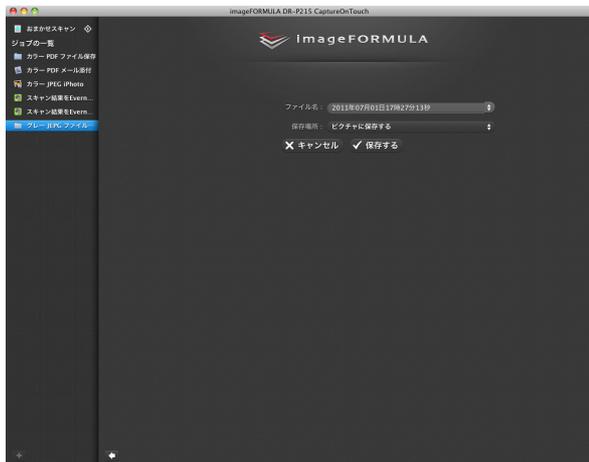
💡 ヒント

- [トップ画面に戻る] をクリックすると、ジョブ選択スキャンのトップ画面に戻ります。
- [メールに添付する] および [印刷する] 以外の出力方法を指定したときは、[保存先のフォルダーを開く] をクリックすることで、画像ファイルが保存されたフォルダーを開くことができます。

【継続スキャンを有効にする】を [ON] にしてスキャンした場合原稿がなくなったときに継続スキャン画面 (→ P.74) が表示されます。他の原稿を続けてスキャンするときは、原稿をスキャナーにセットしてから [追加でスキャンする] をクリックします。原稿をすべてスキャンし終わったときは、[次へ進む] をクリックしてください。

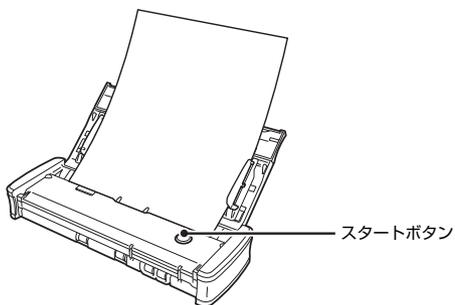


【スキャン後出力確認をする】を [ON] にした場合スキャンした画像を出力する前に、出力確認画面が表示されます。必要に応じて出力方法の設定を変更してから出力ボタンをクリックします。出力ボタンの名前は選択した出力方法ごとに異なります。



スタートボタンによるスキャン

デフォルトでは、スタートボタンにあらかじめ「おまかせスキャン」が割り当てられています。



原稿をセットしてスタートボタンを押すと、CaptureOnTouch が起動し、スキャンが開始されます。

ヒント

スタートボタンに任意のジョブを割り当てた場合、ジョブの設定内容に従って原稿がスキャンされ、スキャン画像が出力されます。出力処理の終了後 5 秒経過すると、自動的に CaptureOnTouch が終了します。

スキャナー設定

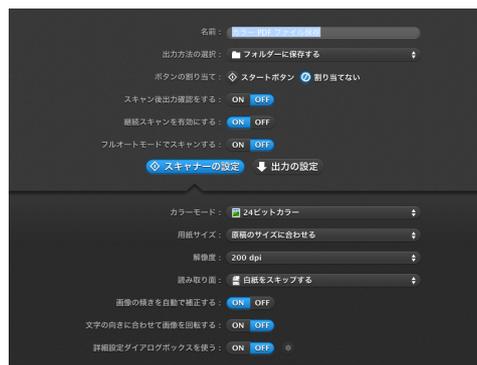
デフォルトでは、CaptureOnTouch はフルオートモードでのスキャンが有効になっているため、原稿に合ったスキャン条件でスキャンが行われます。スキャンのモードや原稿のサイズなどを指定したい場合に、スキャナー設定で任意のスキャン条件を設定できます。スキャナー設定の項目は、「おまかせスキャン」と「ジョブ選択スキャン」とで共通です。

「おまかせスキャン」の場合



「おまかせスキャン」ではスキャン開始前にスキャナー設定をします。

「ジョブ選択スキャン」の場合



「ジョブ選択スキャン」では、ジョブごとにスキャナー設定をします。

基本項目の設定

スキャナー設定には、[スキャナーの設定] で設定する基本項目と、詳細設定ダイアログボックスで設定する設定項目があり、基本項目以外の設定は詳細設定ダイアログボックスの設定が適用されます。

その他の設定については、ドライバーの設定ダイアログボックスの設定が適用されます。

カラーモード

原稿をスキャンするモードを、次の中から選択します。

自動で検知する 原稿の内容からカラーモードを自動判別してスキャンします。

24ビットカラー グレースケール 原稿をカラーでスキャンします。
原稿をグレースケールでスキャンします。

白黒 原稿を白黒二値でスキャンします。

用紙サイズ

原稿の用紙サイズを指定します。

[原稿のサイズに合わせる] を指定したときは、スキャンした原稿の用紙サイズを検知し、検知したサイズで画像を保存します。

解像度

スキャンの解像度を指定します。

[自動で検知する] を指定したときは、スキャンした原稿の内容から自動的に解像度が検出されます。

読み取り面

原稿を片面のみスキャンするか、両面をスキャンするかを指定します。

[白紙をスキップする] を指定したときは、原稿中に白紙があった場合にそのページを飛ばしてスキャンします。

画像の傾きを自動で補正する

原稿が斜めにスキャンされたときに、スキャンした画像の傾きを検知してまっすぐに補正します。

文字の向きに合わせて画像を回転する

読み取った画像の中にある文字の向きを認識し、文字の向きが正常になるように画像の向きを回転します。

詳細設定ダイアログボックスを使う

基本項目以外の詳細なスキャナー設定は、詳細設定ダイアログボックスで行います。詳細設定ダイアログボックスを開くには、[ON] を選択してから、 ボタンをクリックします。



設定項目の詳細は、ドライバーの設定ダイアログボックスのヘルプを参照してください。

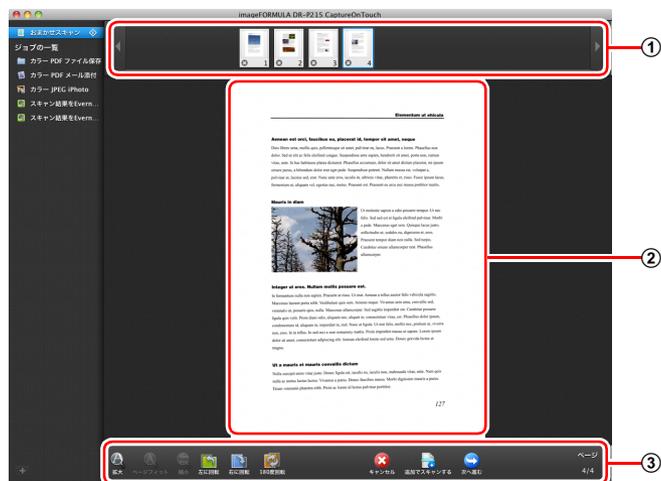
ヒント

ドライバーの設定ダイアログボックスには、[スキャナーの設定] の基本項目と同じ設定項目があり、それぞれの設定内容は独立して保持されます。スキャン時にどちらの設定が適用されるかは、[詳細設定ダイアログボックスを使う] チェックボックスの設定によって次のように異なります。

[詳細設定ダイアログボックスを使う] の設定	基本項目	基本項目以外
OFF	[スキャナーの設定] の設定	スキャナードライバーの詳細設定ダイアログボックスの設定
ON	スキャナードライバーの詳細設定ダイアログボックスの設定	

継続スキャン画面の操作

おまかせスキャンとジョブ選択スキャンのどちらの場合も、スタート画面で「継続スキャンを有効にする」を「ON」にしてスキャンした場合は、スキャナーにセットされた原稿がすべて給紙されたときに継続スキャン画面が表示されます。スキャン画像を確認したり、続きの操作を指定できます。



① サムネイル表示領域

スキャンされた原稿のサムネイル画像が表示されます。次の操作ができます。

サムネイル画像をクリックすると、そのスキャン画像のプレビューがプレビュー領域に表示されます。

サムネイル画像をドラッグすると、ページの入れ替えができます（おまかせスキャンのみ）。

サムネイル画像上の  をクリックして、そのページのスキャン画像を削除できます（おまかせスキャンのみ）。

② プレビュー領域

スキャンされた原稿のプレビュー画像が表示されます。

③ プレビュー操作部

プレビュー画像を下記のボタンで操作したり、スキャン操作をキャンセルまたは継続します。

ツール (名称)	説明
 (拡大)	プレビュー画像を拡大します。
 (ページフィット)	プレビュー画像を、現在のウィンドウの大きさに合わせて拡大または縮小します。
 (縮小)	プレビュー画像を縮小します。
 (左に回転)	画像を左に 90 度回転します。 (おまかせスキャンのみ)
 (右に回転)	画像を右に 90 度回転します。 (おまかせスキャンのみ)
 (180 度回転)	画像を 180 度回転します。 (おまかせスキャンのみ)
 (キャンセル)	画像のスキャン操作をキャンセルし、トップ画面に戻ります。
 (追加でスキャンする)	続きの原稿のスキャンを開始します。
 (次へ進む)	スキャン操作の次のステップに進みます。
ページ 4/4	現在のページと総ページ数が表示されます。

出力方法の設定

CaptureOnTouchには、スキャン画像を処理するためのさまざまな出力方法が用意されています。

出力方法の指定は、「おまかせスキャン」と「ジョブ選択スキャン」とで共通です。

「おまかせスキャン」の場合

「おまかせスキャン」では、スキャン後に表示される出力方法選択画面で出力方法を選択してから、それぞれの出力方法を指定します。

「ジョブ選択スキャン」の場合

「ジョブ選択スキャン」では、ジョブごとに出力方法を指定します。

出力方法によって、出力に関する設定項目が異なります。

ファイル保存



スキャンした画像を、指定したフォルダーに保存します。この出力方法を指定したときは、保存する画像ファイルの設定をします。

メールに添付



スキャンした画像を、電子メールソフトウェアの新規作成メールに添付します。この出力方法を指定したときは、メールに添付する画像ファイルの設定をします。

この機能を使用するには、使用する電子メールソフトウェアを、オペレーティングシステムの既定のプログラムとして指定しておく必要があります。代表的な対応ソフトウェアを下記に挙げます。

- Mail (OS 標準のアプリケーション)
- Microsoft Entourage 2004 for Mac

印刷



スキャンした画像を、指定したプリンターで印刷します。この出力方法を指定したときは、印刷するプリンターを指定します。

他のアプリへ送る



スキャンした画像ファイルを指定したフォルダーに保存し、指定したアプリケーションで開きます。この出力方法を指定したときは、画像ファイルを開くことができるアプリケーションの実行ファイルを指定します。また、保存する画像ファイルの設定もします。

Google ドキュメントに保存する



スキャンした画像を Google ドキュメントに保存します。この出力方法を選択したときは、保存する画像ファイルの設定をします。

この出力方法を使用するには、Google アカウントの取得が必要です。[詳細設定]のをクリックすると、アカウント情報の入力と送信先の設定ができます。

環境設定

CaptureOnTouch の環境設定を行うには、[環境設定] ダイアログボックスを開きます。

CaptureOnTouch のメイン画面を表示させた状態で、[CaptureOnTouch DR-P215] メニューの [環境設定] をクリックします。

以降では、[環境設定] ダイアログボックスに表示される各タブの設定項目について説明します。

【基本設定】タブ

[基本設定] タブでは以下の設定を行います。



起動方法の設定

デフォルトでは、コンピューターの起動時に CaptureOnTouch がシステムに常駐します。[CaptureOnTouch を常駐する] チェックボックスをオフにすると、システムへの常駐を無効にできます。

スキャナー接続時の表示設定

[スキャナー接続時に CaptureOnTouch を起動する] チェックボックスをオンにすると、スキャナーをコンピューターに接続したときに自動的に CaptureOnTouch のメイン画面が開きます。この設定は、CaptureOnTouch が起動している（またはシステムに常駐している）場合のみ有効です。

バックアップ / リストア

[バックアップ] ボタンと [リストア] ボタンで、CaptureOnTouch の設定ファイル（設定内容や登録ジョブなど）をバックアップしたり、バックアップしたデータから設定を復元できます。

【バックアップ】ボタン

CaptureOnTouch の設定をバックアップファイル (*.plist) にバックアップします。CaptureOnTouch を使用する前にバックアップを行うことにより、CaptureOnTouch の初期状態を保持できます。

【リストア】ボタン

バックアップしたファイルから設定を復元します。複数台のコンピューターを使用している場合に、1 台のコンピューターで行った環境設定をバックアップし、他のコンピューターにリストアすることで同じ設定にできます。

【メール設定】タブ

[メール設定] タブでは、メールに添付する画像ファイルの上限を設定します。



添付ファイルの上限

[上記のサイズより大きい場合は確認メッセージを表示する] チェックボックスをオンにすると、添付ファイルが上限サイズを超えたときに確認メッセージが表示されます。

- 「おまかせスキャン」の場合は、スキャンした画像のファイルサイズがここで設定したファイルサイズより大きかった場合に確認メッセージが表示されません。
- 「ジョブ選択スキャン」の場合は、スキャン中に設定したファイルサイズを超えたときに確認メッセージが表示されます。

【テーマ】 タブ

【テーマ】 タブでは CaptureOnTouch のメイン画面の外観を指定できます。



テーマの指定

【テーマの選択】 で、CaptureOnTouch のメイン画面の外観の種類を指定します。

【プラグイン】 タブ

【プラグイン】 タブでは、CaptureOnTouch に追加されているプラグインを確認できます。



プラグインの削除

【削除】 ボタンをクリックすると、一覧で選択したプラグインを削除できます。

スキャナードライバーの設定 (Mac OS X)

TWAIN 互換アプリケーション (CaptureOnTouch など) で原稿をスキャンするときは、スキャナードライバーを開いてスキャン条件などを設定します。ここでは、スキャナードライバーの開きかたと機能について説明します。

スキャナードライバーの構成

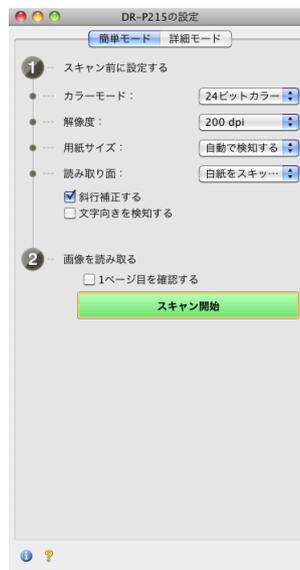
CaptureOnTouch からスキャナードライバーを開いたときは、次のようなスキャナードライバーの設定画面が表示されます。



ヒント

TWAIN 互換アプリケーションからスキャナードライバーの設定画面を呼び出した場合は、次のように簡単モードと詳細モードを切り替えて設定する設定画面になります。

簡単モード



詳細モード



基本的なスキャン条件の設定

読み取りの設定を行う際に最低必要となる基本設定の項目の概略について説明します。

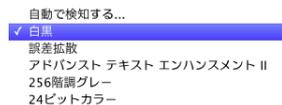
読み取りの基本条件の確認

原稿をスキャンするときは、スキャナードライバーの設定画面で「カラーモード」、「解像度」、「用紙サイズ」、「読み取り面」の基本条件を必ず確認してください。



カラーモード

スキャンするモードを選択します。



- [アドバンスドテキストエンハンスメントII] は、文字の周りの地色や背景を除去または処理し、文字を強調させて読みやすくします。

- [自動で検知する] は原稿の内容からカラー、グレーまたは白黒のいずれかを検知します。この項目を選択したときは、検知方法に関する詳細な設定ができます。詳細はヘルプを参照してください。

解像度

スキャンする解像度を選択します。



- 解像度を高くすると画像がきれいになりますが、ファイルサイズが大きくなり、スキャン速度も遅くなります。
- [自動で検知する] を選択すると、原稿に印刷されている内容から自動的に解像度が検知されます。

用紙サイズ

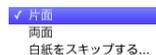
スキャンする原稿に合わせて用紙サイズを選択します。



[自動で検知する] を選択すると、原稿のエッジを検知して原稿のサイズに合わせた画像が保存されます。

読み取り面

原稿をスキャンする面を選択します。



読み取り面を [白紙をスキップする] にすると、白紙の面の画像を削除して保存されます。

用紙サイズに登録されていない原稿の読み取り

用紙サイズに登録されていない原稿は、以下の設定を行うことにより読み取ることができるようになります。

非定型サイズの原稿をスキャンするときは、[用紙サイズ] で [追加 / 削除] を選択して [用紙サイズの追加 / 削除] ダイアログボックスを表示させます。[用紙サイズ] に登録されていない用紙サイズを、名前を付けて登録できます。

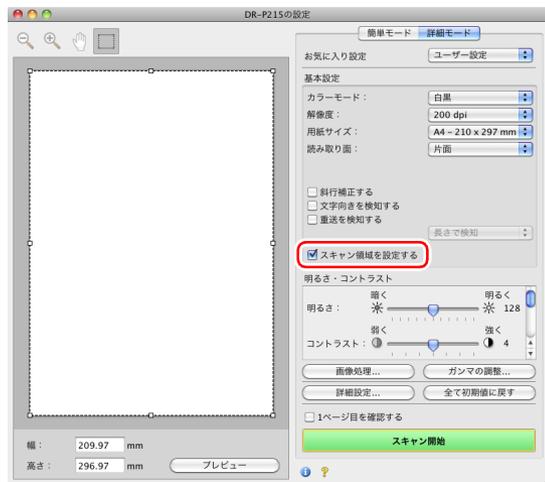


スキャン領域の指定

原稿の一部の領域を指定するときは以下の設定を行います。

領域指定

原稿の一部の領域を指定してスキャンするときは、[スキャン領域を設定する] をオンにして、領域を指定します。



また、[1 ページ目を確認する] をオンにしてスキャンすると、原稿が 1 枚だけスキャンされ、そのスキャン画像がプレビューウィンドウに表示されます。

目的に合わせたスキャナー設定

スキャンする目的に合わせてスキャン条件を設定します。

両面原稿の間にある白紙ページの画像を削除したい

読み取り面の設定を [白紙をスキップする] にしてスキャンすると、原稿内にある白紙のページの画像が削除されます。



白紙スキップを選択すると、白紙と判断するレベルが調整できます。



色の付いた罫線や文字をスキャンしないようにしたい

[画像処理] をクリックし、表示されるダイアログボックスでドロップアウトさせる色 (赤、青、緑) を指定すると、指定した色がスキャンされません。



赤を強調させたい

[画像処理] をクリックし、表示されるダイアログボックスの [カラードロップアウト] で [赤強調] を指定すると、原稿上の赤い色の部分が強調されます。



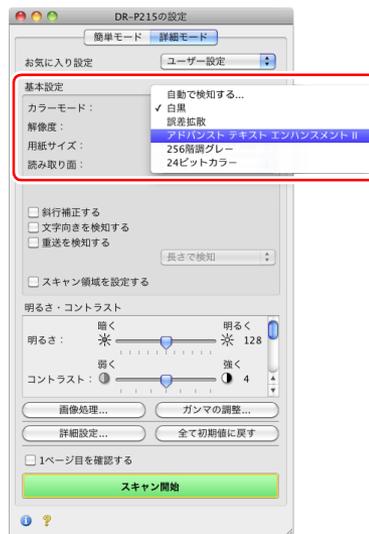
画像の輪郭をはっきりさせたい

[画像処理] をクリックし、表示されるダイアログボックスでエッジ強調の設定を調整します。



背景などで文字が読みづらい原稿をスキャンしたときに文字をはっきりさせたい

カラーモードの設定で [アドバンスドテキストエンハンスメント II] を選択します。文字の背景を除去または処理して、文字を強調して読みやすくします。



文字の向きが異なる原稿が混在しているときに画像の向きを文字に合わせてそろえたい

[文字向きを検知する] をチェックします。原稿内の文字の向きを検知して文字の向きが正しくなるように、スキャン画像が90度単位で回転されます。

ヒント

[文字向きを検知する] をチェックしているときは、[画像回転] は使用できません。



原稿が複数枚重なって給紙されるのを検知したい
[重送を検知する] チェックボックスをオンにします。



スキャン条件を自動的に設定にしてスキャンしたい

【お気に入り設定】の【フルオートモード】を選択すると、原稿に合わせたスキャン条件でスキャンされます。



【追加】ボタンをクリックすると、現在の設定内容が【お気に入り設定一覧】に登録されます。【削除】ボタンで一覧から削除できます。

💡 ヒント

あらかじめ登録されている【フルオートモード】は、【お気に入り設定一覧】から削除できません。

横向きにセットした原稿の画像が正しくなるように回転させたい

【画像処理】をクリックし、表示されるダイアログボックスで【画像回転】で回転させる角度を指定します。



スキナードライバーの設定を保存したい

設定が終わったときに、【お気に入り設定】の【追加 / 削除】を選択して設定内容を保存できます。



カラーモードの設定による機能制限

スキャナードライバーの設定画面の【カラーモード】の設定に応じて、次のようにドライバーの各設定項目の一部が無効になります。

簡単モード

設定値	1 ページ目を確認する
自動で検知する	×
白黒	○
誤差拡散	○
アドバンステキストエンハンスメントⅡ	○
256 階調グレー	○
24 ビットカラー	○

(○：設定可 ×：設定不可)

詳細モード

設定値	裏面の明るさを使用する	裏面のコントラストを使用する
自動で検知する	○	○
白黒	○	○
誤差拡散	○	○
アドバンステキストエンハンスメントⅡ	×	×
256 階調グレー	○	○
24 ビットカラー	○	○

(○：設定可 ×：設定不可)

【画像処理】ダイアログボックス

設定値	エッジ強調	背景スムージング	裏写り／地色除去	カラードロップアウト	文字／線の太さ補正
自動で検知する	○	○*	×	×	×
白黒	○	×	○	○	○
誤差拡散	○	×	○	○	○
アドバンステキストエンハンスメントⅡ	×	×	×	○	○
256 階調グレー	○	○	○	○	×
24 ビットカラー	○	○	○	×	×

(○：設定可 ×：設定不可)

*【自動で検知する】を選択したときに表示される設定画面の【検知モード】が【カラーまたはグレー】の場合のみ

スキャンパネル

スキャンパネルは、複数の原稿を続けてスキャンするときに、原稿の給紙やスキャンの停止などの制御をするためのソフトウェアです。

スキャナードライバーの設定画面で [詳細設定] をクリックし、表示されるダイアログボックスの [給紙オプション] を [パネルで給紙] または [自動給紙] にした場合に、スキャンを開始するとスキャンパネルが表示されます。



1 つめの原稿のスキャンが終わるとスキャンパネルが表示され、スキャナーが待機状態になります。次の原稿をセットしてから [続けてスキャン] をクリックすると、セットされた原稿のスキャンが開始します。[完了] をクリックすると、スキャンを途中で停止できます。

メンテナンス

日常のお手入れ

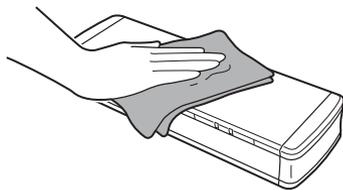
読み取り品質を維持するために、以下のような日常の清掃を行ってください。

⚠ 注意

- 本体および内部の清掃を行うときは、安全のため、必ず給紙トレイを閉じて電源を切り、USB ケーブルをコンセントから抜いてから清掃を行ってください。
- 清掃の際、スプレー容器は使用しないでください。光源などの精密機器が濡れて破損する恐れがあります。
- シンナーやアルコールなどの有機溶剤は決して使用しないでください。外装が変形、変色したり、溶解する恐れがあります。また、火災や感電の原因になることもあります。

本体の清掃

本体表面は、水を染み込ませ固くしぼった布で汚れを落としたあと、きれいな乾いた布で拭きます。



⚠ 注意

きめの粗い布や汚れた布は傷の原因になるため使用しないでください。

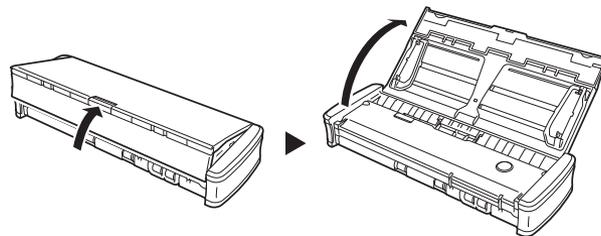
本体内部の清掃

本体内部にほこりや紙粉がたまると、スキャンした画像にすじが入る原因になります。本体内部にたまったほこりや紙粉は、ブローアなどを使って定期的に取り除いてください。また、大量の原稿をスキャンしたときなどは、スキャナーの電源を切った後に紙粉の除去を行ってください。

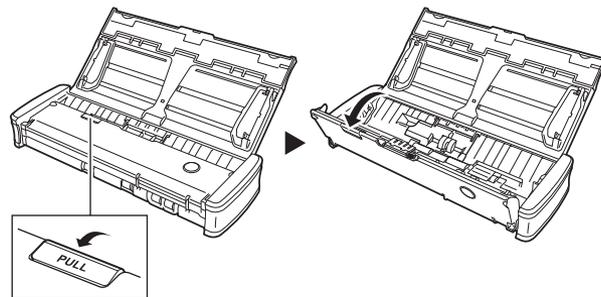
読み取りガラスとローラーの清掃

スキャンした画像にすじが入ったり、スキャンした原稿が汚れていたりする場合には、本体内部にある読み取りガラスやローラーが汚れている可能性があります。定期的に清掃してください。

1 給紙トレイを開きます。



2 フィーダーカバーを開きます。



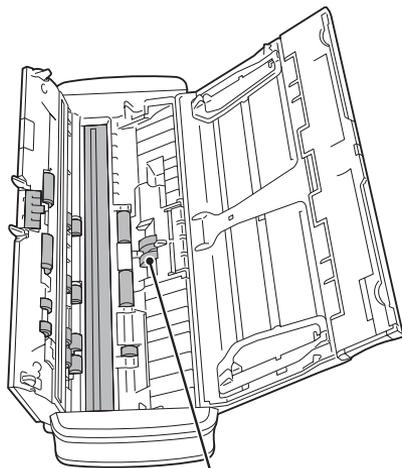
3 ブローアなどを使って、本体内部にたまったほこりや紙粉を取り除きます。

4 内部の読み取りガラスとローラー、分離パッド（図の の部分）の汚れを落とします。

読み取りガラスの汚れは、きれいな乾いた布で拭き取ってください。

ローラーの汚れは、水で湿らせた布で拭いて汚れを取り除いてから、きれいな乾いた柔らかい布で拭いてください。

給紙ローラーは、取り外してから清掃してください。取り外しかたの詳細は「[給紙ローラーの交換](#)」（88 ページ）を参照してください。



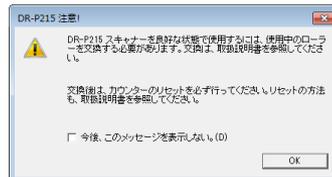
給紙ローラー

消耗品の交換

スキャナー内部の給紙ローラーと分離パッドは消耗品です。スキャンを重ねるにつれて磨耗します。給紙ローラーまたは分離パッド（あるいはその両方）が磨耗すると、原稿を正常に給紙できなくなり、紙詰まりの原因となります。スキャナーで給紙した原稿の総ページ数が次の枚数を超えると、スキャナーをコンピューターに接続したときにメッセージが表示されます。この場合、メッセージに表示された消耗品を交換する必要があります。消耗品については [101 ページ](#) を参照してください。

給紙ローラー 10 万枚

Windows

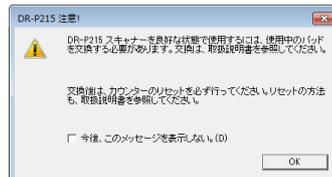


Mac OS X



分離パッド 1 万枚

Windows



Mac OS X



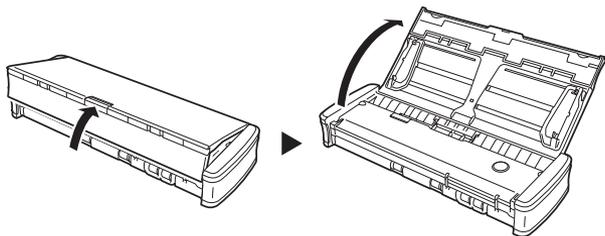
また、これらの消耗品を交換したときは、スキャナー内部に記録されているカウンターもリセットする必要があります。（→ [P.90](#)）

ヒント

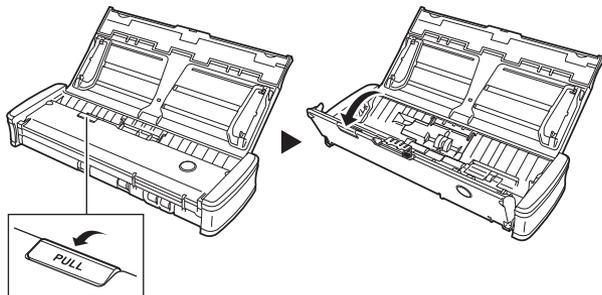
このメッセージの表示は、給紙ローラーと分離パッドの交換時期の目安です。たとえば、ざらついた紙を多くスキャンした場合、給紙ローラーと分離パッドは早く磨耗します。

給紙ローラーの交換

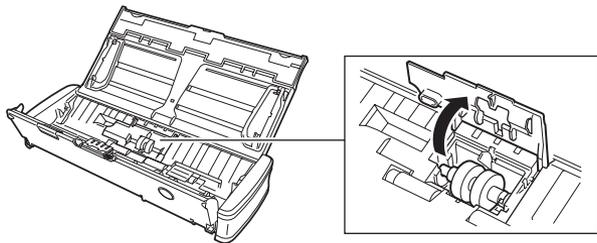
1 給紙トレイを開きます。



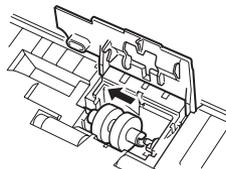
2 フィーダーカバーを開きます。



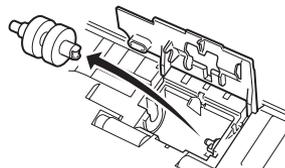
3 ローラーカバーを開きます。



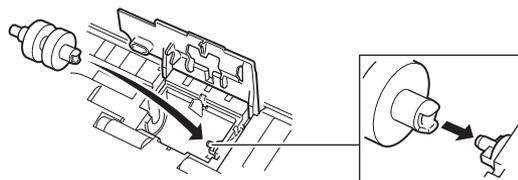
4 給紙ローラーを左にスライドさせます。



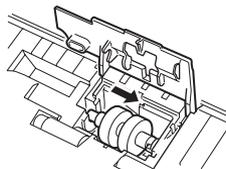
5 給紙ローラーを取り外します。



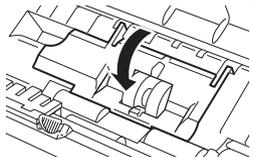
6 給紙ローラーを取り付けます。ローラーの切り欠き部を本体側の軸に合わせてください。



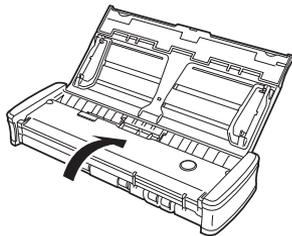
7 取り付けた給紙ローラーを右にスライドさせます。



- 8** ローラーカバーを、カチッと音がするまで確実に閉じます。
必ずカチッと音がするまで閉じてください。確実に閉じないと給紙不良の原因となります。



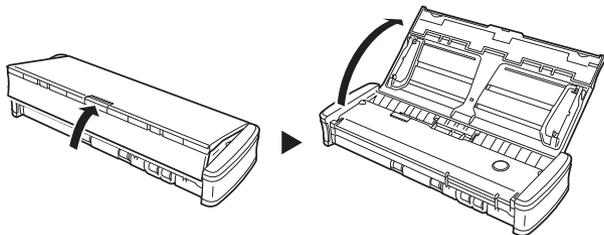
- 9** フィーダーカバーを閉じます。



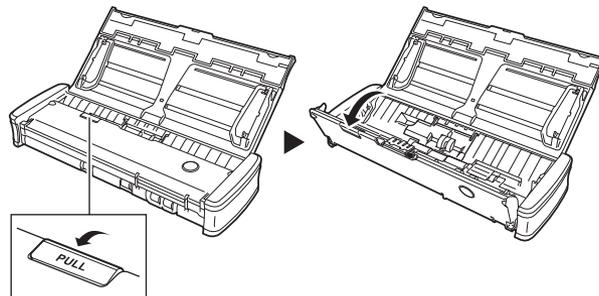
分離パッドの交換

分離パッドは、次の手順で交換できます。

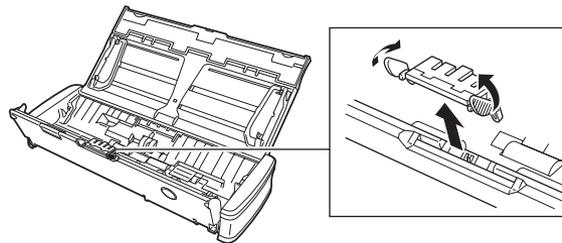
- 1** 給紙トレイを開きます。



- 2** フィーダーカバーを開きます。

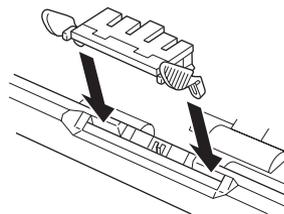


- 3** 分離パッドを取り外します。

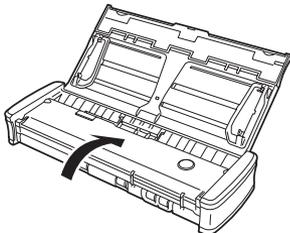


- 4** 新しい分離パッドを取り付けます。

分離パッドはカチッと音がするまで確実に取り付けてください。奥までしっかり取り付けないと給紙不良の原因となります。



5 フィーダーカバーを閉じます。



カウンターのリセット

給紙ローラーまたは分離パッドを交換したときは、次の手順でスキャナー内部に記録されているカウンターをリセットする必要があります。

重要

ここでは、スキャナー背面の Auto Start スイッチを「OFF」の位置にして使用している場合の手順を説明します。

Auto Start スイッチを「ON」の位置にしているとき (CaptureOnTouch Lite のみを使用していて、CaptureOnTouch やスキャナードライバーをコンピューターにインストールしていないとき) は、以降の手順でカウンターをリセットすることはできません。この場合は CaptureOnTouch Lite からカウンターをリセットできます。詳細は [36 ページ \(Windows\)](#) / [63 ページ \(Mac OS X\)](#) を参照してください。

Windows の場合

- 1 Windows を起動し、管理者権限を持つユーザーとしてログオンします。

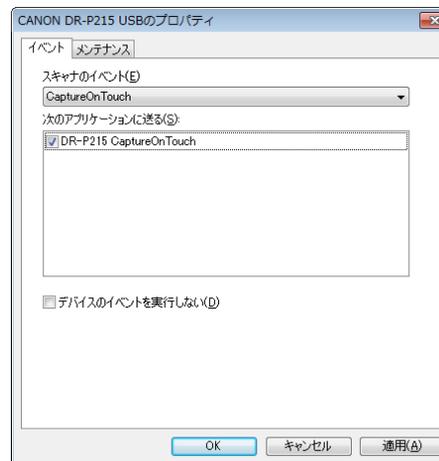
- 2 スタートボタンをクリックし、[すべてのプログラム]、[Canon DR-P215]、[Canon imageFORMULA ユーティリティ]の順にクリックします。

imageFORMULA ユーティリティが起動します。

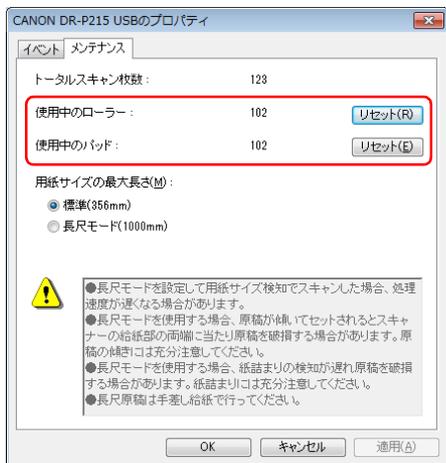


- 3 [Canon DR-P215 USB] をクリックし、プロパティをクリックします。

スキャナーのプロパティが表示されます。



- 4** [メンテナンス] タブをクリックし、カウンターをリセットします。
給紙ローラーを交換したときは、[使用中のローラー] の [リセット] をクリックします。
分離パッドを交換したときは、[使用中のパッド] の [リセット] をクリックします。



- 5** [OK] をクリックしてスキャナーのプロパティを閉じます。

Mac OS X の場合

- 1** CaptureOnTouch を起動します。
- 2** [おまかせスキャン] をクリックします。
- 3** [フルオートモードでスキャンする] の [OFF] をクリックします。
- 4** [スキャナーの設定] ボタンをクリックします。
- 5** [詳細設定ダイアログボックスを使う] の [ON] をクリックします。
- 6** をクリックします。
スキャナードライバーの設定画面が開きます。

- 7** (情報ボタン) をクリックします。
[スキャナーの情報] ダイアログボックスが開きます。



- 8** [メンテナンス] をクリックします。
[メンテナンス] ダイアログボックスが開きます。

- 9** カウンターをリセットします。
給紙ローラーを交換したときは、[使用中のローラーカウント] の [リセット] をクリックします。
分離パッドを交換したときは、[使用中のパッドカウント] の [リセット] をクリックします。



- 10** をクリックしてダイアログボックスを閉じます。

トラブル Q & A

ここでは、お問い合わせの多いトラブルについて、その対処方法を説明しています。問題が解決しないときは、お買い求めの販売店または [104 ページ](#)に記載されているサービス窓口にご相談ください。

Q1. 電源が入らない。

- A1. (1) 給紙トレイを閉じているときは、スキャナーの電源はオフになります。給紙トレイを開くと自動的に電源が入ります。
- (2) USB ハブを経由してスキャナーとコンピューターを接続している場合は、USB ハブを取り外し、スキャナーとコンピューターを直接接続してください。

Q2. スキャナーが認識されない。

- A2. (1) スキャナーとコンピューターがUSBケーブルで正しく接続されていることを確認してください。
- (2) スキャナーの電源が入っていることを確認してください。この前の「Q1. 電源が入らない」も参照してください。
- (3) コンピューターのUSBインタフェースがスキャナーに対応していない可能性があります。本製品は、すべてのUSBインタフェースでの動作を保証していません。
- (4) 付属のUSBケーブルでスキャナーとコンピューターを接続していることを確認してください。市販のUSBケーブルによっては、スキャナーに対応していないことがあります。
- (5) USB ハブを経由してスキャナーとコンピューターを接続している場合は、USB ハブを取り外し、スキャナーとコンピューターを直接接続してください。
- (6) スキャナー背面のAuto Startスイッチの位置が「ON」になっているときは、スキャナー内蔵のCaptureOnTouch Lite でしかスキャンできません。この場合、コンピューターのアプリケーションからスキャンすることはできません。
- (7) Windows で使用しているときは、デバイスマネージャを開いて、本機の表示に「?」、「!」、「×」マークが表示されているときは、デバイスマネージャ上で本機を削除し、スキャナードライバーを再インストールしてください。

Q3. 原稿が斜めに給紙される（スキャン画像が斜めになる）。

- A3. (1) 原稿ガイドをできるだけ原稿にぴったりと合わせて、まっすぐ給紙されるように原稿をセットしてください。
- (2) スキャナードライバーの設定で「画像の傾きを自動で補正する」（または「斜行補正する」）を有効にしてください。
- (3) すでに大量の枚数をスキャンしている場合は、ローラーと分離パッドを清掃してください。それでも原稿が斜めに給紙される場合は、ローラー交換などのメンテナンスが必要です。ローラーの清掃および交換については「[消耗品の交換](#)」(→ [P.87](#))を参照してください。
- (4) 分離パッドがしっかり取り付けられているかどうかを確認してください。
- (5) スキャナーの構造上、完全にまっすぐにはスキャンできないことがあります。

Q4. CaptureOnTouch Lite が起動しない。

- A4. (1) スキャナー背面のAuto Startスイッチの位置が「OFF」になっていると、スキャナー内蔵のCaptureOnTouch Lite を起動できません。いったん給紙トレイを閉じてスキャナーの電源をオフにし、Auto Startスイッチを「ON」に切り替えてください。
- (2) セキュリティソフトによってUSBデバイスへのアクセスが禁止されている場合、CaptureOnTouch Lite が使用できないことがあります。

Q5. スキャナーを接続すると[自動再生]画面が表示され、CaptureOnTouchでのスキャンができない。

- A5. スキャナー背面のAuto Startスイッチの位置が「ON」になっているときは、スキャナー内蔵のCaptureOnTouch Lite でしかスキャンできません。いったん給紙トレイを閉じてスキャナーの電源をオフにし、Auto Startスイッチを「OFF」に切り替えてください。

Q6. スキャナードライバーで設定したとおりにスキャンされない。

- A6. CaptureOnTouch で登録したジョブを使用してスキャンした場合、スキャナードライバーの設定よりもジョブの設定が優先されます。ジョブの設定を変更するか、スキャン条件に合わせて新しいジョブを作成してください。

Q7. スキャン画像に白線 / すじが発生する。

A7. 読み取りガラス（表面と裏面の両方とも）やローラーを清掃してください。糊や修正液など粘着性のある汚れを清掃するときは、線の現れる場所をやや強めに拭いてみてください。清掃後も問題が解決しない場合は、内部ガラスにキズが付いている可能性があります。お買い上げの販売店または担当サービス窓口にお問い合わせください。

Q8. ページが抜ける（足りない）。

A8. スキャナードライバーの【読み取り面】の設定が【白紙をスキップする】に設定されていると、黒い部分の少ない原稿が意図せず削除（スキップ）されることがあります。【白紙スキップのしやすさ】の値を小さくする（→ P.52、→ P.80）か、【読み取り面】を片面や両面など他の設定にしてください。原稿の重送が原因でページが抜ける場合の対処については、「Q9. 原稿が詰まる（または重送する）」を参照してください。

Q9. 原稿が詰まる（または重送する）。

A9. (1) 給紙ローラーと分離パッドが正しく取り付けられているかを確認し、必要に応じて清掃してください。
(2) 原稿が静電気などにより密着すると正常にスキャンできません。よくさばいてからセットしてください。

Q10. 複数ページのスキャン画像を 1 つのファイルに保存できない。

A10. CaptureOnTouch Lite および CaptureOnTouch で保存できる画像ファイルは、ファイル形式によって複数ページの画像を 1 つのファイルに保存できるものとできないものがあります。

ファイル形式	複数ページの原稿の処理
JPEG、BMP、PPTX (Windows のみ)	常に 1 ページにつき 1 つの画像ファイルに保存
TIFF、PDF	 をクリックし、表示されるダイアログボックスで【全てのページを 1 つのファイルにする】を選択することで、複数ページを 1 つのファイルに保存可能

Q11. セットした原稿はすべてスキャンされたのに、スキャン画像がアプリケーションに表示されない

A11. スキャナードライバーの設定画面で、給紙方法を【パネルで給紙】または【自動給紙】に設定しているときは、すべての原稿の給紙が終わってもスキャン動作が終了せず、原稿の追加を待機する状態になります。スキャンパネルの【ストップ】ボタンをクリックすると、スキャン動作が終了し、スキャン画像がアプリケーションに送られます。

Q12. スキャン中にメモリー不足になり、スキャンできなくなった。

A12. コンピューターのメモリーを大量に使用するようなスキャン条件では、メモリー不足によりスキャンができなくなる場合があります。コンピューターに搭載されているメモリー容量によりませんが、下記の条件が重なるに従ってメモリー不足になる可能性が高くなります。

- 【カラーモード】を【24 ビットカラー】にする
- 【用紙サイズ】で大きな用紙サイズ（リーガルなど）を指定する。または【最大サイズ】にする
- 【解像度】で高い解像度（600dpi など）を指定する

スキャン中にメモリー不足などのメッセージが表示されたときは、アプリケーションを終了させ、スキャン条件を変更（たとえば、解像度を低くする、用紙サイズを小さくするなど）してからスキャンをやり直してください。また、【モアレ除去】や【裏写り / 地色除去】をオンしている場合は、これらの設定値をオフにすることでメモリーの使用量を抑えることができます。

Q13. 給紙時に異音がる。

A13. 原稿の紙の質によっては、給紙時に異音が発生しますが、故障ではありません。

ソフトウェアの操作で困ったときは

ここでは、付属ソフトウェア（CaptureOnTouch）の操作時に起こりうるトラブルとその対処方法を説明します。

スキャンに時間がかかる

- (1) 他のアプリケーションソフトが起動しているときは、終了させてください。
- (2) システムに常駐するアプリケーション（ウイルス対策ソフトウェアなど）によってシステムのメモリーが不足すると、スキャン速度が遅くなります。このような常駐ソフトを終了してからスキャンしてください。
- (3) ハードディスクの空き容量が不足していると、スキャン時に作成される一時ファイル（一時的にスキャンデータを保存したファイル）が作成できません。ハードディスク上のデータを整理して空き容量を確保してください。
- (4) コンピューターの USB ポートが Hi-Speed USB 2.0 に対応していない場合は、スキャン速度が低下します。
- (5) Hi-Speed USB 2.0 に対応していない市販の USB ケーブルを使用している場合は、付属の USB ケーブル（Hi-Speed USB 2.0 対応）に換えてください。
- (6) Hi-Speed USB 2.0 に対応していない USB HUB を経由してスキャナーとコンピューターを接続している場合は、USB HUB を取り外し、スキャナーとコンピューターを直接接続してください。

保存したスキャン画像が、アプリケーションソフトで開けない

- (1) スキャン画像をマルチページTIFFファイルに保存した場合は、マルチページ TIFF ファイルに対応したアプリケーションソフトが必要です。
- (2) マルチページ TIFF ではない TIFF ファイルに保存した場合でも、TIFF ファイルが圧縮されていると、アプリケーションによっては開けないことがあります。CaptureOnTouch の TIFF ファイルの圧縮方式に対応していないアプリケーションソフトを使用した場合に起こります。この場合は画像ファイルの圧縮形式を「なし」にしてスキャンしてください。

役立つヒント集

ここでは、原稿をスキャンするうえで知っておくと便利なヒントを挙げます。

スキャン画像はどこに保存されますか？ また、保存先を変更することはできますか？

ソフトウェアで指定された下記の場所に保存されます。

たとえば CaptureOnTouch では次のように保存先を設定できます。

- おまかせスキャンの場合は、出力設定画面で指定したフォルダーに保存されます。
- ジョブ選択スキャンの場合は、ジョブの登録時に [出力の設定] で指定したフォルダーに保存されます。

スキャン設定をするにはどうすればよいですか？

CaptureOnTouch では次のように設定できます。

- おまかせスキャンの場合は、最初のトップ画面で [スキャナーの設定] ボタンをクリックし、表示される画面でスキャン設定ができます。
- ジョブ選択スキャンの場合は、ジョブの登録時に [スキャナーの設定] ボタンをクリックし、表示される画面でスキャン設定ができます。

複数のページを 1 つのファイルに保存したり、複数のページを 1 ファイルずつ保存できますか？

スキャン画像のファイル形式が BMP または JPEG の場合は、スキャン画像は常に 1 ページごとに 1 ファイルとなります。

スキャン画像のファイル形式が PDF または TIFF の場合は、マルチページとシングルページのどちらで保存するかを指定できます。「トラブル Q & A」の Q10 も参照してください。

スキャナー設定の内容のコピーやバックアップはできますか？

CaptureOnTouch の環境設定でスキャナー設定の内容をバックアップできます。この後の「CaptureOnTouch の設定内容のコピーやバックアップはできますか？」も参照してください。

CaptureOnTouch の設定内容のコピーやバックアップはできますか？

[環境設定] ダイアログボックスの [基本設定] タブの [バックアップ / リストア] で設定内容をバックアップしたり復元できます。

スキャン画像のファイル名はどのようなルールで付けられるのですか？

CaptureOnTouch では、スキャン画像のファイル名は [ファイル名の設定] ダイアログボックスでの設定に従います。このダイアログボックスは、おまかせスキャンの出力設定画面、およびジョブの登録での [出力の設定] で、[ファイル名] の  ボタンをクリックすると表示されます。

このダイアログボックスにある、次の 3 つの設定項目の一部またはすべてを設定することで、スキャン画像のファイル名が決まります。

設定項目	説明
ファイル名の文字列	ファイル名に付加する任意の文字列を指定できます。
日時を付加する	ファイル名に日時を付加します。リストボックスで日時の記述順を選択します。「YYYY」が年、「MM」が月、「DD」が日を表します。どの記述順を選択しても、末尾に時刻が付加されます。
ファイル名に連番を付ける	スキャン画像のページの保存順に連番を付けます。連番の桁数と開始番号を指定します。

[ファイル名の設定] ダイアログボックスの [ファイル名] には、ファイル名の設定の例が表示されます。

白紙のページを飛ばして、白紙でないページだけをスキャンすることはできますか？

スキャナードライバーの設定画面で [白紙をスキップする] を指定してスキャンします。

プラスチック製カードをスキャンするにはどうすればよいですか？

カードスロットにカードをセットします。スキャナー設定で、カードのサイズと同じサイズを指定するか、または [原稿のサイズに合わせる] (Windows) / [自動で検知する] (Mac OS X) を指定してスキャンします。詳細は [26 ページ](#) を参照してください。

サイズの違う原稿を混載してスキャンするにはどうすればよいですか？

スキャナードライバーの設定画面で [用紙サイズ] を [原稿のサイズに合わせる] (または [自動で検知する]) にしてスキャンします。詳細は [51 ページ](#) (Windows) / [79 ページ](#) (Mac OS X) を参照してください。

名刺や写真を上手にスキャンする方法を教えてください。

スキャナードライバーの設定画面で [用紙サイズ] を [原稿のサイズに合わせる] (または [自動で検知する]) にしてスキャンします。または、スキャンする名刺や写真と同じサイズを登録してスキャンします。詳細は [51 ページ \(Windows\)](#) / [80 ページ \(Mac OS X\)](#) を参照してください。

スキャンしたデータを印刷したい。

CaptureOnTouch では次のように設定できます。

- おまかせスキャンの場合は、出力方法選択画面で [印刷する] を選択します。
- ジョブ選択スキャンの場合は、ジョブの登録時に [出力方法の選択] で [印刷する] を選択します。

スキャンしたデータを共有フォルダーに保存したい。

CaptureOnTouch では次のように設定できます。

- おまかせスキャンの場合は、出力方法選択画面で [フォルダーに保存する] を選択し、出力設定画面で共有フォルダーを保存先に指定します。
- ジョブ選択スキャンの場合は、ジョブの登録時に [出力方法の選択] で [フォルダーに保存する] を選択し、出力設定画面で共有フォルダーを保存先に指定します。

スキャンしたデータをメールに添付させたい (またはメール送信したい)。

CaptureOnTouch では次のように設定できます。

- おまかせスキャンの場合は、出力方法選択画面で [メールに添付する] を選択します。
- ジョブ選択スキャンの場合は、ジョブの登録時に [出力方法の選択] で [メールに添付する] を選択します。

原稿のカラー自動検知機能について知りたい。

本機のスキャナードライバーは、原稿の内容からカラーモードを自動で検知する機能を持っています。

この自動検知機能で検知できるモードは、使用するアプリケーションおよびスキャナードライバーの設定によって次のようになります。

条件	検知できるモード
CaptureOnTouch のスキャナー設定のカラーモードで [自動で検知する] を選択したとき	カラーまたはグレー
スキャナードライバーで [フルオートモード] を選択したとき	
スキャナードライバーの [カラーモード] を [自動で検知する] にしてから、自動検知の詳細設定をしたとき	次のいずれかを選択可。 <ul style="list-style-type: none">• カラーまたはグレー• カラーまたは白黒• カラー、グレーまたは白黒

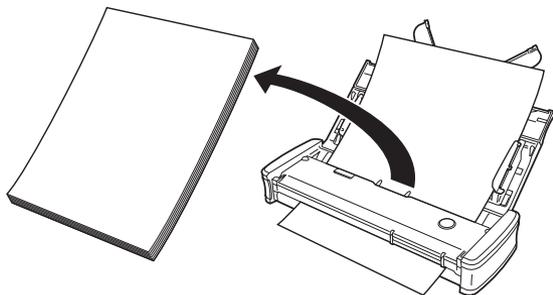
紙づまりの処理

原稿のスキャン中に紙づまりが発生したら、以下の手順に従って処理します。

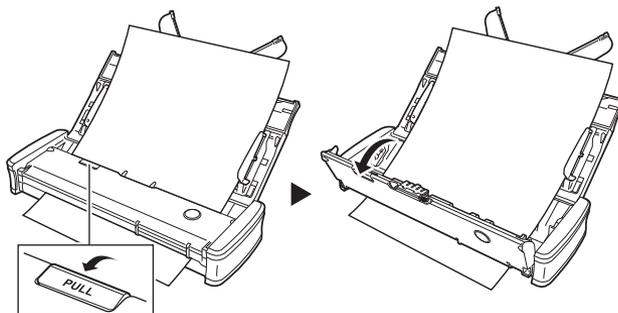
⚠ 注意

つまった紙を取り除くときは慎重に取り除いてください。紙の端で手を切るなど思わぬけがをすることがあります。

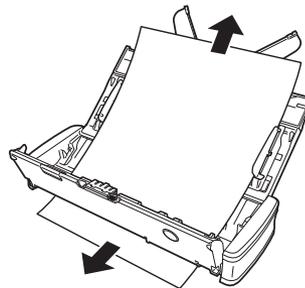
1 給紙トレイに残っている原稿を取り除きます。



2 フィーダーカバーを開きます。



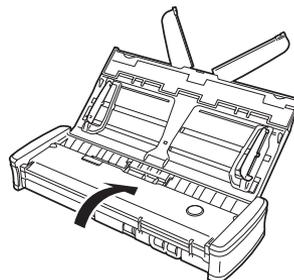
3 つまった原稿を、給紙側または排紙側から取り除きます。



⚠ 重要

原稿は、無理に引っ張らず慎重に取り除いてください。万一原稿が破れてしまった場合は、残りの紙片も必ず取り除いてください。また、原稿がカードガイドに引っかかって破れないように注意してください。

4 フィーダーカバーを閉じます。



つまった紙を取り除いたら、最後の原稿が記録されているかどうかを確認し、作業を続けてください。

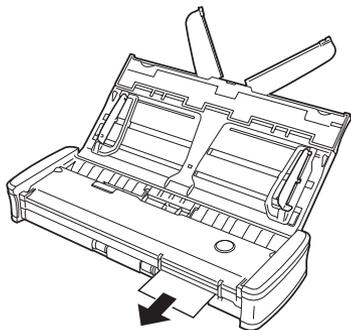
ヒント

スキャナードライバーの設定画面で [継続モード] チェックボックスをオンにすると、紙づまりなどによってスキャン中に搬送が停止した場合に、正常にスキャンされた最後の画像を処理してからスキャンが中断しますので、搬送停止の原因をクリアしてからスキャンを継続できます。この場合、搬送が途中で停止した原稿の画像は保存されていないことがありますので、記録されている最後の原稿を確認してからスキャンし直してください。

カードが詰まったときは

カードを斜めにカードスロットに挿入すると、スキャン中にカードが詰まることがあります。

カードスロットに挿入したカードがスキャン中に詰まったときは、カードを手前に引き抜くか、フィーダーカバーを開けてカードを取り出してください。



重要

フィーダーカバーを開けてカードを取り出す場合、フィーダーカバーを開きすぎるとカードに負荷がかかることがあります。カードが破損しないように、フィーダーカバーは慎重に開けてください。

ソフトウェアをアンインストールする

スキャナードライバー、CaptureOnTouchが正常に動作しないようなときは、以下の手順でソフトウェアをアンインストールしてください。そして、セットアップディスクを使ってソフトウェアを再インストールしてください。
(→ P.6、→ P.9)

Windows でのアンインストール

❗ 重要

Administrator 権限のアカウントでログオンしてください。

- 1 [スタート] ボタンをクリックし、[コントロールパネル] をクリックします。
- 2 [プログラムのアンインストール] (Windows XP では [プログラムの追加と削除]) をクリックします。
[プログラムのアンインストール] ダイアログボックスが表示されます。
- 3 プログラムの一覧から、削除するソフトウェア名をクリックし、[アンインストール] をクリックします。
選択されたソフトウェアの削除を確認するメッセージ画面が表示されます。
- 4 [はい] をクリックします。
これでソフトウェアのアンインストールは完了です。

Mac OS X でのアンインストール

Mac OS X 用ドライバーには、アンインストーラはありません。アンインストールするには、下記のファイルを Finder などで削除してください。

/Library (ライブラリ)/Image Capture/TWAIN Data Sources/
DRP215.ds
/Applications (アプリケーション)/Canon DR-P215

Mac OS X 10.5 のみ :

/Library (ライブラリ)/Receipts/DR-P215 Driver.pkg
/Library (ライブラリ)/Receipts/DR-P215 CaptureOnTouch.pkg

仕様

本体			
形式	卓上型シートスルースキャナー		
読み取り原稿サイズ			24ビットカラー 片面 200 × 200dpi 10 枚 / 分 300 × 300dpi 6 枚 / 分
普通紙			両面 200 × 200dpi 10 面 / 分 300 × 300dpi 6 面 / 分
幅	50.8 ~ 216 mm (2 ~ 8.5")		※ USB 2.0 バスパワーのみ使用 / 両面スキャン時は、スキャンする原稿の種類 やスキャナー本体の負荷などにより消費電力量が変動し、読み取り速度が変 化する場合があります。
長さ	70 ~ 356 mm (2.756 ~ 14")		USB 3.0 バスパワー / USB 2.0 バスパワーと給電用 USB ケーブル併用時 :
紙厚	長尺モード時は長さ最大 1000 mm (39.4") 坪量 52 ~ 128 g/m ² 厚さ 0.06 ~ 0.15 mm (0.0024 ~ 0.0059")		グレースケール 片面 200 × 200dpi 15 枚 / 分 300 × 300dpi 15 枚 / 分
ポストカード			両面 200 × 200dpi 30 面 / 分 300 × 300dpi 30 面 / 分
幅	88.9 ~ 108 mm (3.5 ~ 4.25")		24ビットカラー 片面 200 × 200dpi 10 枚 / 分 300 × 300dpi 6 枚 / 分
長さ	127 ~ 152.4 mm (5 ~ 6")		両面 200 × 200dpi 20 面 / 分 300 × 300dpi 12 面 / 分
紙厚	坪量 128 ~ 225 g/m ² 厚さ 0.15 ~ 0.3 mm (0.0059 ~ 0.0118")		インターフェース Hi-Speed USB 2.0 (電源のみ USB 3.0 に対応)
名刺			外形寸法 (幅 × 奥行き × 高さ)
幅	49 ~ 55 mm (1.93 ~ 2.17")		給紙トレイを閉じたとき :
長さ	85 ~ 91 mm (3.35 ~ 3.58")		285 × 95 × 40 mm (11.22 × 3.74 × 1.57")
紙厚	坪量 128 ~ 225 g/m ² 厚さ 0.15 ~ 0.3 mm (0.0059 ~ 0.0118")		給紙トレイを開いたとき :
カード (ISO 準拠)			285 × 257 × 174 mm (11.22 × 10.12 × 6.85")
幅	86 mm (3.39")		質量
長さ	54 mm (2.13")		約 1kg
カード厚	0.76 mm (0.03") 以下		電源
	エンボス付きのカードは厚さ 1.4 mm (0.055") まで		USB バスより供給 (USB 2.0 : 通信用 500mA、給電用併 用 1 A、USB 3.0 : 900mA)
給紙方法	自動		AC アダプター (別売り) 使用時 : DC 6 V、800mA
読み取りセンサー	コンタクトイメージセンサー		
光源	LED		消費電力
読み取り面	片面 / 両面		USB ケーブルのみ接続時
読み取りモード	白黒、誤差拡散、256 階調グレースケール、アドバンスステ キストエンハンスメント II、24 ビットカラー		USB2.0 : 2.5W、USB3.0 : 4.5W
読み取り解像度	150 × 150dpi/200 × 200dpi/300 × 300dpi/ 400 × 400dpi/600 × 600dpi		USB ケーブルと給電用ケーブル併用時
読み取り速度			USB2.0 : 5.0W、USB3.0 : 7.0W
(条件 : CPU Core 2 Duo 2.53GHz、実装メモリー 2GB、原稿サイズ A4)			電源オフ時
USB 2.0 バスパワー使用時 :			0.1W 以下
グレースケール	片面 200 × 200dpi 12 枚 / 分 300 × 300dpi 12 枚 / 分		騒音
	両面 200 × 200dpi 14 面 / 分 300 × 300dpi 14 面 / 分		66dB 以下
			使用環境
			温度 : 10 °C ~ 32.5 °C
			湿度 : 25% (RH) ~ 80% (RH)

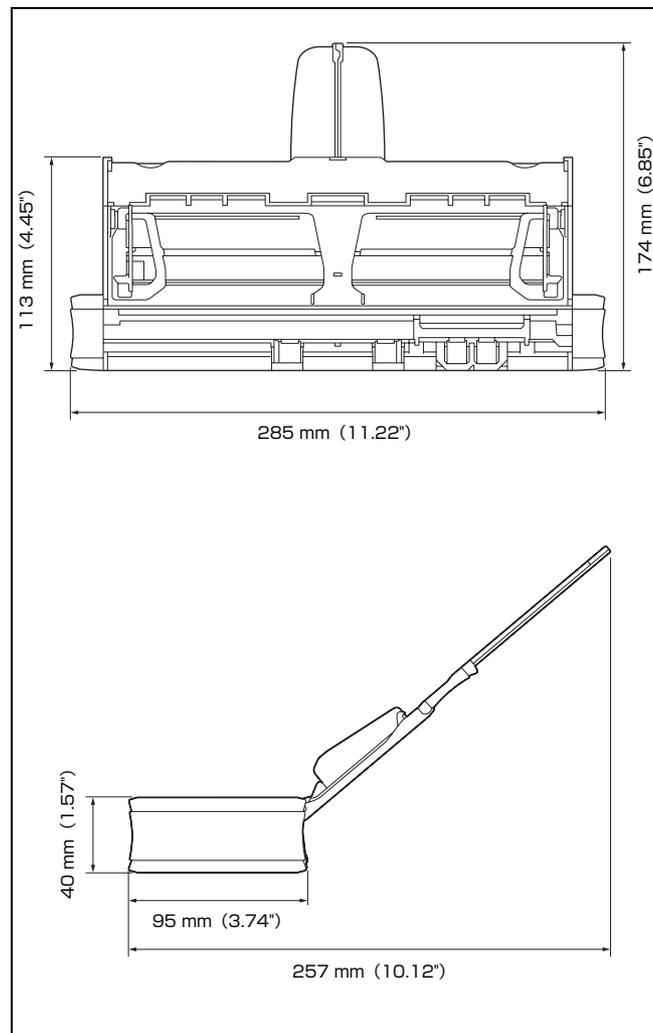
交換部品

- 分離パッド (商品コード: 6144B001)
交換用の分離パッドです。交換方法については [89 ページ](#) を参照してください。
- 給紙ローラー (商品コード: 6144B002)
交換用の給紙ローラーです。交換方法については [88 ページ](#) を参照してください。
- 交換方法については、「[消耗品の交換](#)」(→ [P.87](#)) を参照してください。
- 交換部品についての詳細については、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

オプション

- USB ケーブル (商品コード: 6144B003)
本製品をコンピューターと接続するための専用 USB ケーブルです。
- キャリングケース (商品コード: 4179B003)
本製品を入れて持ち運ぶためのケースです。
- AC アダプター (商品コード: 4179B004)
本製品を電源に接続して使用するための AC アダプターです。USB ケーブル 1 本の場合でも高速に動作します。

外形寸法図



保証とアフターサービス

- この商品には保証書がついています
保証書は、お買い上げ販売店でお渡しします。お買い上げ日、販売店名などの記入をお確かめの上、内容をよくお読みになり大切に保管してください。
- 保証期間
保証期間はお買い上げ日より1年間です。
消耗品（給紙ローラーと分離パッド）については、保証期間内であっても保証の対象とはなりません。
- 修理サービスのご相談
修理サービスのご相談は、お買い上げの販売店または [103 ページ](#)に記載されている修理受付窓口へご相談ください。
- 修理を依頼される前に
[92 ページ](#)の「トラブルシューティング」にそって故障かどうかお確かめください。それでも直らない場合は、直ちに電源プラグをコンセントから抜き、修理をご依頼ください。
- 修理を依頼されるときに、ご連絡いただきたいこと
 - お客様のお名前
 - ご住所、お電話番号
 - 商品の品番
 - 故障の内容（できるだけ詳しく）
- 本製品を修理のために送付するときのお願い
本製品の修理を依頼するときは、[103 ページ](#)に記載されている修理受付窓口へ送付の上、指定されたサービスセンターに本製品をお送りいただく必要があります。本製品の送付には、製品が入っていた梱包箱をご利用ください。また、梱包箱に入れるときに、本製品を梱包材でしっかり固定していただくようお願いいたします。
- 補修用性能部品について
保守サービスのために必要な補修用性能部品の最低保有期間は、製品の製造打ち切り後5年間です。（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

修理受付窓口

保証内容や修理についてのお問い合わせは、お買い上げの販売店または、下記のキヤノンサービスセンターへお問い合わせください。下記、修理受付窓口の受付時間は、9:00AM～5:30PMです。土曜、日曜、祝祭日は休まさせていただきます。(ただし、サービスセンター上野、サービスセンター新宿の営業時間は、10:00AM～6:00PM、休業日は日曜、祝祭日です。)また、※印のQRセンター、サービスセンターでは、郵送・宅配による修理品もお取扱いを致しております。

お願い：本機のお取り扱い方法のお問い合わせは、必ず販売店または「お客様相談センター」あてにご連絡ください。

北海道地区

※サービスセンター札幌

TEL 011-207-2411

〒0600003 北海道札幌市中央区北3条西4-1-1 日本生命札幌ビル 高層棟 1F

東北地区

※サービスセンター仙台

TEL 022-217-3210

〒9808560 宮城県仙台市青葉区国分町3-6-1 仙台パークビルディング 1F

関東・信越地区

サービスセンター上野

TEL 03-3837-2961

〒1100005 東京都台東区上野 1-1-12 信井ビル 1F

サービスセンター新宿

TEL 03-3348-4725

〒1630401 東京都新宿区西新宿 2-1-1 新宿三井ビル 1F

サービスセンター横浜

TEL 045-453-2269

〒2210056 神奈川県横浜市神奈川区金港町 2-6 横浜プラザビル 9F

東日本修理センター

TEL 043-211-9032

〒2618711 千葉県千葉市美浜区中瀬 1-7-2 キヤノンMJ幕張事業所 1F

※キヤノンテクニカルセンター（郵送・宅配のみ）

TEL 0297-35-5000

〒3060605 茨城県坂東市馬立(マタテ)1234 F7棟 3F

中部・北陸地区

※サービスセンター名古屋

TEL 052-209-6000

〒4600003 愛知県名古屋市中区錦 1-11-11 名古屋インターシティ 2F

近畿地区

※サービスセンター大阪中之島

TEL 06-6459-2565

〒5300005 大阪府大阪市北区中之島 6-1-21 キヤノンビジネスサポート中之島ビル 2F

中国・四国地区

サービスセンター広島

TEL 082-240-6712

〒7300051 広島県広島市中区大手町 3-7-5 広島パークビル 1F

九州地区

※サービスセンター福岡

TEL 092-281-1400

〒8120024 福岡県福岡市博多区綱場町 4-1 福岡 RDビル 1F

2011年5月2日現在 上記の内容は、都合により予告なく変更する場合がございますのでご了承ください。

サービス&サポートのご案内

■ お客様相談センター

取扱い方法および修理に関するご相談は、お買い上げ頂いた販売店または下記
の窓口にご相談ください。

お客様相談センター
全国共通電話番号



050-555-90072

受付時間：＜平日＞ 9:00～12:00 / 13:00～17:00

（土日祝日と年末年始、弊社休業日は休ませていただきます。）

※ 上記番号は 050 から始まる IP 電話（株式会社エヌ・ティ・ティエムイー
（NTT-ME）の XePhion Call Direct）を利用しています。
NTT の固定電話（一般回線）から地域・時間帯にかかわらず同一通話料
金（10.4 円 / 3 分）でご利用になれます。

※ 携帯電話・PHS をご利用の場合、ご契約先携帯電話事業者の定める通話
料金となります。詳しくはご契約の携帯電話事業者にお問い合わせくださ
い。尚、一部の PHS からはご利用いただけませんのでご了承願います。

※ お客さまが 050 から始まる IP 電話をご利用の場合、プロバイダーのサー
ビスによってつながらない場合があります。IP 電話からのご利用は、IP
電話事業者間の接続状況によります。NTT-ME の XePhion Call Direct
の上記番号との通話（接続）可否については、ご契約のプロバイダーにお
問い合わせください。IP 電話からつながらない場合の事象（話中音、アナ
ウンス、ブザー音など）はプロバイダーによって異なります。
また、IP 電話の相互通話であっても上記番号との通話料金はプロバイダー
によって異なります。詳しくはご契約のプロバイダーにお問い合わせくださ
い。

※ 上記番号におかけになってもつながらない場合は、NTT の固定電話（一
般回線）からおかけいただくか、043-211-9156 におかけくださいま
すようお願いいたします。

※ お客様相談センターの詳細につきましてはキャノンホームページ
（<http://cweb.canon.jp/e-support/rc/>）をご参照ください、

■ 消耗品の入手方法

消耗品はお買い上げ頂いた販売店、お近くのキャノン製品取扱店およびキャ
ノンマーケティングジャパン（株）販売窓口にてご購入ください。尚、ご不
明な場合はお客様相談センターにご相談ください。

■ キャノンホームページ <http://canon.jp/>

※ <http://canon.jp/support> では、製品情報、最新ドライバーのダウン
ロード、QA 検索などの情報が掲載されています。是非ご利用ください。
※ ホームページのレイアウトは、予告なく変更する場合があります。ご了
承ください。

※ 通信料はお客様のご負担になります。

索引

あ		
アンインストール	99
い		
インストール		
バンドルソフトウェア	6, 9
Mac OS X	9
Windows	6
お		
お手入れ	86
おまかせスキャン	38, 67
か		
カード		
セットのしかた	26
カード折り返しスロット	20
カードガイド	19
カードスロット	19
カウンター	90
カスタム用紙サイズ	51, 80
紙づまり	97
簡単モード	78
き		
給紙口	19
給紙トレイ	19
給紙トレイ解除レバー	19
給紙補助プレート	19
給紙ローラー	88
給電用 USB ケーブル	23, 58
け		
継続スキャン	34, 45, 63, 74
原稿	24
カード	26
セットのしかた	25
原稿ガイド	19, 25
ケンジントンスロット	20
し		
自動再生画面	30
出力方法	46, 75
詳細モード	78
ジョブ		
選択してスキャン	41, 70
登録	40, 69
編集	40, 69
ジョブ選択スキャン	40, 69
す		
スキャナー設定	32, 43, 61, 72
スキャナードライバー	49, 78
基本的な設定	50, 79
目的に合わせた設定	52, 80
スキャン条件	30, 59
スキャンパネル	57, 85
スキャン領域	52, 80
スタートボタン	20
スタートボタンでスキャン	43, 72
せ		
接続	11
セットアップ	3
ち		
長尺モード	27
て		
電源	12
入れる	21
切る	22
電源コネクタ	20
と		
動作環境	5
は		
排紙口	19
バンドルソフトウェア	3

ふ	
フィーダーカバー	19
フィーダーカバー解除レバー	19
分離パッド	89
ま	
マルチストリーム設定	54
よ	
読み取りガラス	
清掃	86
り	
リセット	
カウンター	90
ろ	
ローラー	
交換	87
清掃	86
A	
AC アダプター（別売り）	23
Auto Start スイッチ	20, 29, 58
C	
CaptureOnTouch	37, 66
おまかせスキャン	38, 67
環境設定	47, 76
起動	37, 66
再起動	38, 67
ジョブ選択スキャン	40, 69
CaptureOnTouch Lite	29, 58
環境設定	36, 65
終了する	36, 65
スキャン手順	29, 58
U	
USB コネクタ	20

Canon

キヤノンマーケティングジャパン株式会社

〒108-8011 東京都港区港南 2-16-6 CANON **S**TOWER